

川西町第9次高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画策定のための
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

《報告書》

令和2年3月

川西町

目次

I 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の手法	1
3. 配布・回収状況	2
4. 数値等の基本的な取り扱いについて	2
II 調査結果	3
基本属性 あなたのご自身のことについて	3
問1 あなたのご家族や生活状況について	6
問2 からだを動かすことについて	10
問3 食べることについて	20
問4 毎日の生活について	27
問5 地域での活動について	33
問6 たすけあいについて	36
問7 健康について	42
問8 認知症にかかる相談窓口の把握について	49
問9 健康づくり・介護予防について	51
問10 日常生活への支援について	58
問11 相談先や町の取組について	60
III 調査結果によるリスク判定（参考）	65
1. 運動器機能低下について	65
2. 転倒リスクについて	66
3. 口腔機能低下について	67
4. 閉じこもり傾向について	68
5. 認知機能低下について	69
6. うつ傾向について	70
7. 手段的自立度（IADL）について	71
8. 判定方法	72
IV 自由記述（カテゴリー別）	74
1. 移動手段、交通の便	74
2. 地域活動、居場所、交流、ボランティア	77
3. 医療、福祉、介護サービス	80
4. 生活支援、生活の便	82
5. 道路・歩道の整備	83
6. 経済的負担、経済的支援	84
7. 将来への心配、不安	85
8. その他	85
V 調査票	89

I 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、川西町にお住まいの65歳以上の町民の方を対象に、暮らしや健康の状況（運動機能・転倒・口腔機能・閉じこもり・栄養状態・認知機能・地域での活動等）をお聞きし、地域の現状や課題等を把握するとともに、令和2年度から始まる「川西町高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画」策定の基礎資料とさせていただくために実施しました。

2. 調査の手法

（1）調査地域

川西町全域

（2）調査対象

- ・介護予防・日常生活支援総合事業対象者（事業対象者）
- ・要支援認定者（要支援1・2）
- ・一般高齢者（認定は受けていない）

（3）調査対象者数（令和元年11月22日現在）

2,623人

（4）調査方法

郵送法（郵送による配布・回収）

（5）調査時期

令和元年12月13日～12月27日

（6）調査内容

国（厚生労働省）が示した「第8期 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の設問を基本に、川西町独自の設問を追加した形式の調査となっています。

3. 配布・回収状況

認定状況	配布数	有効回収者数	有効回収率
事業対象者	12人	6人	50.0%
要支援1	86人	55人	64.0%
要支援2	93人	56人	60.2%
認定は受けていない	2,432人	1,702人	70.0%
合計	2,623人	1,819人	69.3%

4. 数値等の基本的な取り扱いについて

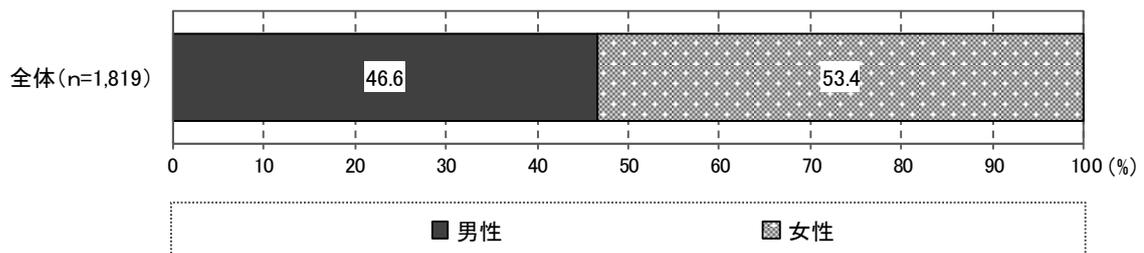
- ・比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100%を上下する場合があります。
- ・基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。（回答者総数または該当者数）
- ・質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であるため、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ・文中、グラフ中の設問カテゴリー（選択肢）の文言や数値等は、一部略してあります。
- ・文中、グラフ中のクロス集計の数字・グラフの一部では、無回答者を除いてあります。
- ・質問の選択肢は、基本的に「 」で表していますが、選択肢を2つ以上合わせて数値を示す場合は“ ”で表してあります。

II 調査結果

基本属性 あなたのご自身のことについて

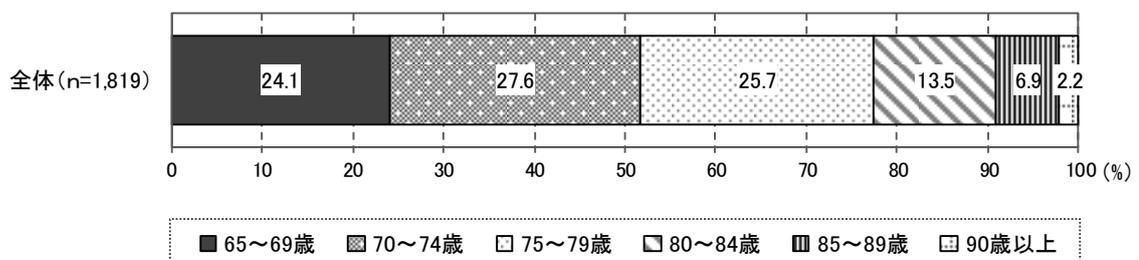
(1) 対象者の性別

性別は、「男性」が46.6%、「女性」が53.4%となっています。



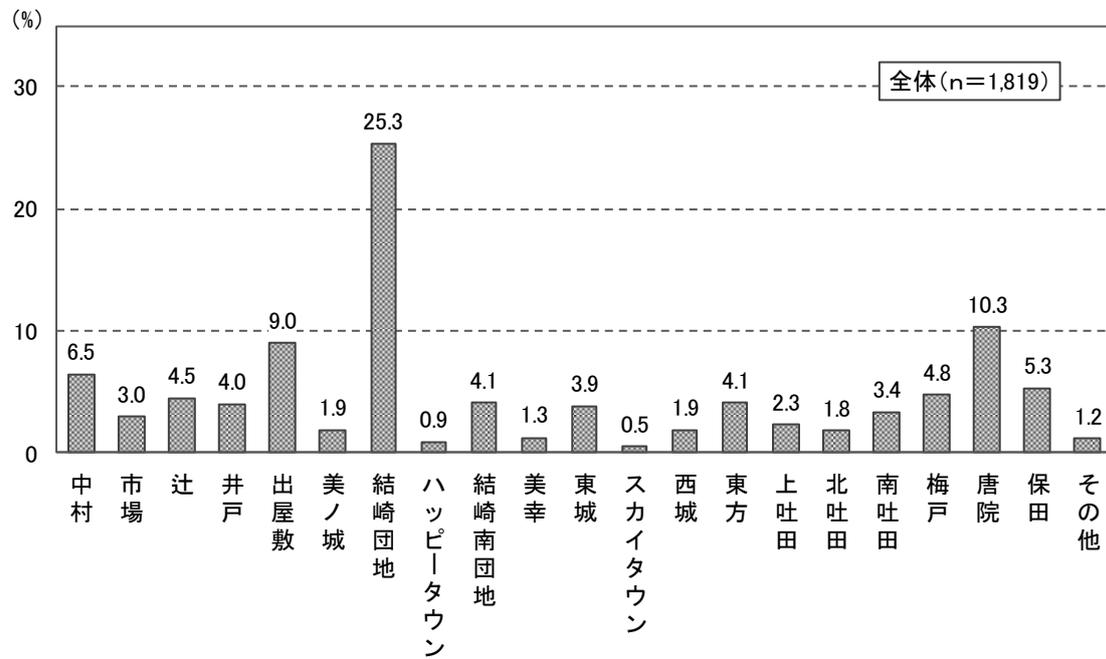
(2) 対象者の年齢

年齢は、「70～74歳」が27.6%と最も高く、次いで、「75～79歳」(25.7%)、「65～69歳」(24.1%)、「80～84歳」(13.5%)の順となっています。



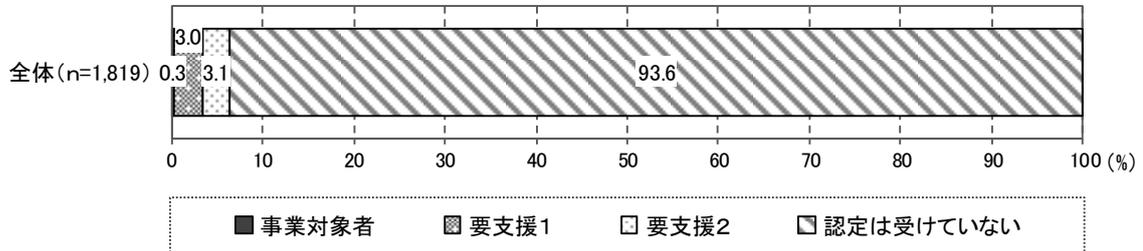
(3) 対象者の自治会

自治会は、「結崎団地」が25.3%と最も高く、次いで、「唐院」(10.3%)、「出屋敷」(9.0%)の順となっています。



(4) 対象者の認定状況

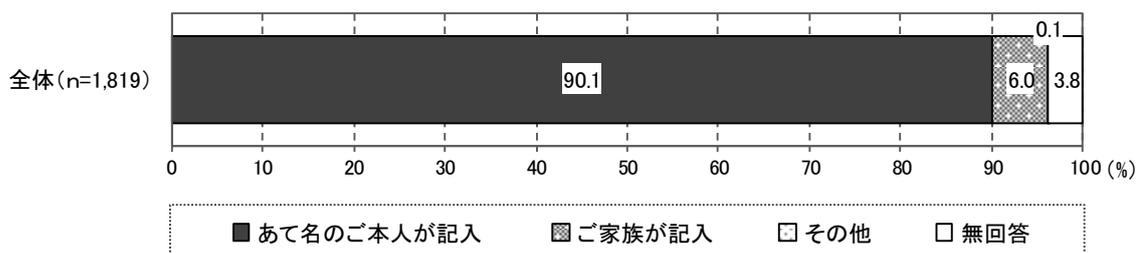
現在の認定状況は、「認定は受けていない」(93.6%)、「要支援2」(3.1%)、「要支援1」(3.0%)、「事業対象者」(0.3%)となっています。



		(n=)	事業対象者	要支援1	要支援2	認定は受けていない
全体		1,819	6 0.3%	55 3.0%	56 3.1%	1,702 93.6%
性別	男性	847	2 0.2%	20 2.4%	19 2.2%	806 95.2%
	女性	972	4 0.4%	35 3.6%	37 3.8%	896 92.2%
年齢	65～69歳	438	0 0.0%	0 0.0%	3 0.7%	435 99.3%
	70～74歳	502	1 0.2%	2 0.4%	3 0.6%	496 98.8%
	75～79歳	468	1 0.2%	14 3.0%	9 1.9%	444 94.9%
	80～84歳	245	2 0.8%	15 6.1%	6 2.4%	222 90.7%
	85～89歳	126	1 0.8%	17 13.5%	23 18.3%	85 67.4%
	90歳以上	40	1 2.5%	7 17.5%	12 30.0%	20 50.0%

調査票を記入されたのはどなたですか。

記入者は、「あて名のご本人が記入」が90.1%と最も高く、次いで、「ご家族が記入」(6.0%)となっています。



問1 あなたのご家族や生活状況について

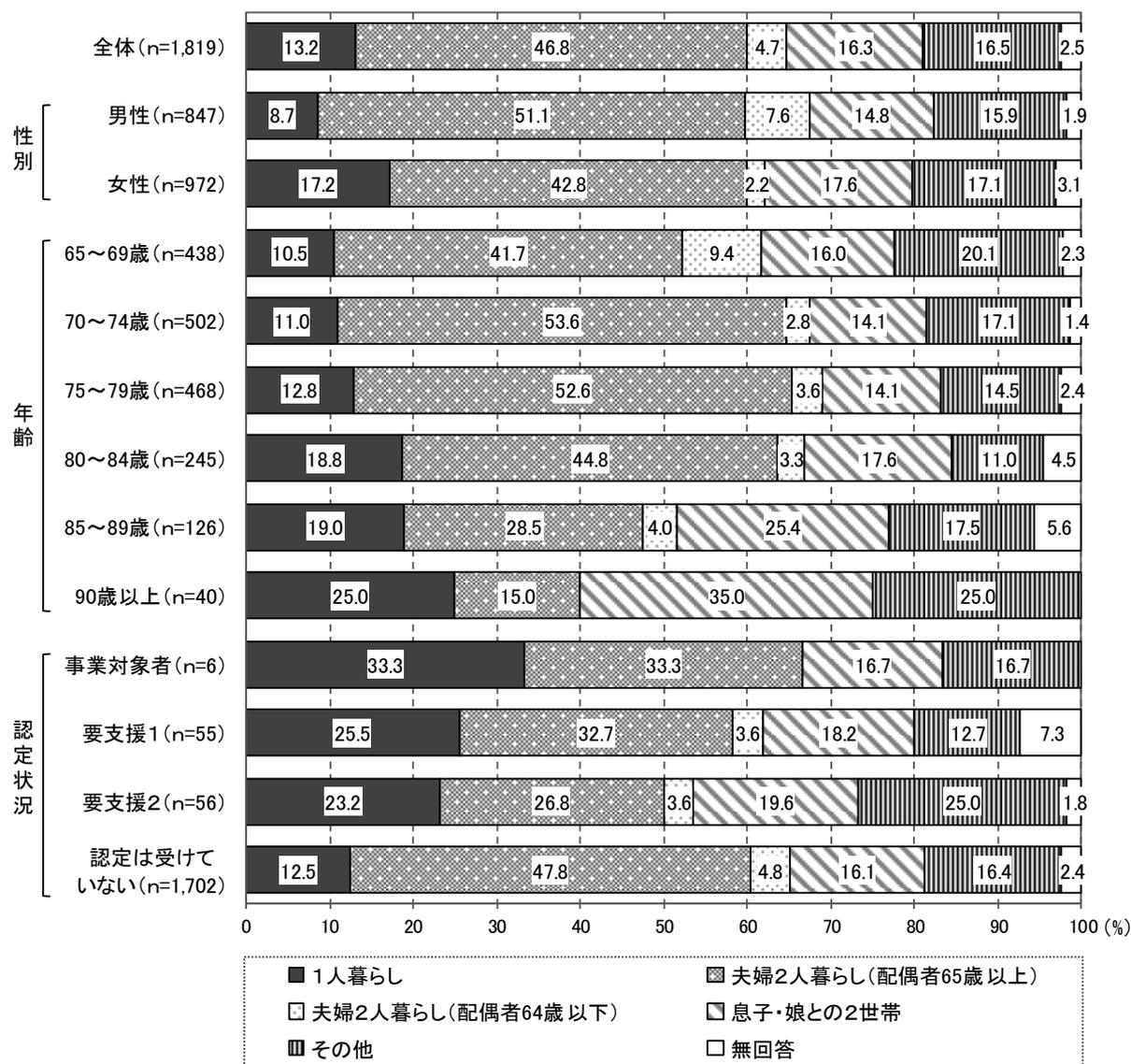
(1) 家族構成をお教えてください。

全体では、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が46.8%と最も高く、次いで、「息子・娘との2世帯」（16.3%）、「1人暮らし」（13.2%）の順となっています。

性別でみると、「1人暮らし」では、女性が男性より割合が高くなっています。

年齢層でみると、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」と「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」を合わせた“夫婦2人暮らし”の割合が加齢とともに低くなり、「1人暮らし」、「息子・娘との2世帯」の割合が高くなっています。

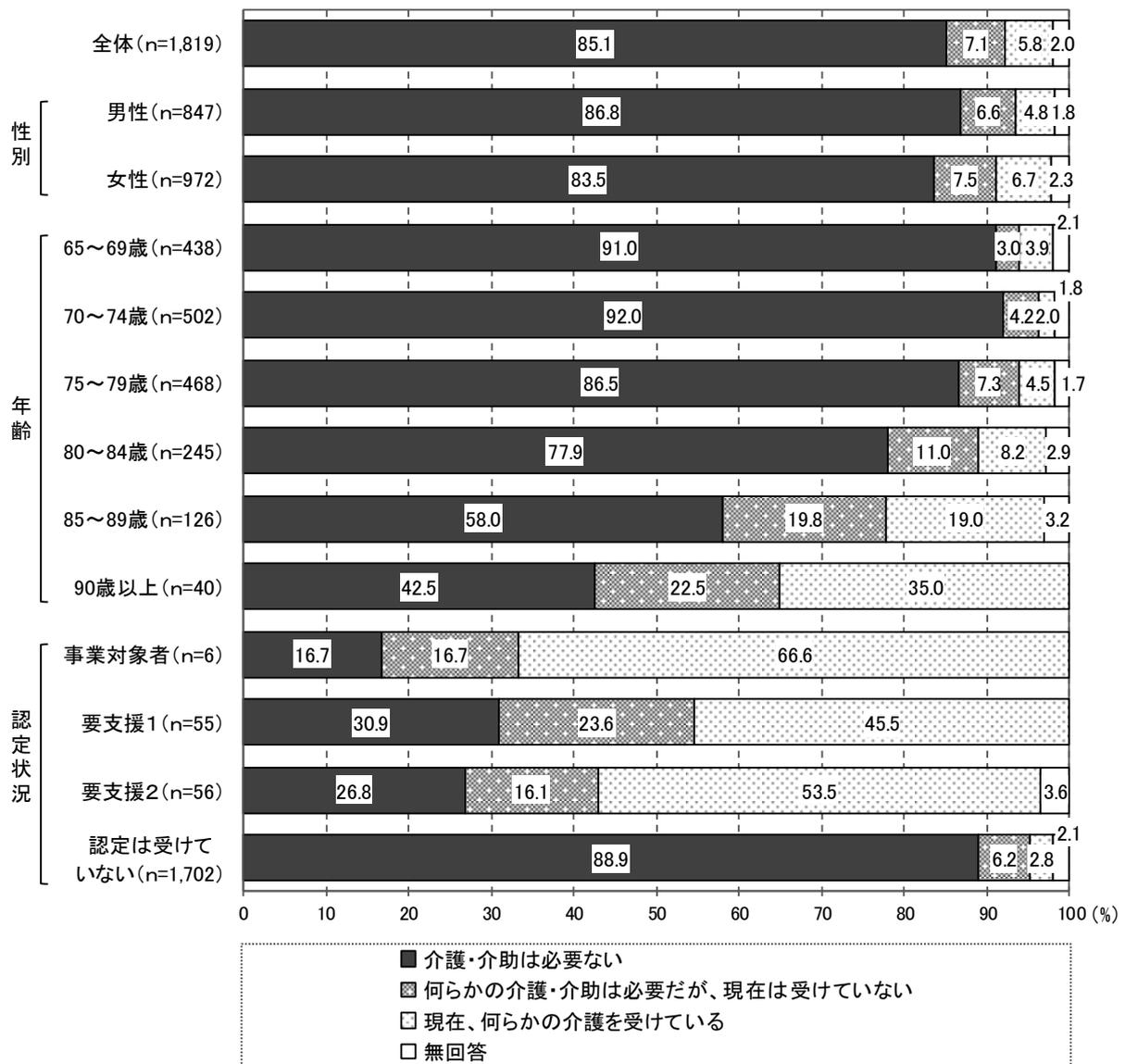
認定状況別でみると、認定は受けていない方以外において「1人暮らし」の割合が高くなっています。



(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

全体では、「介護・介助は必要ない」が85.1%と最も高く、「何らかの介護・介助は必要だが、受けていない」(7.1%)、「現在、何らかの介護を受けている」(5.8%)、となっています。また「何らかの介護・介助は必要だが、受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている」を合わせた、「介護・介助が必要である」は12.9%となっています。

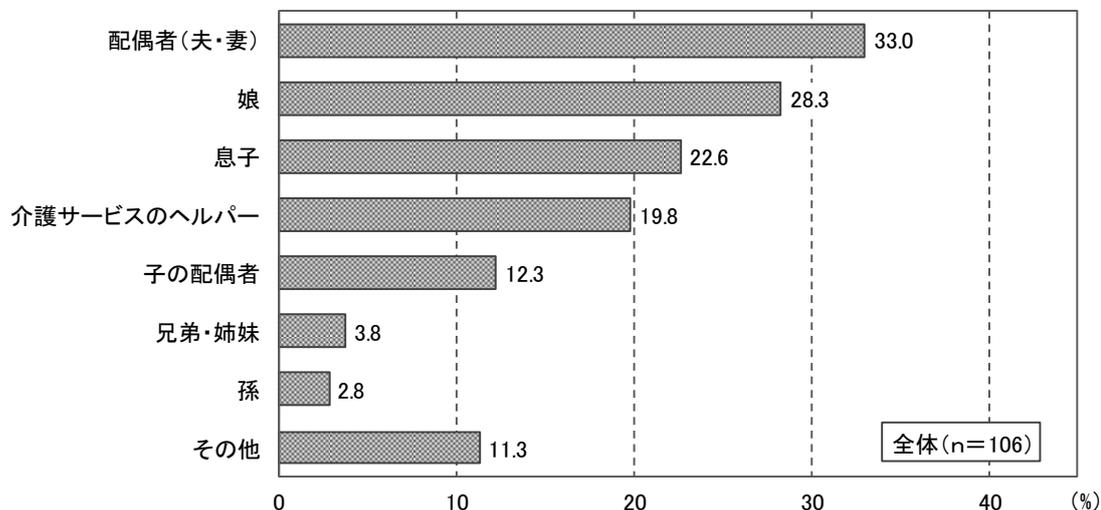
年齢層で見ると、加齢につれて「介護・介助は必要ない」の割合が低くなり、「介護・介助が必要である」の割合が高くなる傾向にあります。



【(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」に○をつけた方のみ】

(2) ① 主にどなたの介護、介助を受けていますか。【複数回答】

全体では、「配偶者(夫・妻)」が33.0%と最も高く、次いで、「娘」(28.3%)、「息子」(22.6%)の順となっています。

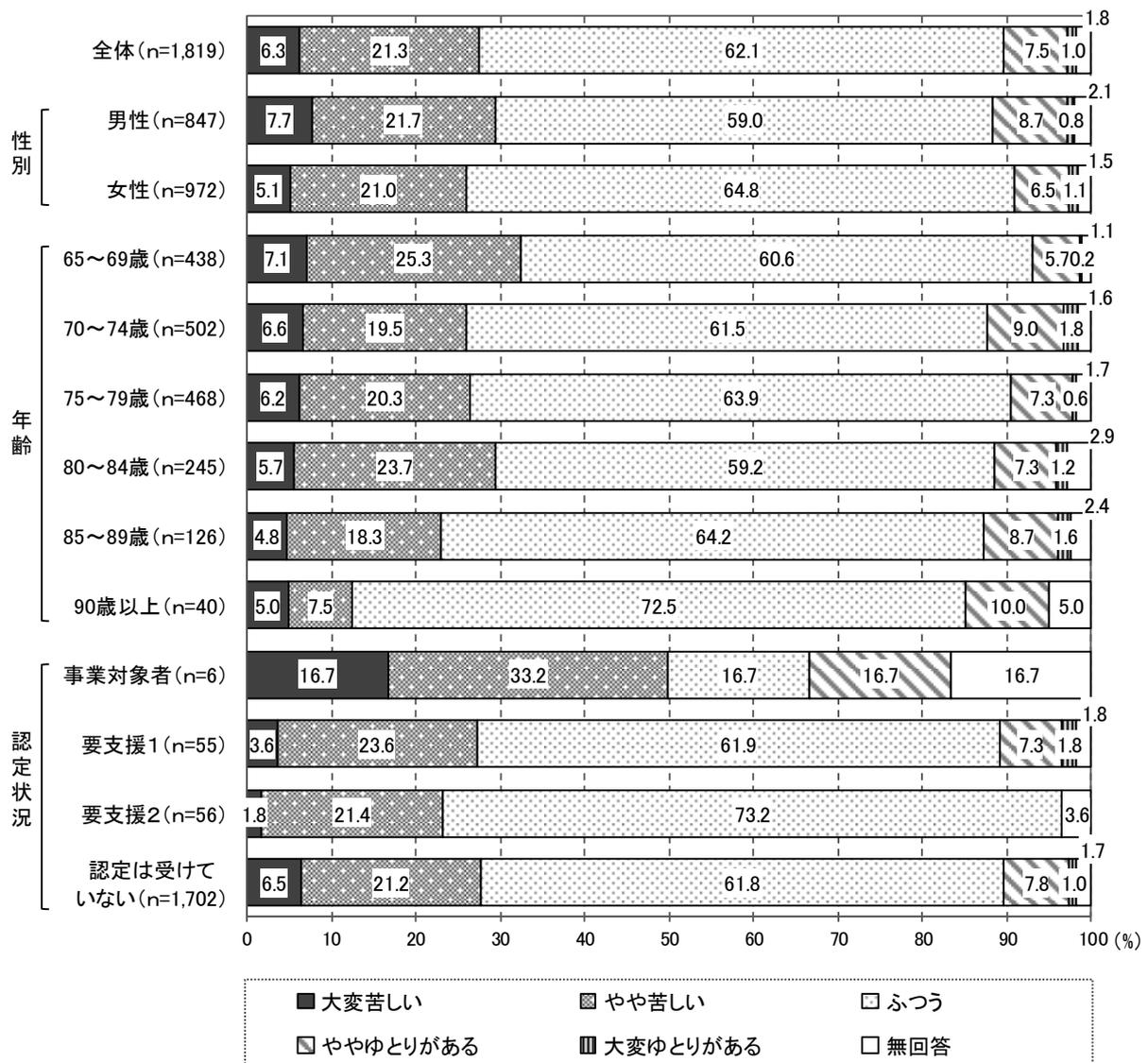


		(n=)	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の配 偶者	孫	兄弟・姉 妹	介護 サービ スのヘル パー	その他
全 体		106	35 33.0%	24 22.6%	30 28.3%	13 12.3%	3 2.8%	4 3.8%	21 19.8%	12 11.3%
性 別	男性	41	21 51.2%	9 22.0%	6 14.6%	4 9.8%	1 2.4%	2 4.9%	7 17.1%	3 7.3%
	女性	65	14 21.5%	15 23.1%	24 36.9%	9 13.8%	2 3.1%	2 3.1%	14 21.5%	9 13.8%
年 齢	65～69歳	17	8 47.1%	2 11.8%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	2 11.8%	4 23.5%	3 17.6%
	70～74歳	10	4 40.0%	1 10.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	2 20.0%
	75～79歳	21	8 38.1%	2 9.5%	2 9.5%	3 14.3%	0 0.0%	1 4.8%	5 23.8%	3 14.3%
	80～84歳	20	10 50.0%	4 20.0%	8 40.0%	2 10.0%	2 10.0%	1 5.0%	3 15.0%	2 10.0%
	85～89歳	24	3 12.5%	9 37.5%	9 37.5%	4 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	6 25.0%	1 4.2%
	90歳以上	14	2 14.3%	6 42.9%	7 50.0%	4 28.6%	1 7.1%	0 0.0%	2 14.3%	1 7.1%
認 定 状 況	事業対象者	4	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%
	要支援1	25	13 52.0%	8 32.0%	8 32.0%	5 20.0%	3 12.0%	1 4.0%	5 20.0%	2 8.0%
	要支援2	30	5 16.7%	7 23.3%	11 36.7%	7 23.3%	0 0.0%	1 3.3%	5 16.7%	4 13.3%
	認定は受けて いない	47	17 36.2%	9 19.1%	10 21.3%	1 2.1%	0 0.0%	2 4.3%	8 17.0%	6 12.8%

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみて、どう感じていますか。

全体では、「大変苦しい」(6.3%)と「やや苦しい」(21.3%)を合わせた“苦しい”が27.6%、「ややゆとりがある」(7.5%)と「大変ゆとりがある」(1.0%)を合わせた“ゆとりがある”が8.5%となっています。

年齢層別でみると、加齢につれて“苦しい”の割合が低くなる傾向にあります。



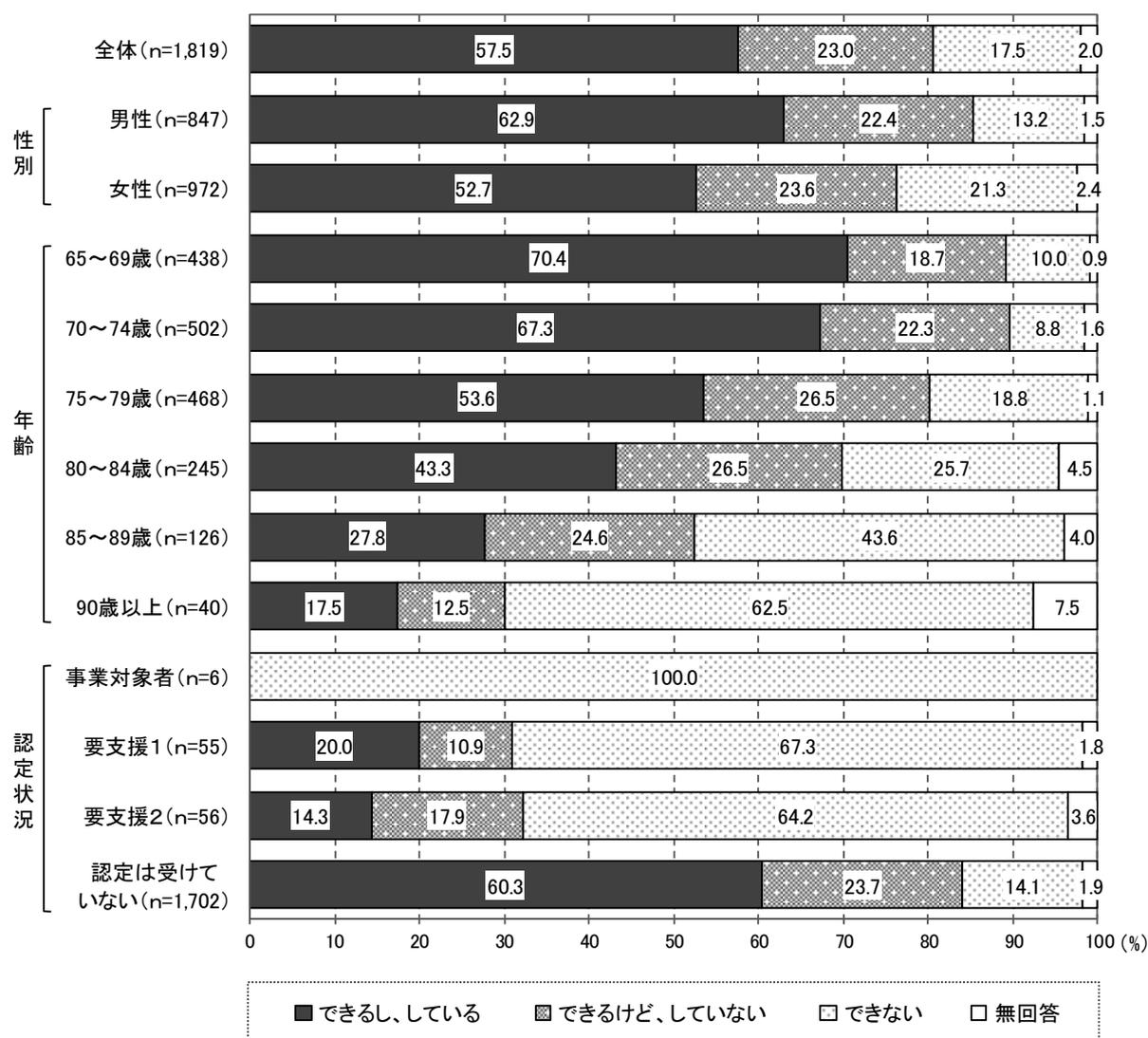
問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

全体では、「できるし、している」が57.5%と最も高く、次いで、「できるけど、していない」(23.0%)、「できない」(17.5%)、の順となっています。「できるけど、していない」と「できない」を合わせた“していない”は40.5%となっています。

性別で見ると、“していない”では、女性が44.9%と男性の35.6%を上回っています。

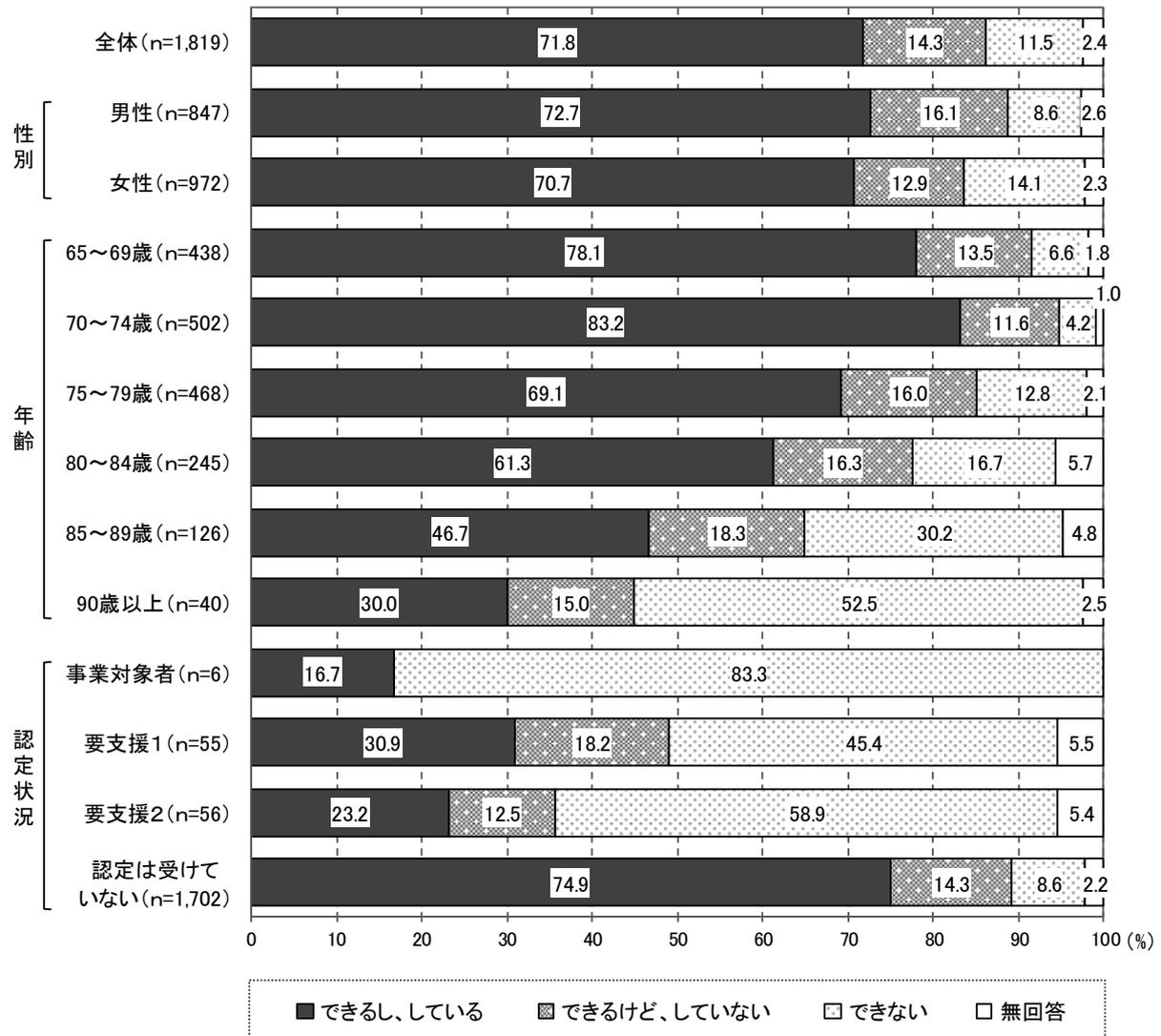
年齢層別で見ると、加齢につれて「できるし、している」の割合が低くなり、「できない」の割合が高くなっています。



(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

全体では、「できるし、している」が71.8%と最も高く、次いで、「できるけど、していない」(14.3%)、「できない」(11.5%)、の順なっています。「できるけど、していない」と「できない」を合わせた“していない”は25.8%となっています。

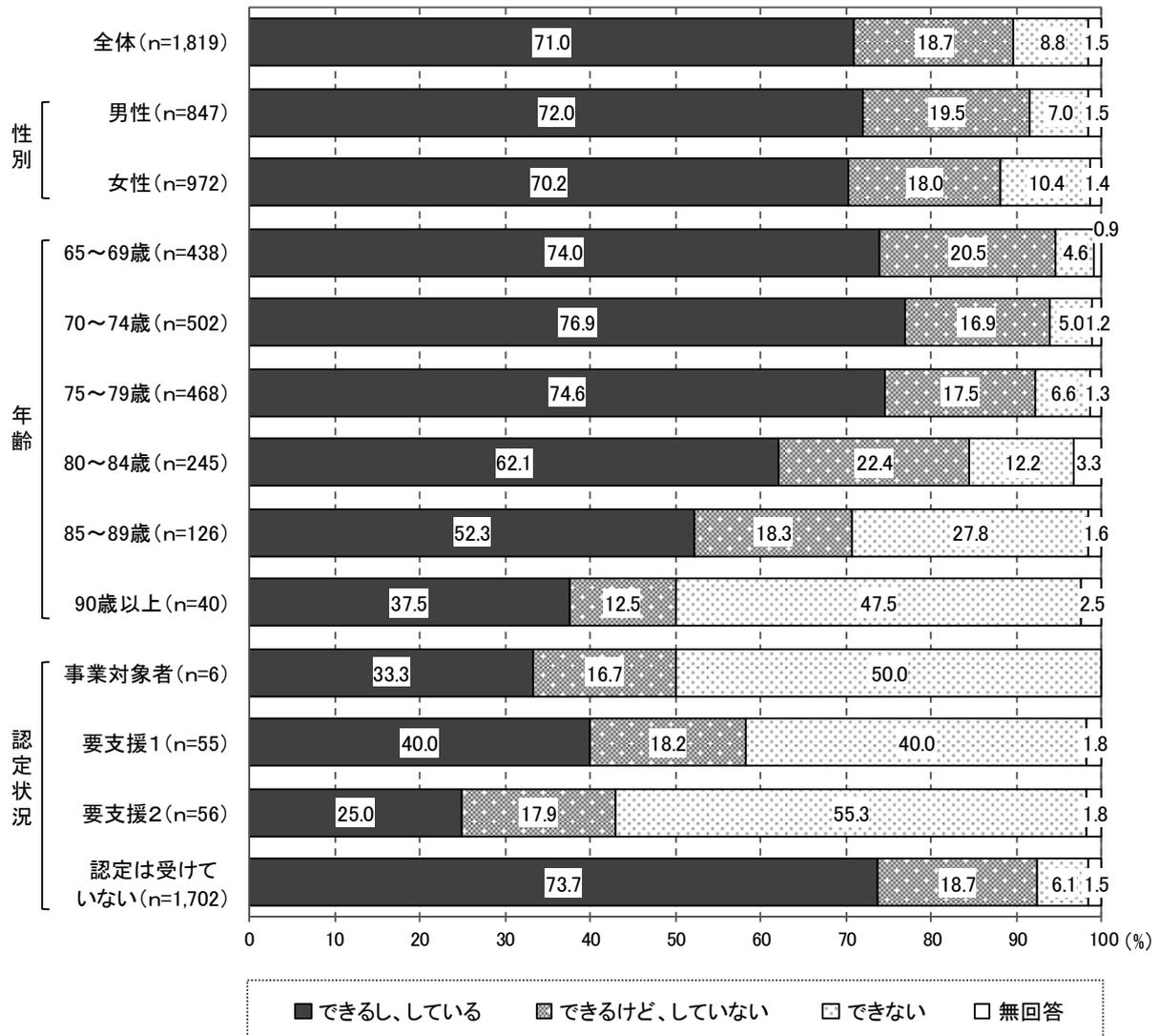
年齢層別でみると、加齢につれて「できるし、している」の割合が低くなり、「できない」の割合が高くなっています。



(3) 15分位続けて歩いていますか。

全体では、「できるし、している」が71.0%と最も高く、次いで、「できるけど、していない」(18.7%)、「できない」(8.8%)の順となっています。「できるけど、していない」と「できない」を合わせた“していない”は27.5%となっています。

年齢層別でみると、加齢につれて「できるし、している」の割合が低くなり、「できない」の割合が高くなっています。

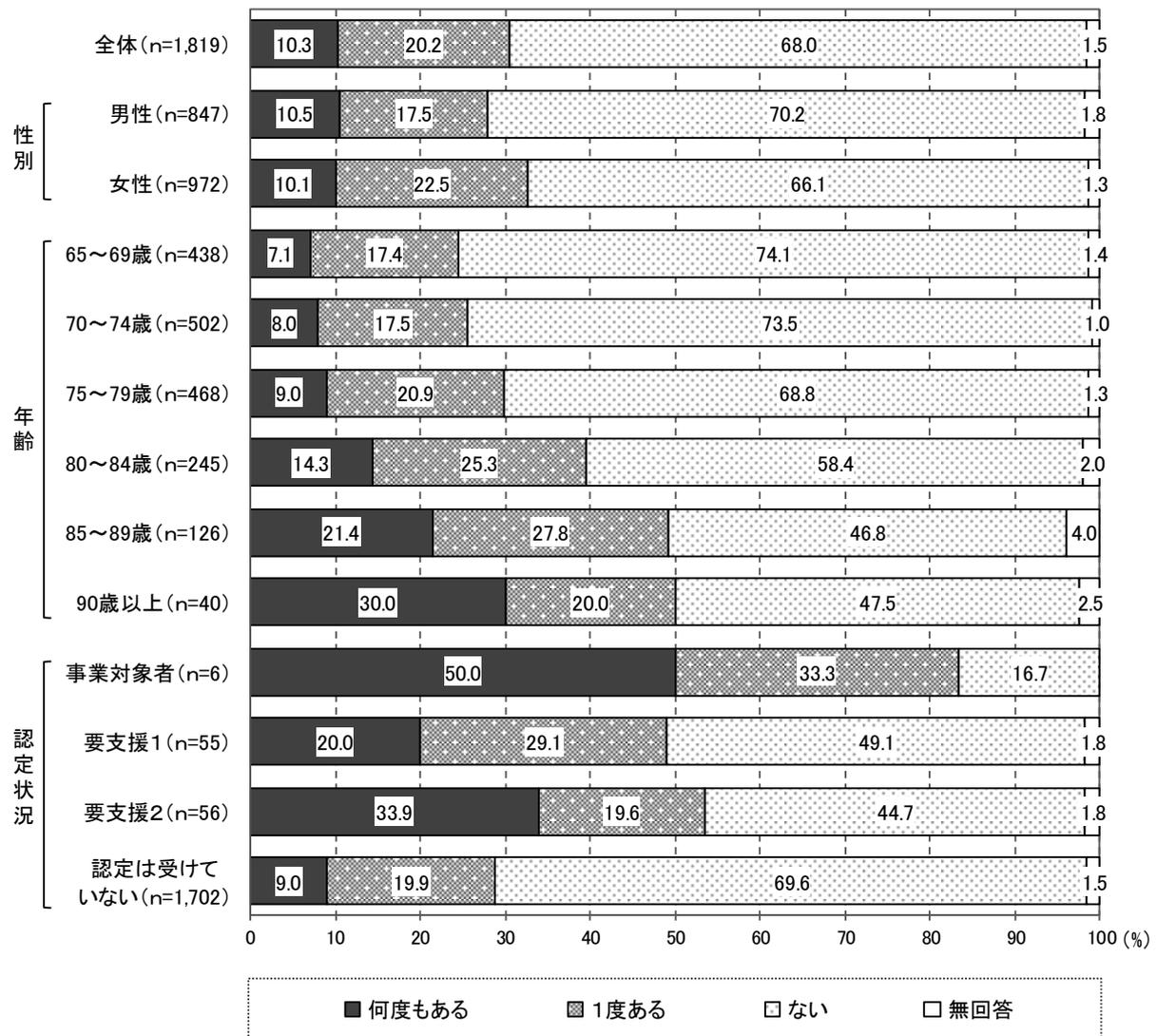


(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。

全体では、「ない」が68.0%と最も高く、次いで、「1度ある」(20.2%)、「何度もある」(10.3%)の順となっています。「何どもある」と「1度ある」を合わせた“ある”は30.5%となっています。

性別で見ると、“ある”では、女性が32.6%と男性の28.0%を上回っています。

年齢層別で見ると、加齢につれて「ない」の割合が低くなり、“ある”の割合が高くなっていきます。

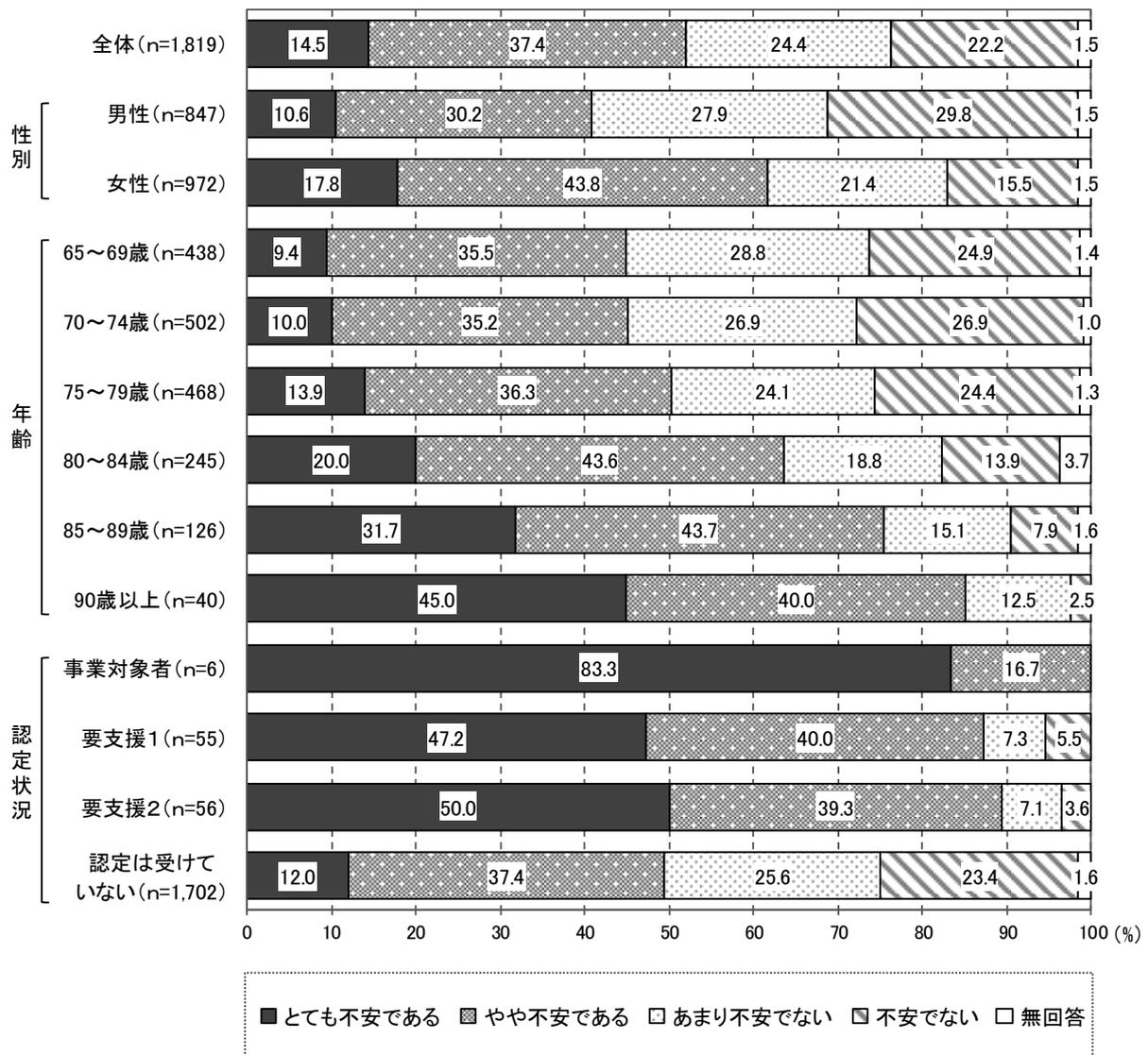


(5) 転倒に対する不安は大きいですか。

全体では、「やや不安である」が37.4%と最も高く、次いで、「あまり不安でない」(24.4%)、「不安でない」(22.2%)の順となっています。「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた“不安である”は51.9%、「あまり不安でない」と「不安でない」を合わせた“不安でない”は46.6%となっています。

性別でみると、“不安である”では、女性が61.6%と男性の40.8%をかなり上回っています。

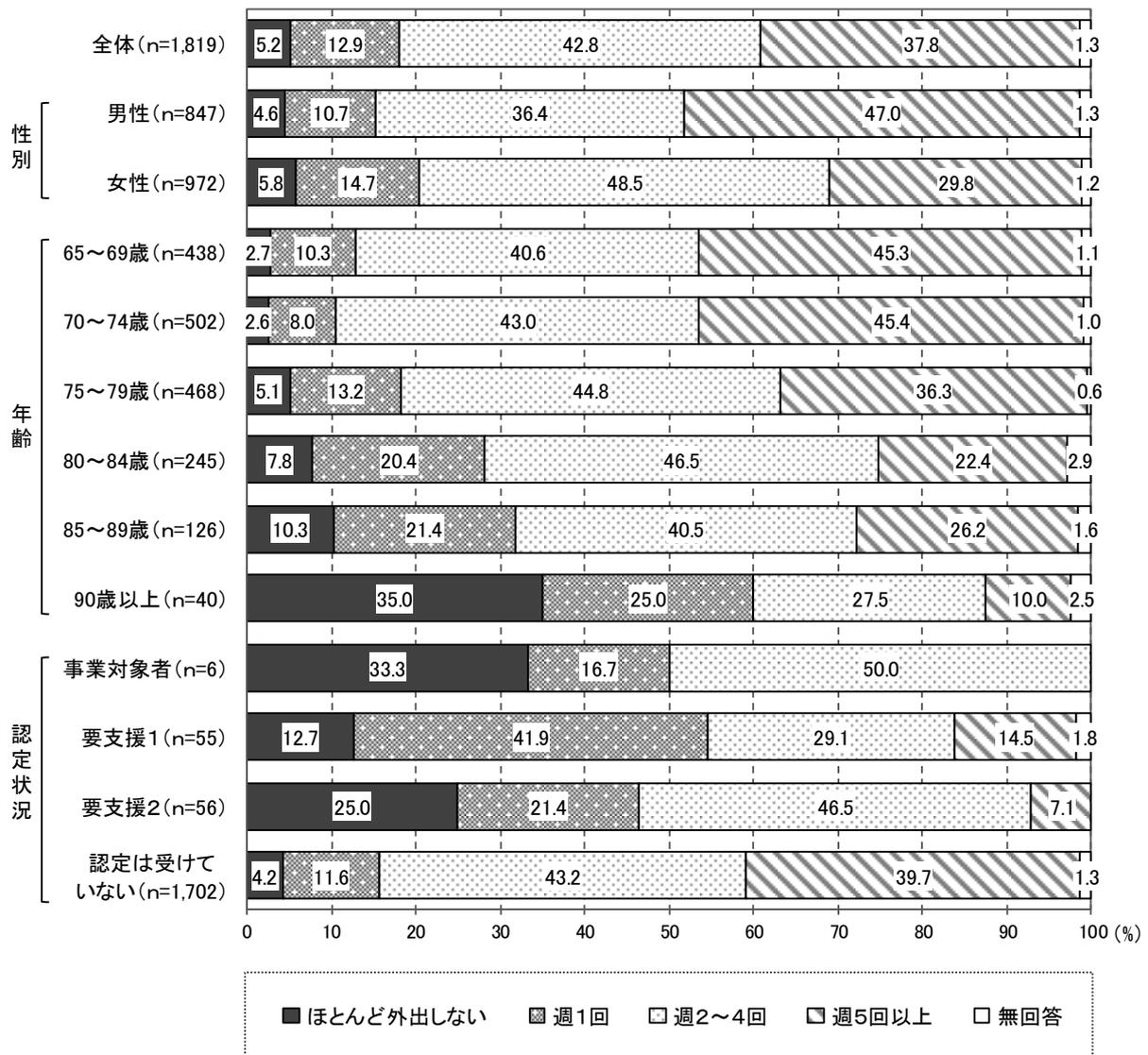
年齢層別でみると、加齢につれて「不安でない」の割合が低くなり、「とても不安である」の割合が高くなっています。



(6) 週に1回以上は外出していますか。

全体では、「週2～4回」が42.8%と最も高く、次いで、「週5回以上」(37.8%)、「週1回」(12.9%)の順となっています。「週2～4回」と「週5回以上」を合わせた“外出している”は80.6%、「ほとんど外出しない」と「週1回」を合わせた“ほとんど外出していない”は18.1%となっています。

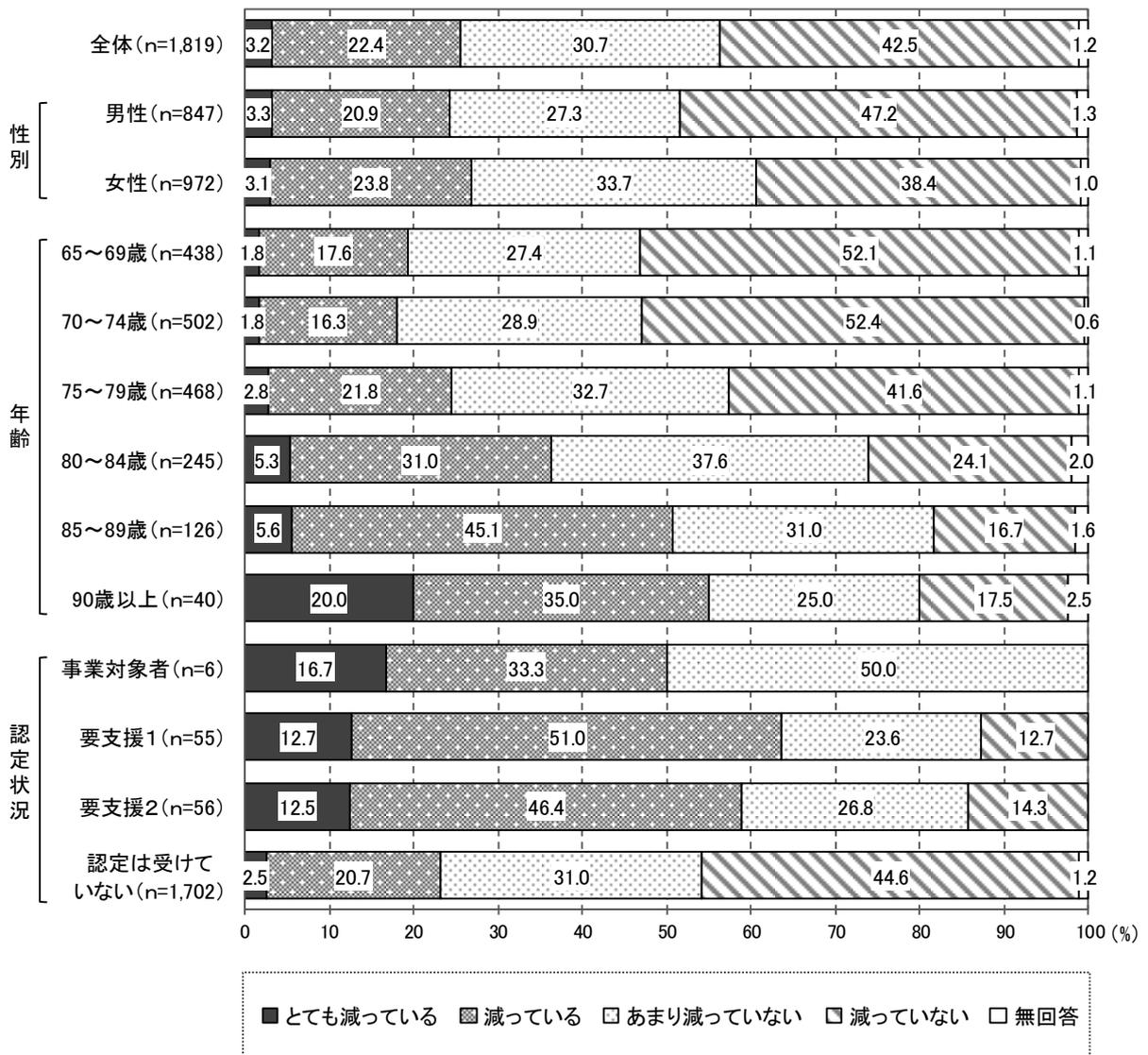
年齢層別で見ると、加齢につれて“外出している”の割合が低くなり、“外出していない”の割合が高くなっています。



(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

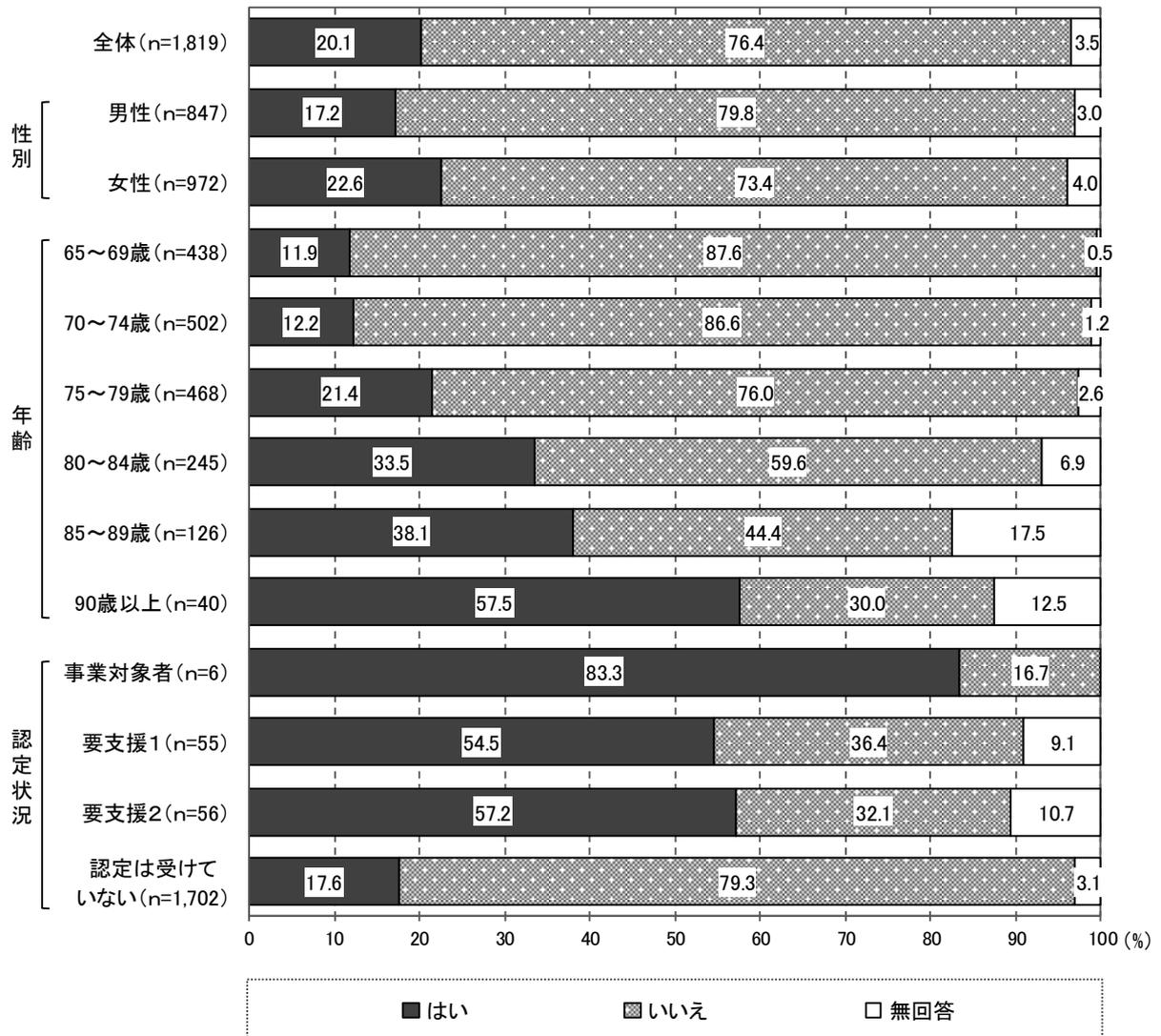
全体では、「減っていない」が42.5%と最も高く、次いで、「あまり減っていない」(30.7%)、「減っている」(22.4%)の順となっています。「あまり減っていない」と「減っていない」を合わせた“減っていない”は73.2%、「とても減っている」と「減っている」を合わせた“減っている”は25.6%となっています。

年齢層別でみると、加齢につれて“減っていない”の割合が低くなり、“減っている”の割合が高くなっています。



(8) 外出を控えていますか。

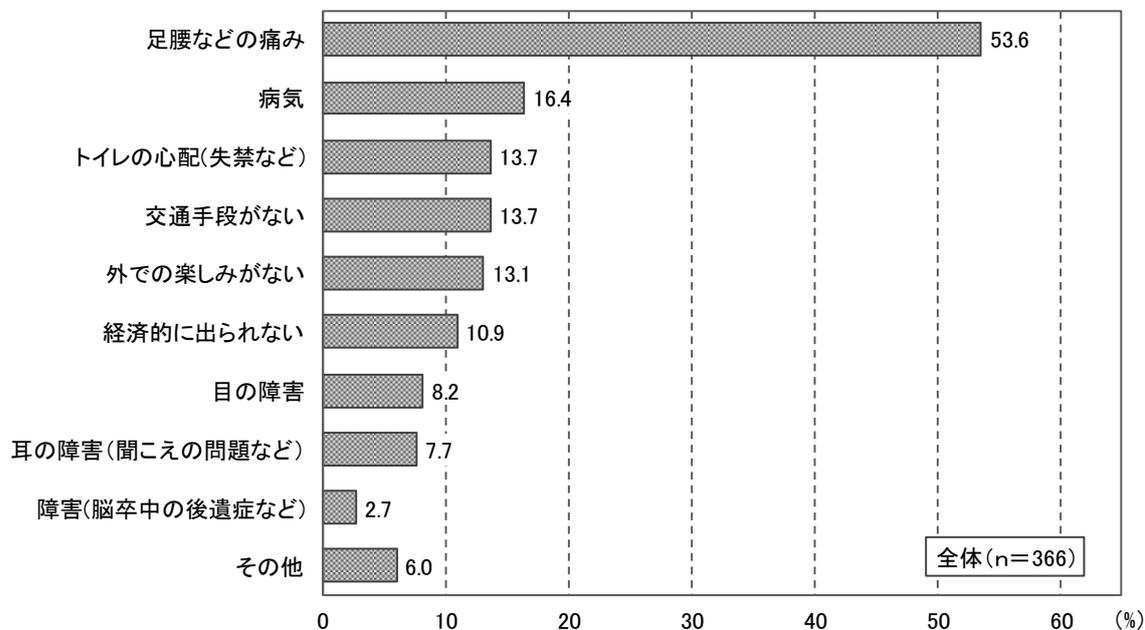
全体では、「いいえ」が76.4%、「はい」が20.1%となっています。
 性別で見ると、「はい」では、女性が22.6%と男性の17.2%を上回っています。
 年齢層別で見ると、加齢につれて「はい」の割合が高くなっています。



【(8)において「1. はい」(外出を控えている)に○をつけた方のみ】

(8) ① 外出を控えている理由は、次のどれですか。【複数回答】

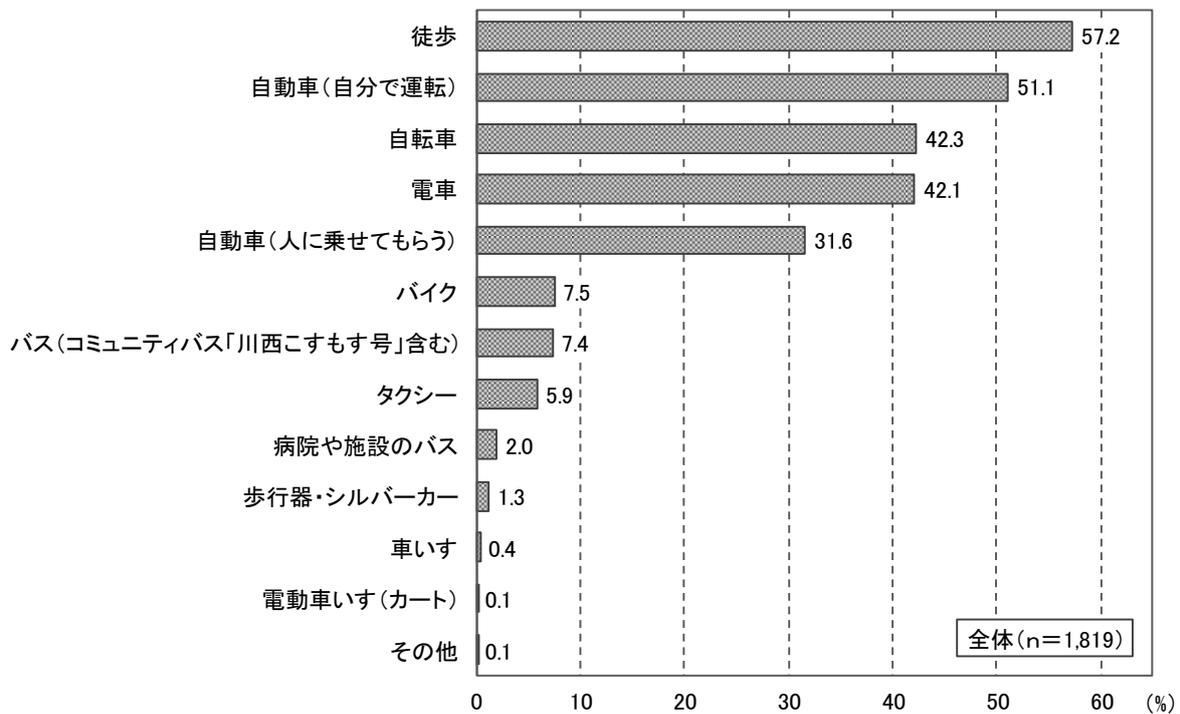
全体では、「足腰などの痛み」が53.6%と最も高く、次いで、「病気」(16.4%)、「トイレの心配(失禁など)」・「交通手段がない」(13.7%で同率)の順となっています。



		病気	障害(脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	耳の障害(聞こえの問題など)	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	
全体		366	60	10	196	50	28	30	48	40	50	22
			16.4%	2.7%	53.6%	13.7%	7.7%	8.2%	13.1%	10.9%	13.7%	6.0%
性別	男性	146	34	6	72	22	10	10	26	16	17	6
			23.3%	4.1%	49.3%	15.1%	6.8%	6.8%	17.8%	11.0%	11.6%	4.1%
性別	女性	220	26	4	124	28	18	20	22	24	33	16
			11.8%	1.8%	56.4%	12.7%	8.2%	9.1%	10.0%	10.9%	15.0%	7.3%
年齢	65～69歳	52	10	1	20	3	2	7	7	12	6	4
			19.2%	1.9%	38.5%	5.8%	3.8%	13.5%	13.5%	23.1%	11.5%	7.7%
	70～74歳	61	12	2	22	7	2	4	6	15	7	2
			19.7%	3.3%	36.1%	11.5%	3.3%	6.6%	9.8%	24.6%	11.5%	3.3%
	75～79歳	100	16	2	56	12	3	4	16	7	16	8
			16.0%	2.0%	56.0%	12.0%	3.0%	4.0%	16.0%	7.0%	16.0%	8.0%
年齢	80～84歳	82	12	3	45	14	8	8	15	5	11	5
			14.6%	3.7%	54.9%	17.1%	9.8%	9.8%	18.3%	6.1%	13.4%	6.1%
	85～89歳	48	7	1	36	8	9	5	2	0	5	0
		14.6%	2.1%	75.0%	16.7%	18.8%	10.4%	4.2%	0.0%	10.4%	0.0%	
年齢	90歳以上	23	3	1	17	6	4	2	2	1	5	3
			13.0%	4.3%	73.9%	26.1%	17.4%	8.7%	8.7%	4.3%	21.7%	13.0%
認定状況	事業対象者	5	2	1	5	1	1	1	1	2	1	1
			40.0%	20.0%	100.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%
	要支援1	30	8	1	22	7	3	2	1	0	4	2
			26.7%	3.3%	73.3%	23.3%	10.0%	6.7%	3.3%	0.0%	13.3%	6.7%
認定状況	要支援2	32	6	1	26	6	4	3	2	0	8	1
			18.8%	3.1%	81.3%	18.8%	12.5%	9.4%	6.3%	0.0%	25.0%	3.1%
認定状況	認定は受けていない	299	44	7	143	36	20	24	44	38	37	18
			14.7%	2.3%	47.8%	12.0%	6.7%	8.0%	14.7%	12.7%	12.4%	6.0%

(9) 外出する際の移動手段は何ですか。【複数回答】

全体では、「徒歩」が57.2%と最も高く、次いで、「自動車（自分で運転）」(51.1%)、「自転車」(42.3%)の順となっています。また、加齢に伴い、徒歩、自転車、バイク、自動車（自分で運転）などの独力での外出は割合が低くなり、自動車（人に乗せてもらう）は割合が高くなっています。



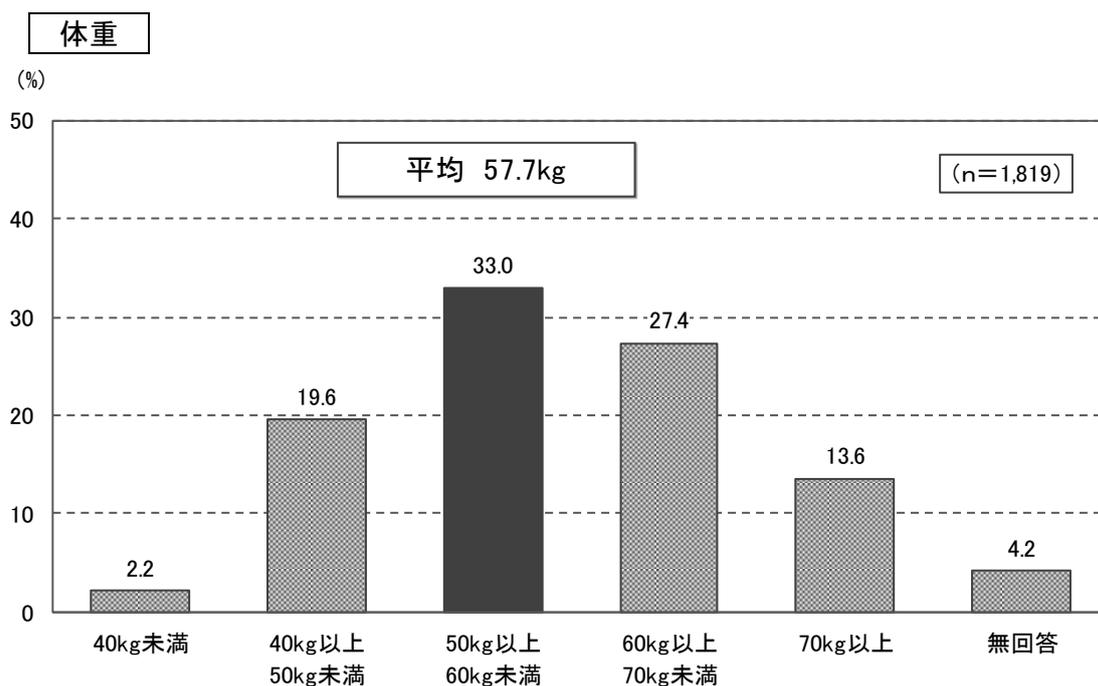
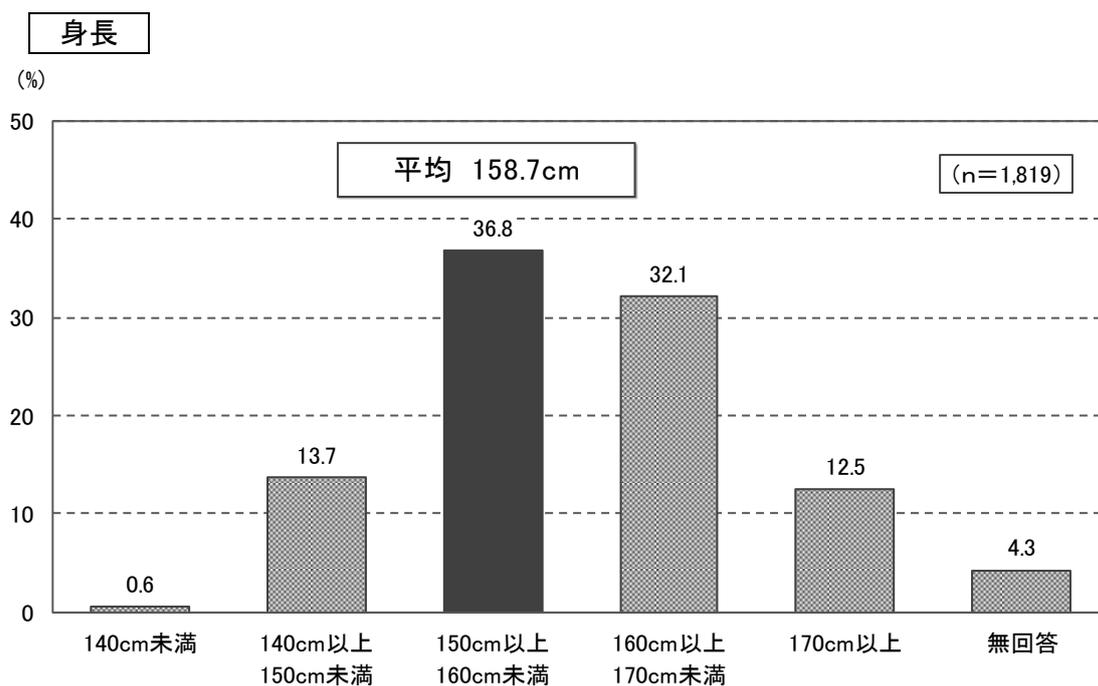
		(n=)	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で 運転)	自動車 (人に乗 せてもら う)	電車	バス(コ ミュニ ティバス 「川西こ すもす 号」含 む)	病院や 施設の バス	車いす	電動車 いす (カート)	歩行器・ シル バー カー	タクシー	その他
全体		1,819	1,041 57.2%	769 42.3%	137 7.5%	929 51.1%	575 31.6%	766 42.1%	134 7.4%	37 2.0%	7 0.4%	1 0.1%	23 1.3%	107 5.9%	1 0.1%
性別	男性	847	471 55.6%	337 39.8%	66 7.8%	604 71.3%	133 15.7%	318 37.5%	35 4.1%	8 0.9%	2 0.2%	0 0.0%	6 0.7%	36 4.3%	0 0.0%
	女性	972	570 58.6%	432 44.4%	71 7.3%	325 33.4%	442 45.5%	448 46.1%	99 10.2%	29 3.0%	5 0.5%	1 0.1%	17 1.7%	71 7.3%	1 0.1%
年齢	65～69歳	438	242 55.3%	172 39.3%	42 9.6%	296 67.6%	126 28.8%	170 38.8%	22 5.0%	4 0.9%	1 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.7%	0 0.0%
	70～74歳	502	313 62.4%	234 46.6%	50 10.0%	303 60.4%	144 28.7%	242 48.2%	37 7.4%	6 1.2%	1 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	21 4.2%	0 0.0%
	75～79歳	468	284 60.7%	227 48.5%	26 5.6%	225 48.1%	148 31.6%	216 46.2%	28 6.0%	8 1.7%	2 0.4%	0 0.0%	9 1.9%	33 7.1%	1 0.2%
	80～84歳	245	131 53.5%	95 38.8%	14 5.7%	82 33.5%	75 30.6%	90 36.7%	30 12.2%	8 3.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.2%	26 10.6%	0 0.0%
	85～89歳	126	57 45.2%	36 28.6%	3 2.4%	20 15.9%	55 43.7%	44 34.9%	15 11.9%	9 7.1%	2 1.6%	0 0.0%	6 4.8%	18 14.3%	0 0.0%
	90歳以上	40	14 35.0%	5 12.5%	2 5.0%	3 7.5%	27 67.5%	4 10.0%	2 5.0%	2 5.0%	1 2.5%	1 2.5%	5 12.5%	6 15.0%	0 0.0%
認定状況	事業対象者	6	3 50.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	3 50.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%
	要支援1	55	23 41.8%	10 18.2%	2 3.6%	5 9.1%	32 58.2%	23 41.8%	11 20.0%	6 10.9%	0 0.0%	0 0.0%	5 9.1%	10 18.2%	0 0.0%
	要支援2	56	16 28.6%	2 3.6%	2 3.6%	7 12.5%	27 48.2%	7 12.5%	5 8.9%	5 8.9%	4 7.1%	0 0.0%	10 17.9%	10 17.9%	0 0.0%
	認定は受けていない	1,702	999 58.7%	756 44.4%	133 7.8%	916 53.8%	513 30.1%	735 43.2%	117 6.9%	25 1.5%	3 0.2%	1 0.1%	8 0.5%	85 5.0%	1 0.1%

問3 食べることについて

(1) 身長・体重 (数字で記入)

全体では、平均身長は 158.7cm、平均体重は 57.7kg となっています。

身長・体重から算出したBMIをみると、普通体重の人が 68.4%、低栄養の該当者が 6.4%、高度肥満の該当者が 0.5% となっています。また、年齢層別でみると、加齢につれて低栄養の該当者の割合が高くなっています。

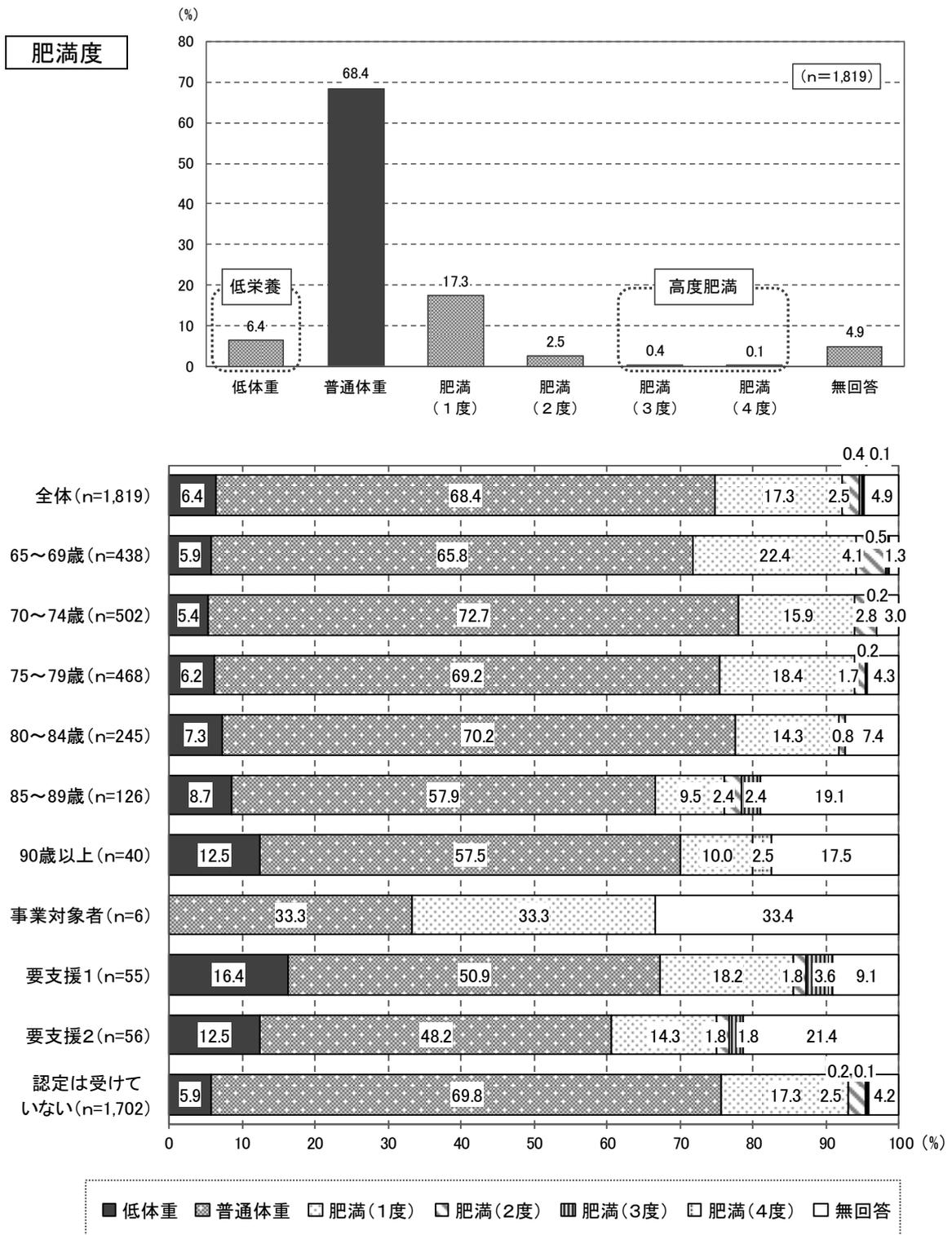


肥満度 (BMI) の計算式

(一社) 日本肥満学会

$$BMI = \text{体重 (kg)} \div \text{身長 (m)} \div \text{身長 (m)}$$

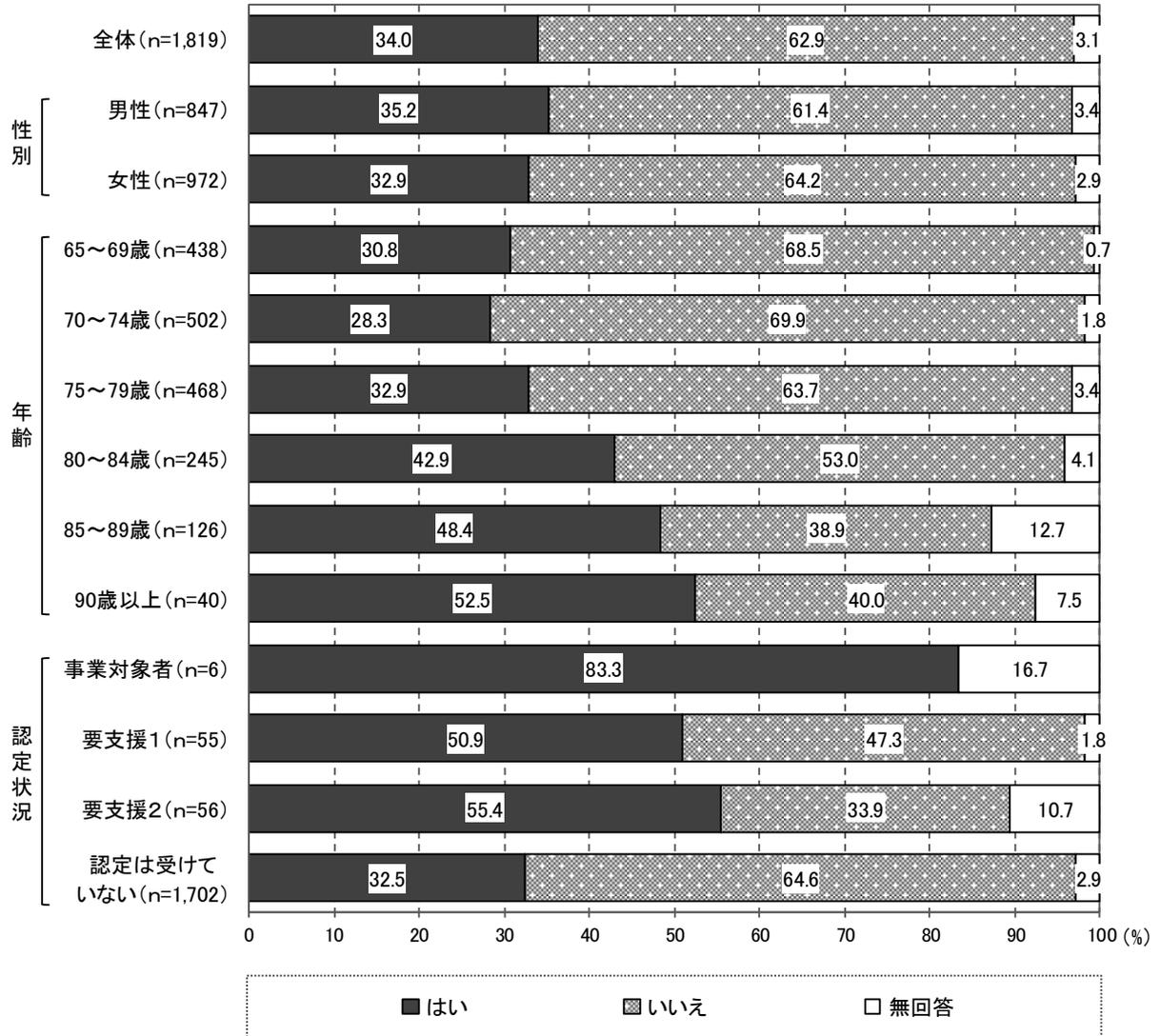
BMI	判定	BMI	判定
18.5 未満	低体重	30~35 未満	肥満 (2度)
18.5~25 未満	普通体重	35~40 未満	肥満 (3度)
25~30 未満	肥満 (1度)	40 以上	肥満 (4度)



(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

全体では、「いいえ」が62.9%、「はい」が34.0%となっています。

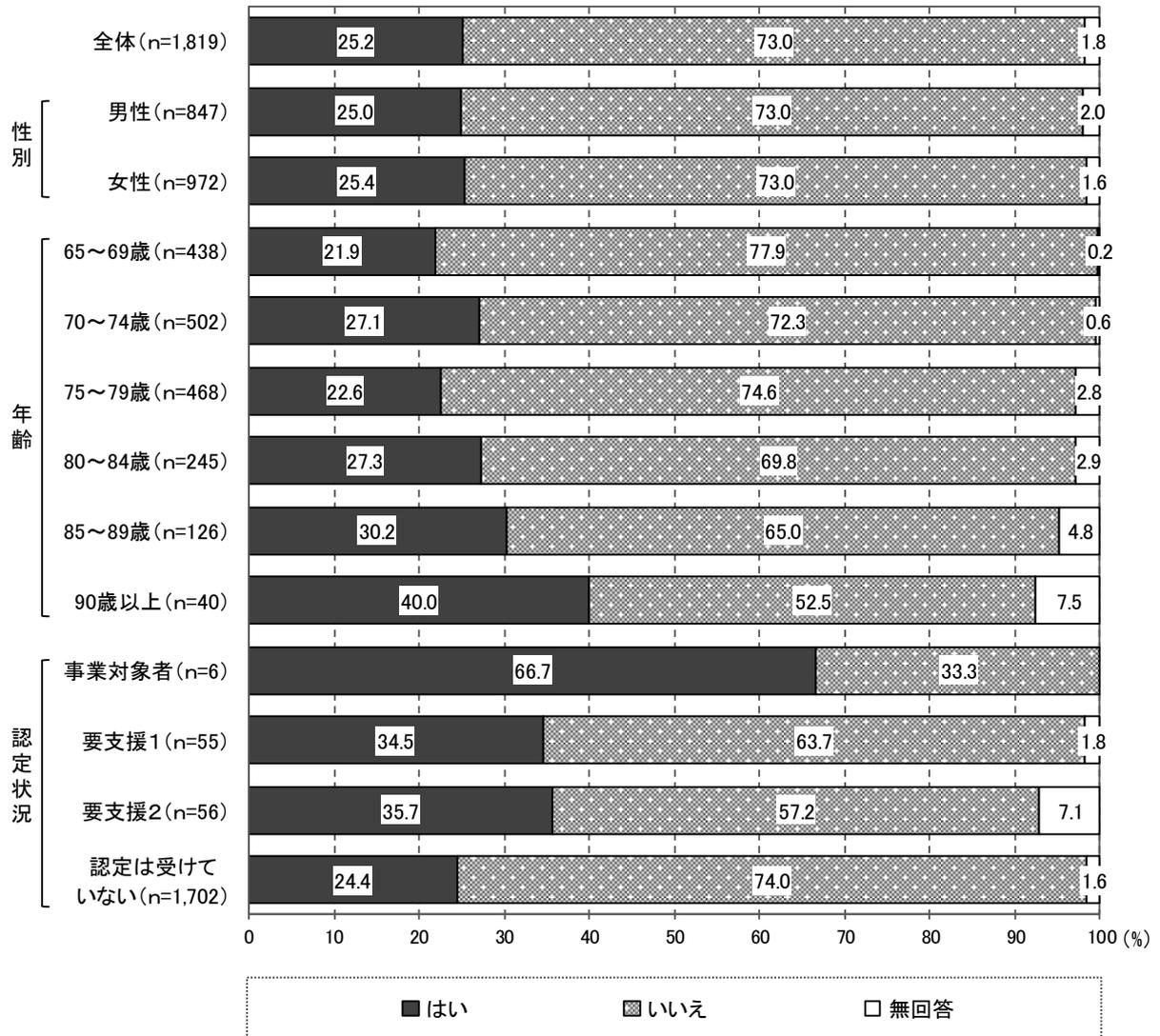
年齢層別でみると、加齢につれて「はい」の割合が高くなる傾向にあります。



(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。

全体では、「いいえ」が73.0%、「はい」が25.2%となっています。

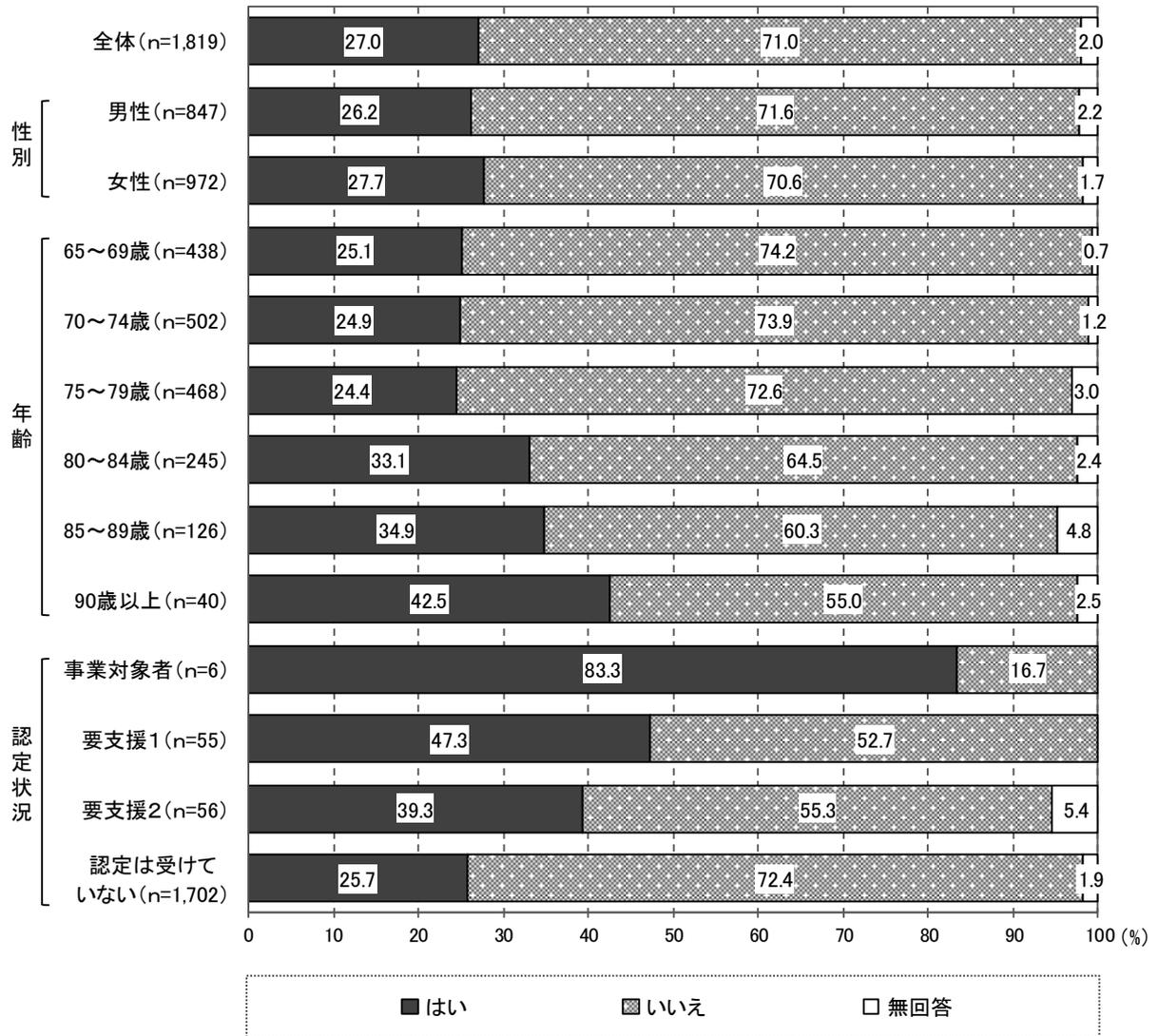
年齢層別でみると、加齢につれて「はい」の割合が高くなる傾向にあります。



(4) 口の渇きが気になりますか。

全体では、「いいえ」が71.0%、「はい」が27.0%となっています。

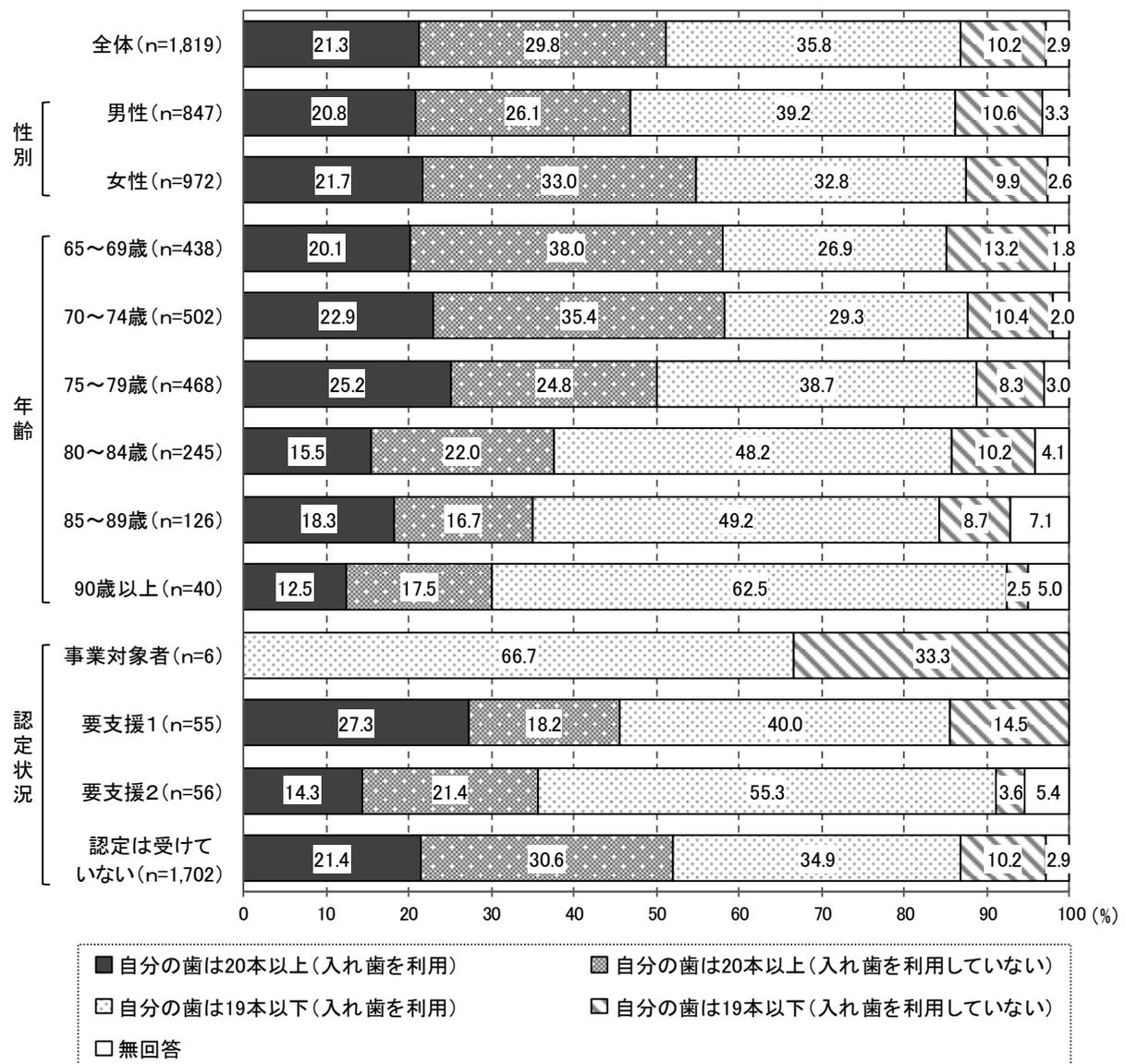
年齢層別でみると、加齢につれて「はい」の割合が高くなる傾向にあります。



**(5) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)**

全体では、「自分の歯は19本以下（入れ歯を利用）」が35.8%と最も高く、次いで、「自分の歯は20本以上（入れ歯を利用していない）」(29.8%)、「自分の歯は20本以上（入れ歯を利用）」(21.3%)の順となっています。

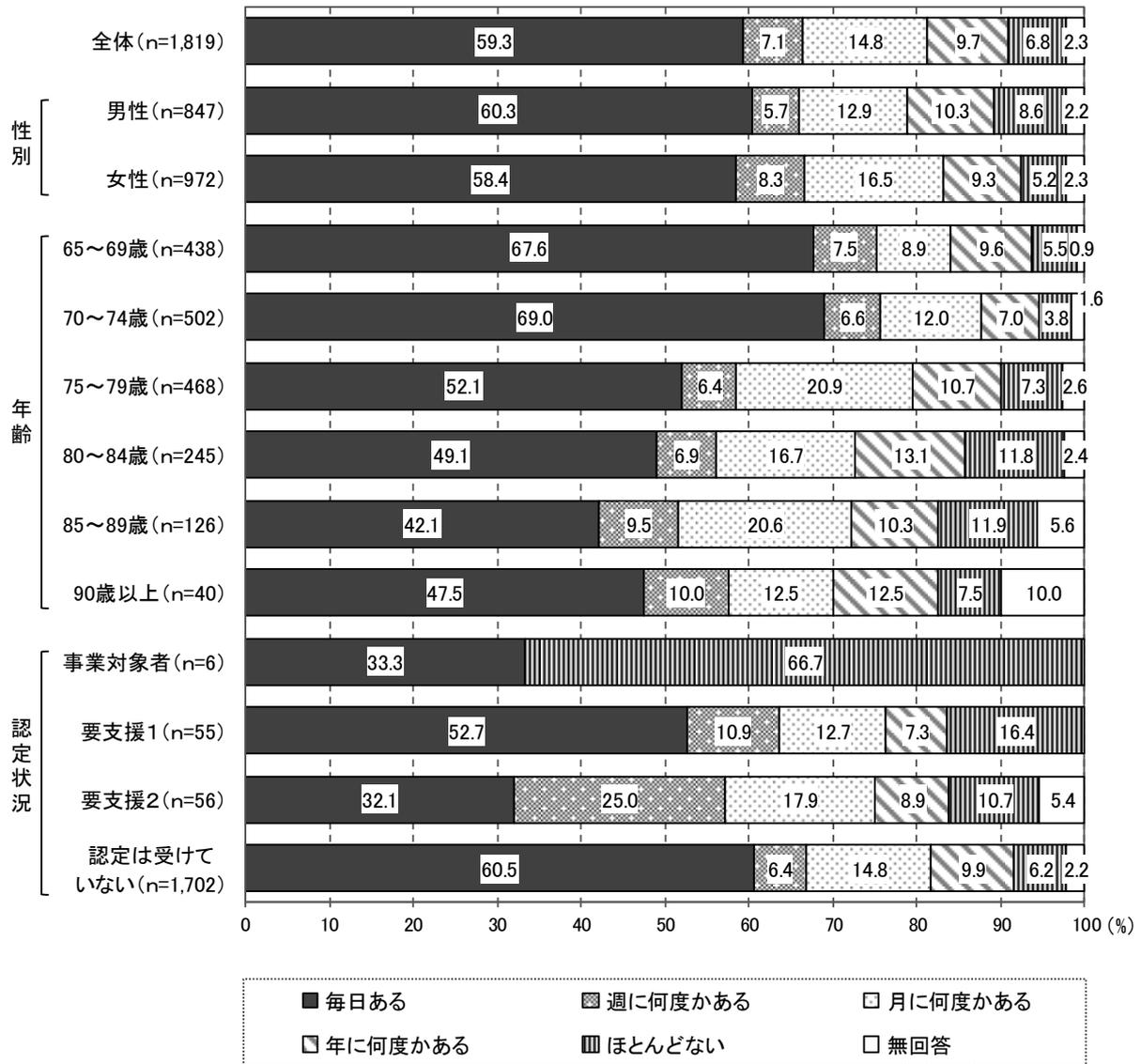
年齢層で見ると、加齢につれて“自分の歯は20本以上”の割合が低くなり、“入れ歯を利用”の割合が高くなっています。



(6) どなたかと食事をとにもする機会がありますか。

全体では、「毎日ある」が59.3%と最も高く、次いで、「月に何度かある」(14.8%)、「年に何度かある」(9.7%)の順となっています。また、「毎日ある」・「週に何度かある」・「月に何度かある」を合わせた“ある”は81.2%と高く、「年に何度かある」と「ほとんどない」を合わせた“ない”は16.5%となっています。

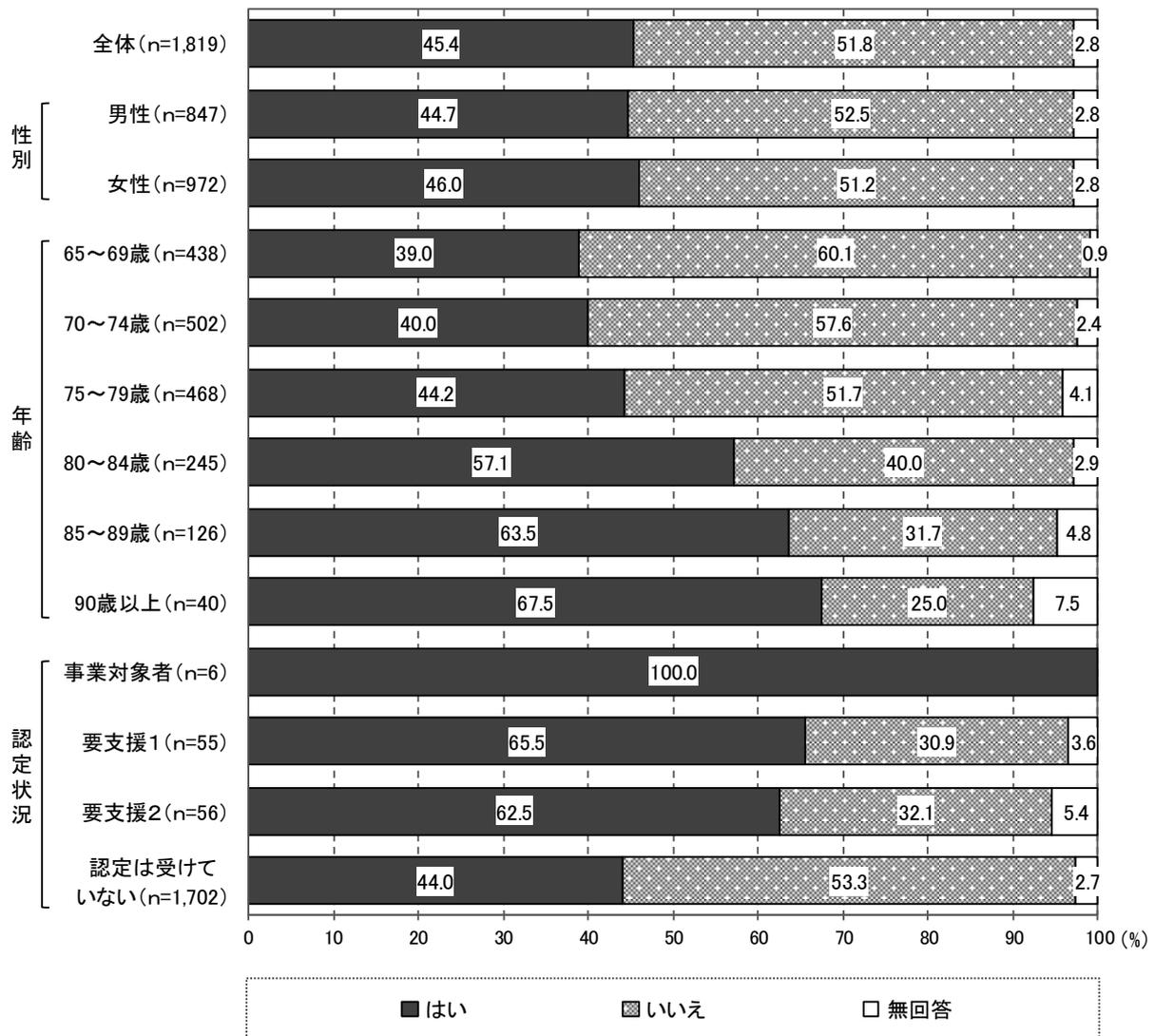
年齢層で見ると、加齢につれて“ある”の割合が低くなる傾向にあります。



問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか。

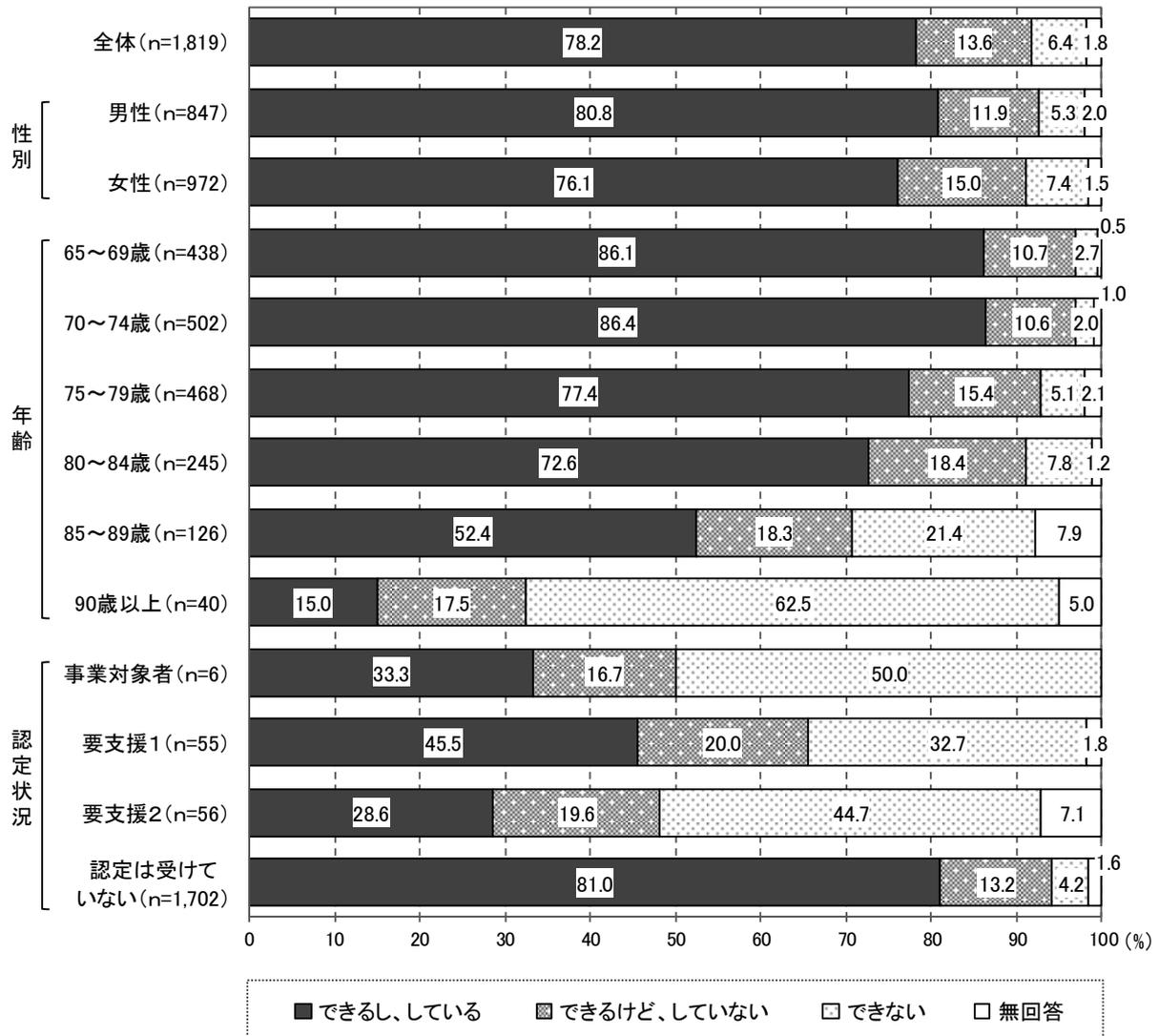
全体では、「いいえ」が51.8%、「はい」が45.4%となっています。
 年齢層で見ると、加齢につれて「はい」の割合が高くなり、「いいえ」の割合が低くなって
 います。



(2) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。

全体では、「できるし、している」が78.2%と最も高く、次いで、「できるけど、していない」(13.6%)、「できない」(6.4%)の順となっています。また、「できるけど、していない」と「できない」を合わせた“していない”は20.0%となっています。

年齢層でみると、加齢につれて“していない”の割合が高くなり、「できるし、している」の割合が低くなっています。

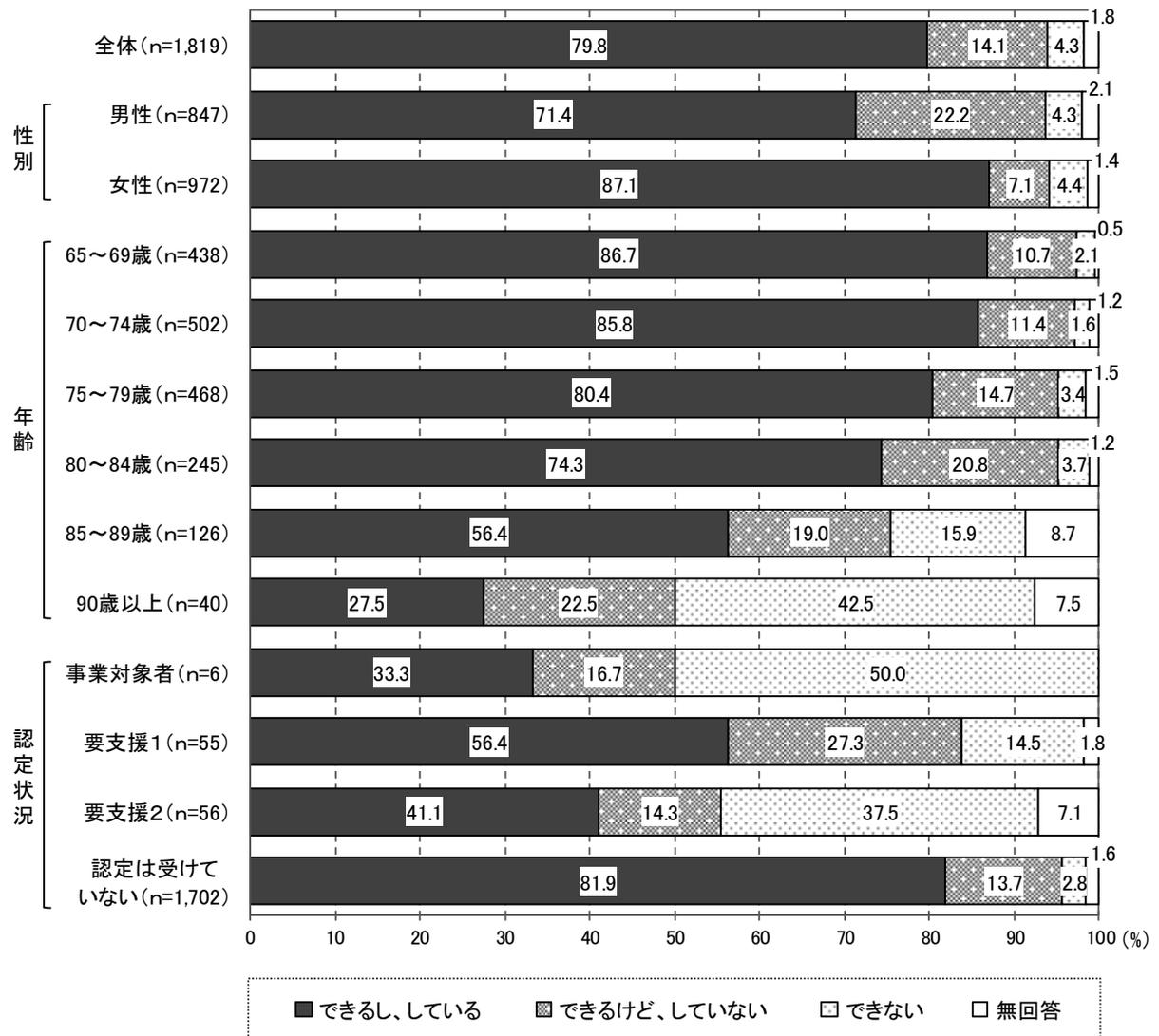


(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。

全体では、「できるし、している」が79.8%と最も高く、次いで、「できるけど、していない」(14.1%)、「できない」(4.3%)の順となっています。また、「できるけど、していない」と「できない」を合わせた“していない”は18.4%となっています。

性別で見ると、「できるし、している」では、男性が71.4%と女性の87.1%より低くなっています。

年齢層で見ると、加齢につれて“していない”の割合が高くなり、「できるし、している」の割合が低くなっています。

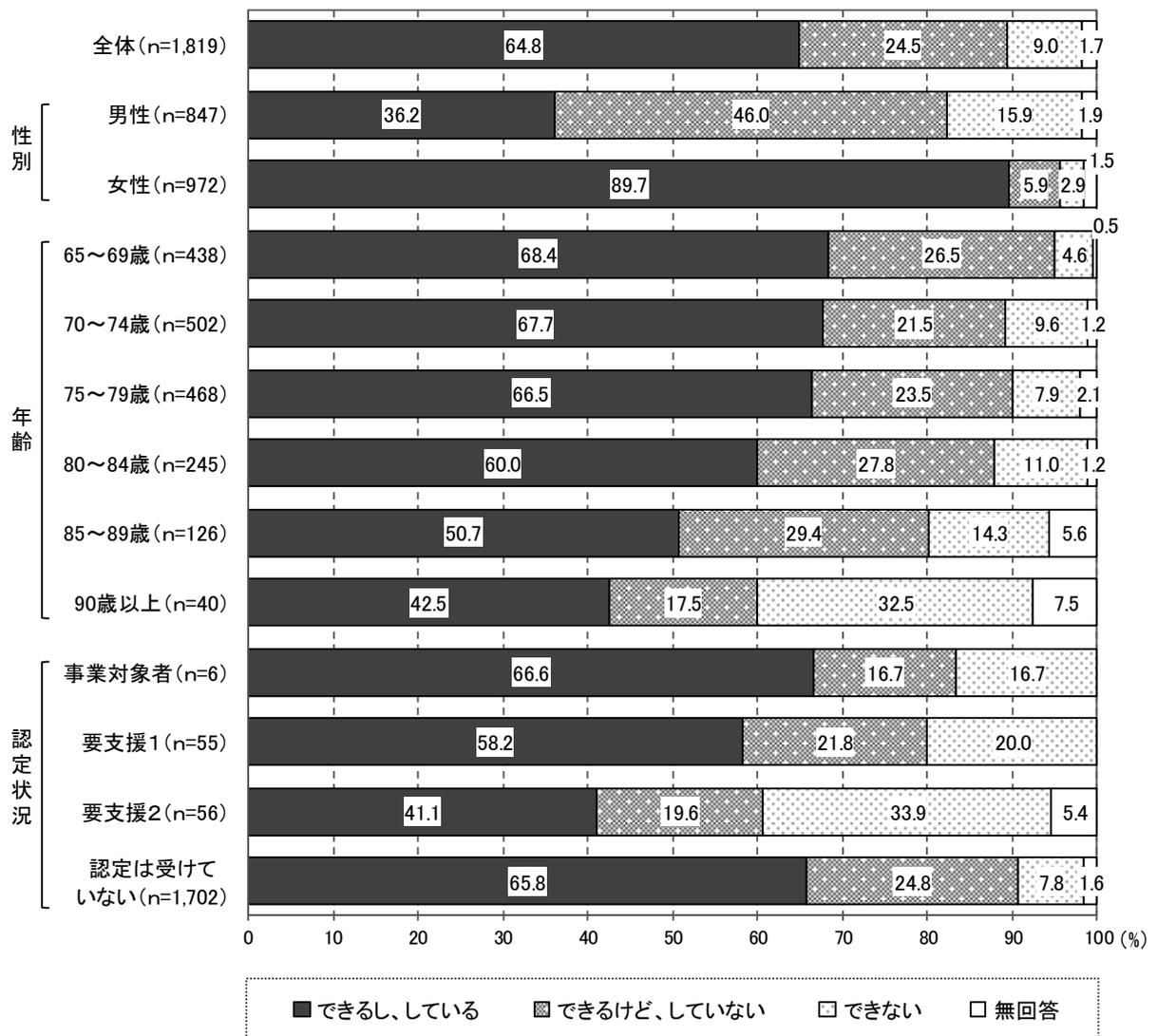


(4) 自分で食事の用意をしていますか。

全体では、「できるし、している」が64.8%と最も高く、次いで、「できるけど、していない」(24.5%)、「できない」(9.0%)の順となっています。また、「できるけど、していない」と「できない」を合わせた“していない”は33.5%となっています。

性別で見ると、「できるし、している」では、男性が36.2%と女性の89.7%よりかなり低くなっています。

年齢層で見ると、加齢につれて“していない”の割合が高くなり、「できるし、している」の割合が低くなっています。

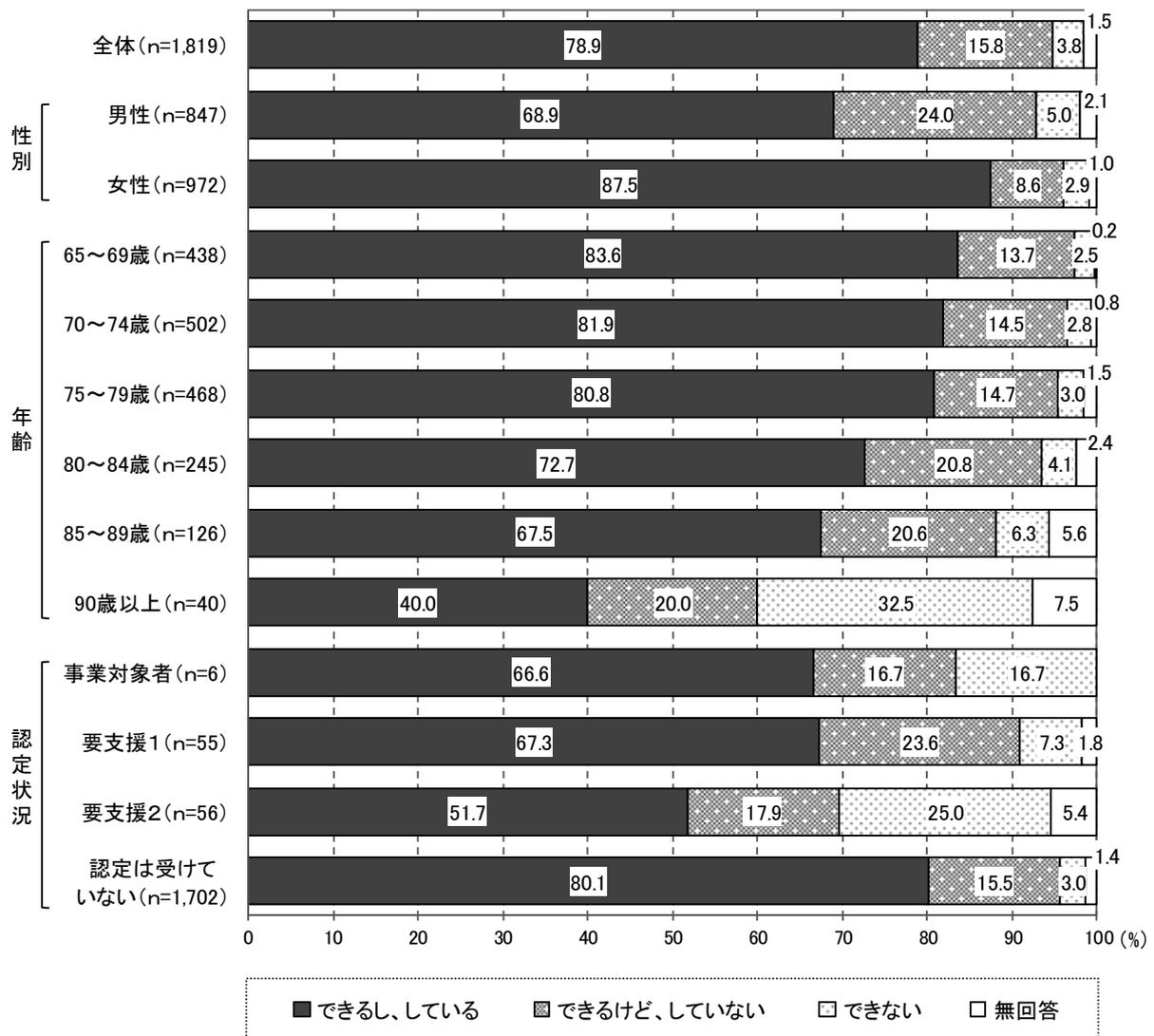


(5) 自分で請求書の支払いをしていますか。

全体では、「できるし、している」が78.9%と最も高く、次いで、「できるけど、していない」(15.8%)、「できない」(3.8%)の順となっています。また、「できるけど、していない」と「できない」を合わせた“していない”は19.6%となっています。

性別で見ると、「できるし、している」では、男性が68.9%と女性の87.5%より低くなっています。

年齢層で見ると、加齢につれて“していない”の割合が高くなり、「できるし、している」の割合が低くなる傾向にあります。

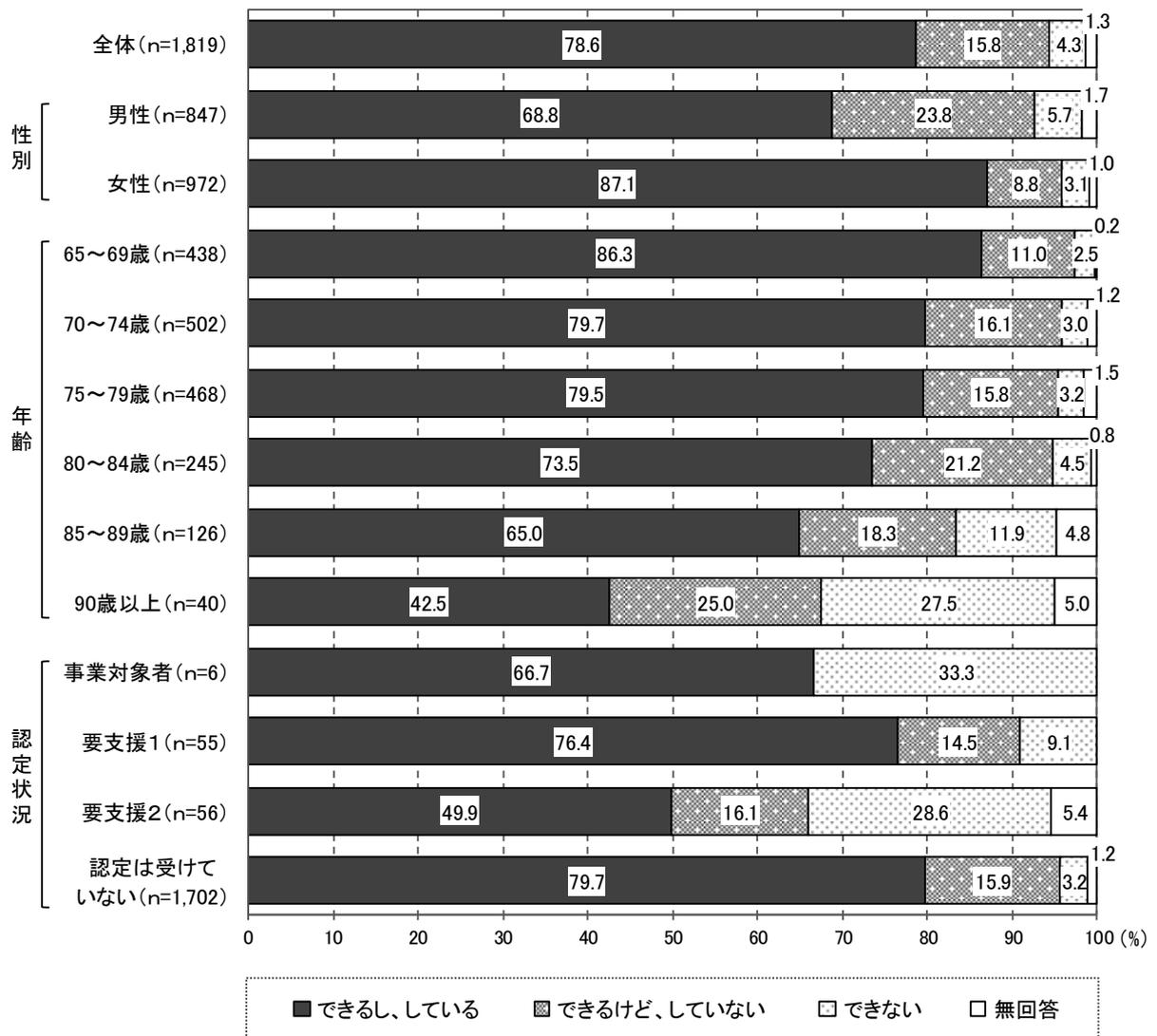


(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

全体では、「できるし、している」が78.6%と最も高く、次いで、「できるけど、していない」(15.8%)、「できない」(4.3%)の順となっています。また、「できるけど、していない」、「できない」を合わせた“していない”は20.1%となっています。

性別で見ると、「できるし、している」では、男性が68.8%と女性の87.1%より低くなっています。

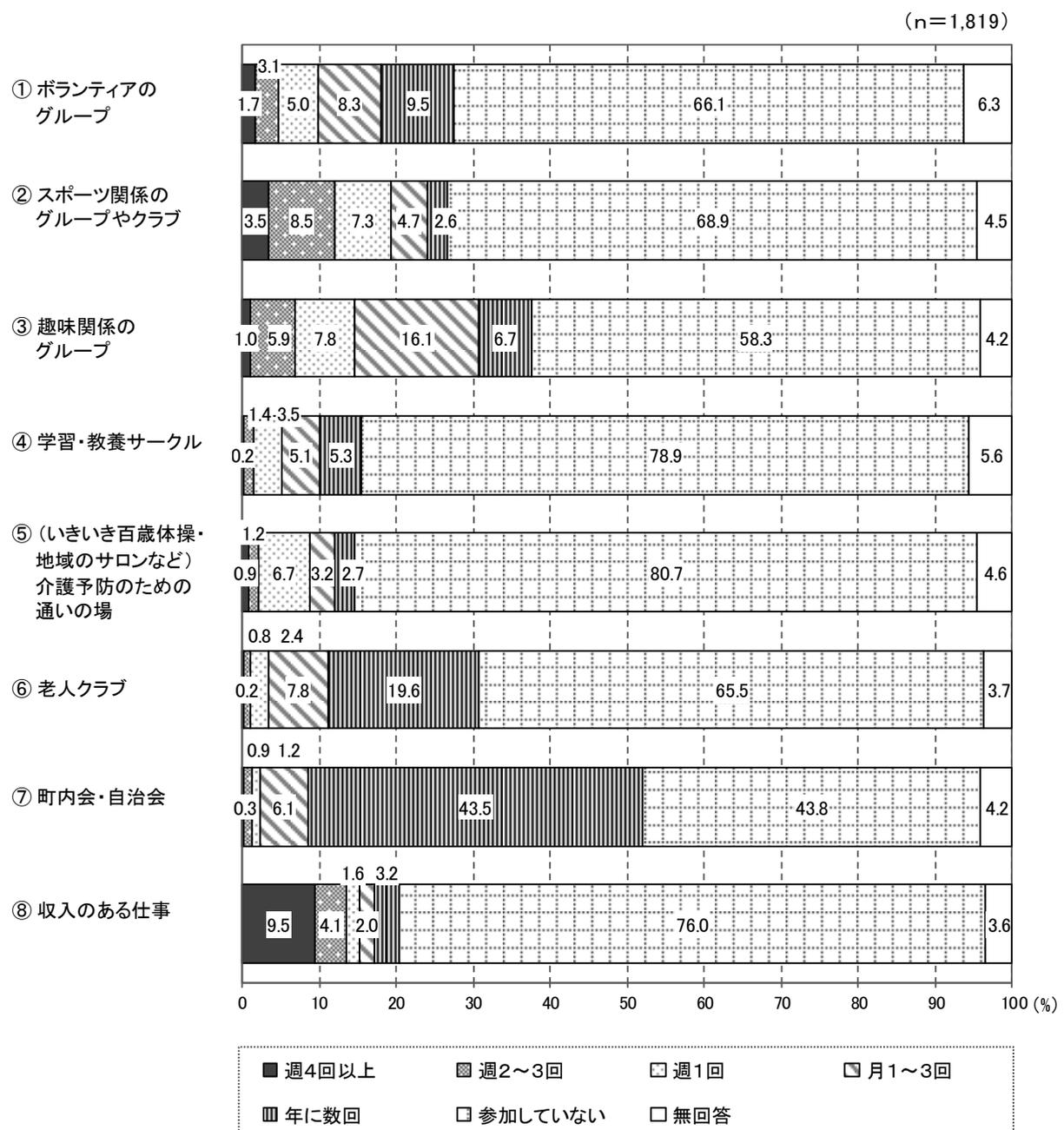
年齢層で見ると、加齢につれて“していない”の割合が高くなり、「できるし、している」の割合が低くなっています。



問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
 ※①～⑧それぞれに回答してください

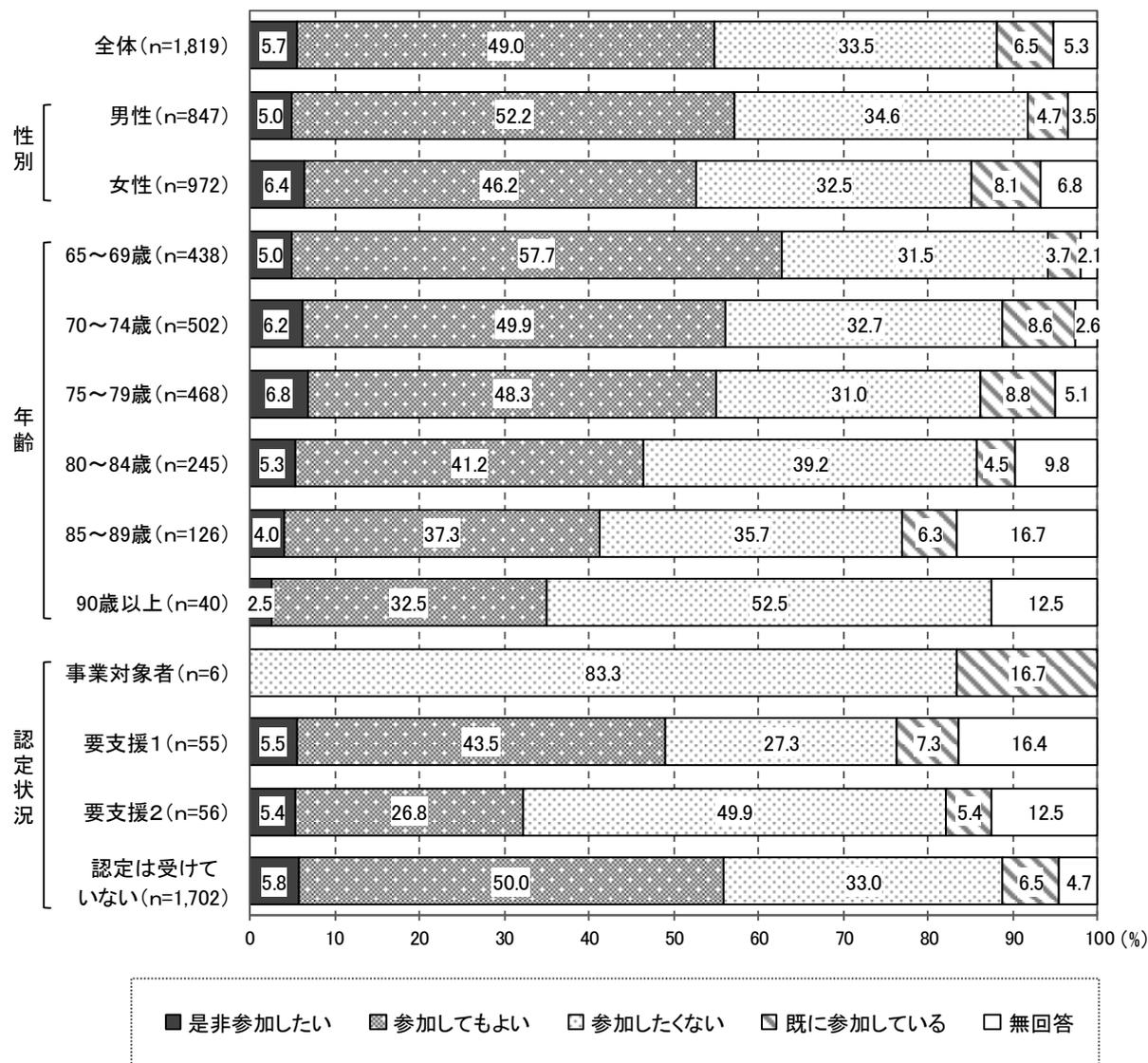
全体では、「年に数回」以上を合わせた“参加している”では、「⑦町内会・自治会」が52.0%と最も高く、次いで、「③趣味関係のグループ」(37.5%)、「⑥老人クラブ」(30.8%)の順となっています。また、「週1回」以上の参加頻度の高い回答を合わせた“週1回以上”では、「②スポーツ関係のグループやクラブ」が19.3%と最も高く、次いで、「⑧収入のある仕事」(15.2%)、「③趣味関係のグループ」(14.7%)の順となっています。



(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

全体では、「是非参加したい」(5.7%)と「参加してもよい」(49.0%)を合わせた“参加したい”が54.7%、「参加したくない」が33.5%、「既に参加している」が6.5%となっています。

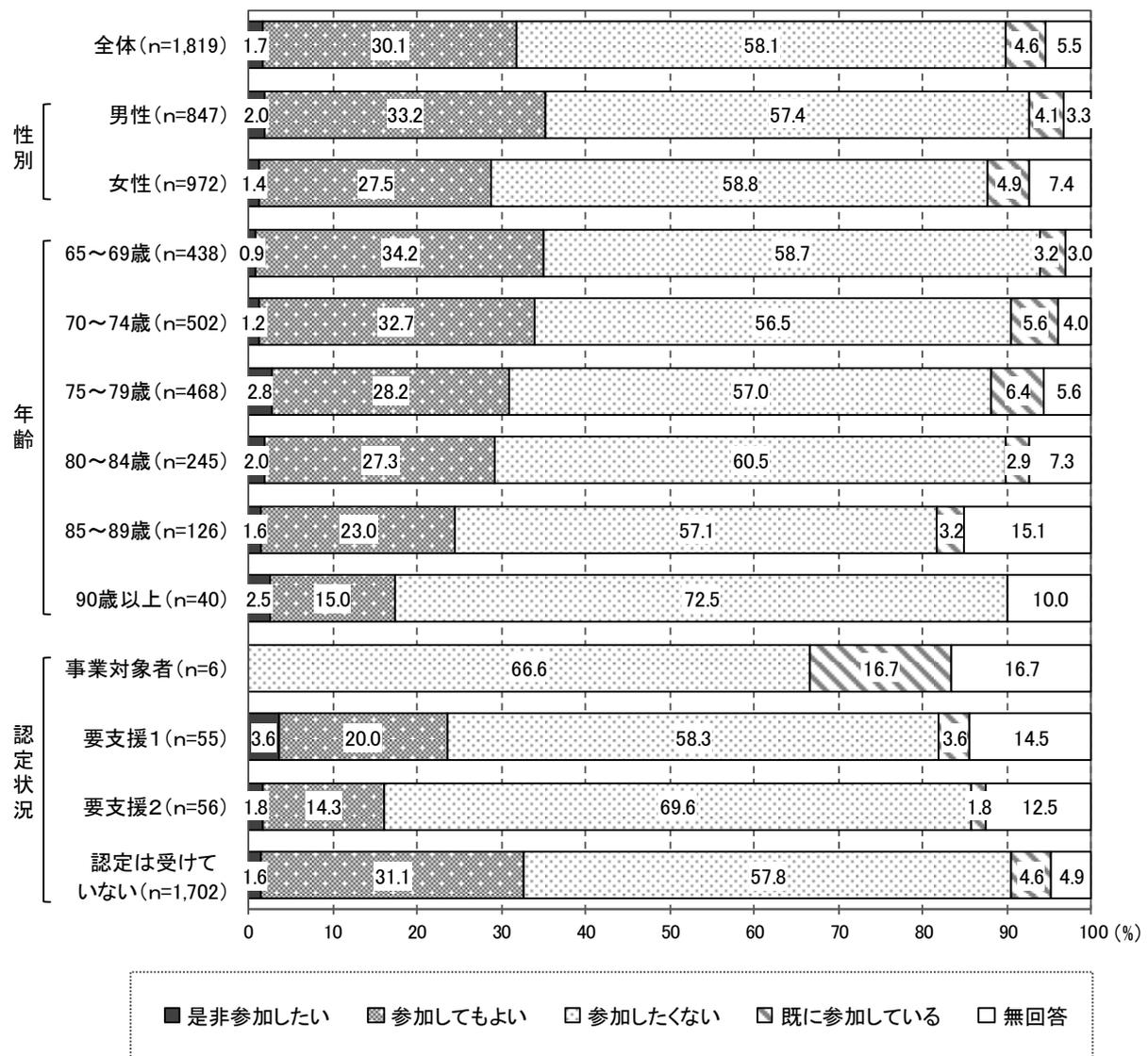
年齢層でみると、加齢につれて“参加したい”の割合が低くなっています。



(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。

全体では、「是非参加したい」(1.7%)と「参加してもよい」(30.1%)を合わせた“参加したい”が31.8%、「参加したくない」が58.1%、「既に参加している」が4.6%となっています。また、“参加したい”を、問5(2)の“参加したい”(54.7%)と比較すると、2割ほど低くなっています。

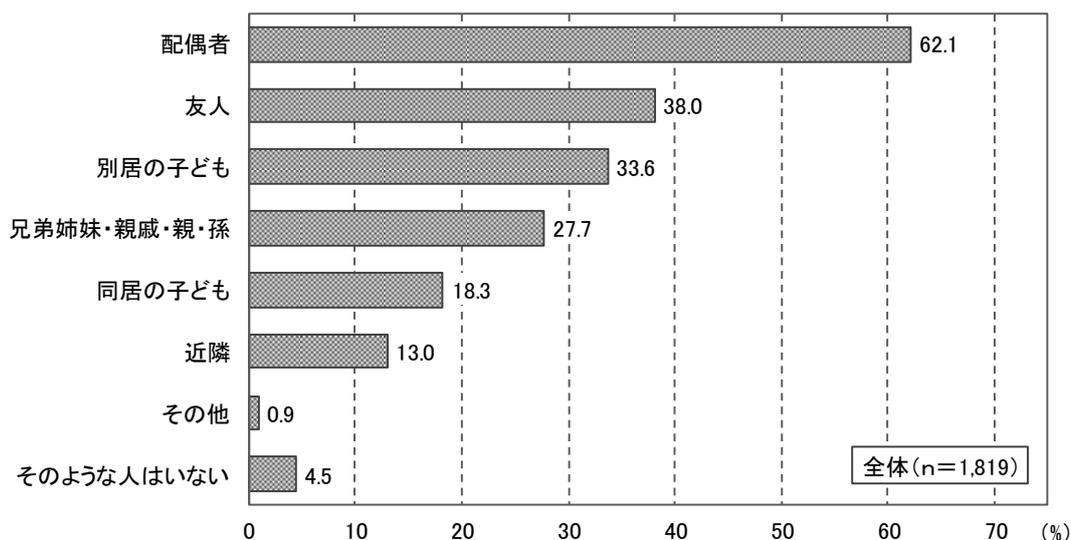
年齢層で見ると、加齢につれて“参加したい”の割合が低くなっています。



問6 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人。【複数回答】

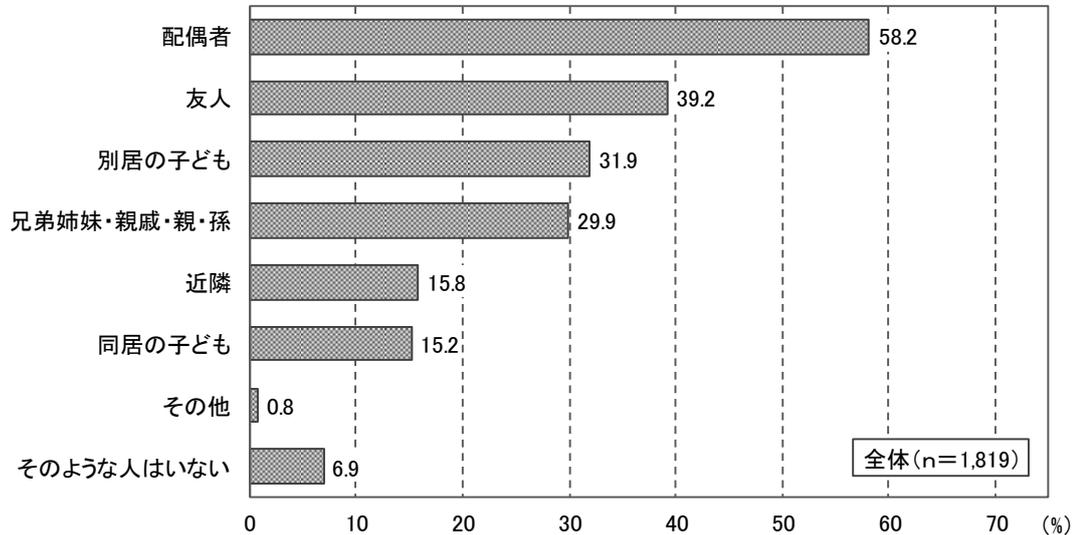
全体では、「配偶者」が 62.1%と最も高く、次いで、「友人」(38.0%)、「別居の子ども」(33.6%) の順となっています。



		(n=)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
全体		1,819	1,129 62.1%	332 18.3%	612 33.6%	504 27.7%	236 13.0%	692 38.0%	17 0.9%	81 4.5%
性別	男性	847	631 74.5%	110 13.0%	215 25.4%	173 20.4%	52 6.1%	227 26.8%	7 0.8%	60 7.1%
	女性	972	498 51.2%	222 22.8%	397 40.8%	331 34.1%	184 18.9%	465 47.8%	10 1.0%	21 2.2%
年齢	65～69歳	438	313 71.5%	68 15.5%	143 32.6%	118 26.9%	62 14.2%	204 46.6%	5 1.1%	14 3.2%
	70～74歳	502	345 68.7%	90 17.9%	170 33.9%	154 30.7%	65 12.9%	221 44.0%	2 0.4%	20 4.0%
	75～79歳	468	303 64.7%	75 16.0%	163 34.8%	125 26.7%	68 14.5%	157 33.5%	3 0.6%	26 5.6%
	80～84歳	245	116 47.3%	39 15.9%	75 30.6%	67 27.3%	26 10.6%	65 26.5%	3 1.2%	18 7.3%
	85～89歳	126	42 33.3%	46 36.5%	42 33.3%	33 26.2%	14 11.1%	40 31.7%	4 3.2%	2 1.6%
	90歳以上	40	10 25.0%	14 35.0%	19 47.5%	7 17.5%	1 2.5%	5 12.5%	0 0.0%	1 2.5%
認定状況	事業対象者	6	3 50.0%	2 33.3%	2 33.3%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%
	要支援1	55	17 30.9%	15 27.3%	28 50.9%	16 29.1%	6 10.9%	18 32.7%	1 1.8%	1 1.8%
	要支援2	56	15 26.8%	11 19.6%	24 42.9%	10 17.9%	6 10.7%	16 28.6%	1 1.8%	6 10.7%
	認定は受けていない	1,702	1,094 64.3%	304 17.9%	558 32.8%	476 28.0%	223 13.1%	657 38.6%	15 0.9%	73 4.3%

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人。【複数回答】

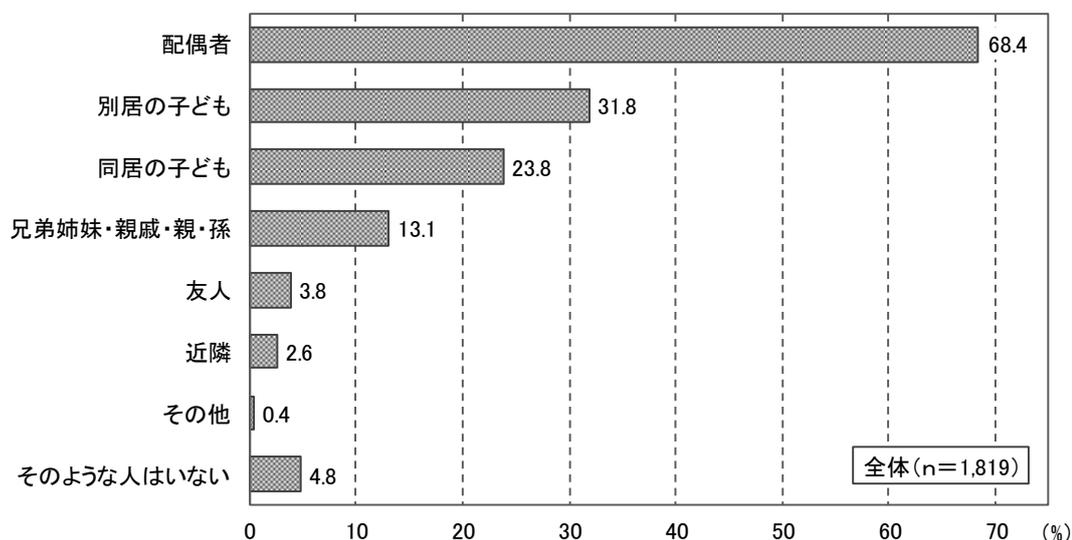
全体では、「配偶者」が 58.2%と最も高く、次いで、「友人」(39.2%)、「別居の子ども」(31.9%) の順となっています。



		(n=)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
全体		1,819	1,058 58.2%	276 15.2%	581 31.9%	544 29.9%	288 15.8%	713 39.2%	15 0.8%	126 6.9%
性別	男性	847	618 73.0%	101 11.9%	241 28.5%	188 22.2%	79 9.3%	234 27.6%	5 0.6%	81 9.6%
	女性	972	440 45.3%	175 18.0%	340 35.0%	356 36.6%	209 21.5%	479 49.3%	10 1.0%	45 4.6%
年齢	65～69歳	438	278 63.5%	63 14.4%	147 33.6%	143 32.6%	65 14.8%	214 48.9%	5 1.1%	18 4.1%
	70～74歳	502	325 64.7%	85 16.9%	179 35.7%	163 32.5%	87 17.3%	221 44.0%	4 0.8%	29 5.8%
	75～79歳	468	286 61.1%	67 14.3%	155 33.1%	143 30.6%	83 17.7%	165 35.3%	2 0.4%	27 5.8%
	80～84歳	245	114 46.5%	34 13.9%	63 25.7%	55 22.4%	32 13.1%	69 28.2%	2 0.8%	33 13.5%
	85～89歳	126	45 35.7%	20 15.9%	28 22.2%	32 25.4%	18 14.3%	38 30.2%	2 1.6%	13 10.3%
	90歳以上	40	10 25.0%	7 17.5%	9 22.5%	8 20.0%	3 7.5%	6 15.0%	0 0.0%	6 15.0%
認定状況	事業対象者	6	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	3 50.0%
	要支援1	55	19 34.5%	9 16.4%	17 30.9%	16 29.1%	9 16.4%	17 30.9%	0 0.0%	5 9.1%
	要支援2	56	14 25.0%	5 8.9%	15 26.8%	10 17.9%	5 8.9%	14 25.0%	1 1.8%	12 21.4%
	認定は受けていない	1,702	1,023 60.1%	262 15.4%	549 32.3%	517 30.4%	273 16.0%	681 40.0%	14 0.8%	106 6.2%

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。
【複数回答】

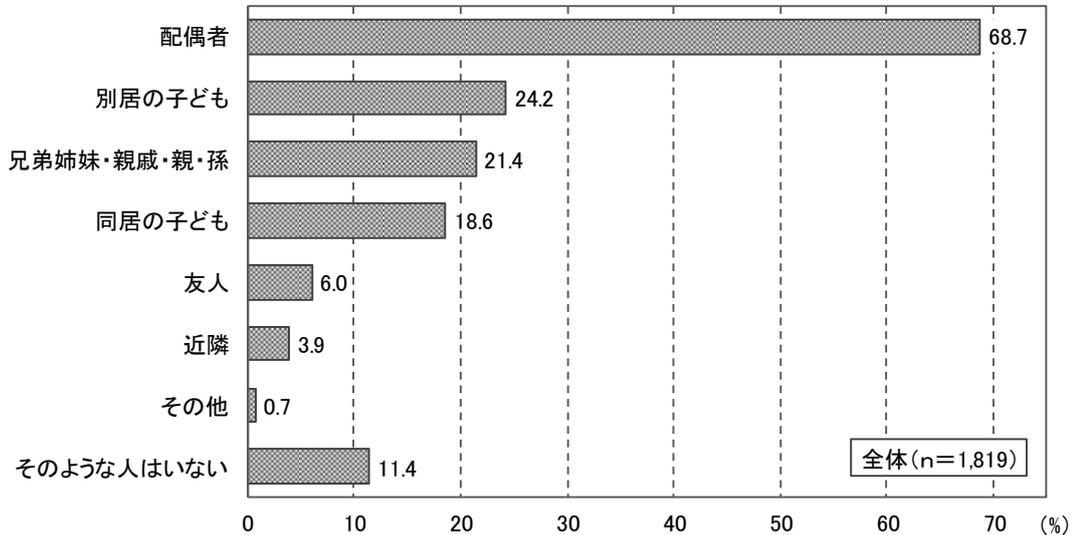
全体では、「配偶者」が68.4%と最も高く、次いで、「別居の子ども」(31.8%)、「同居の子ども」(23.8%)の順となっています。一方、「そのような人はいない」は4.8%となっています。



		(n=)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
全体		1,819	1,245 68.4%	433 23.8%	579 31.8%	238 13.1%	47 2.6%	70 3.8%	8 0.4%	87 4.8%
性別	男性	847	696 82.2%	155 18.3%	213 25.1%	73 8.6%	10 1.2%	16 1.9%	2 0.2%	44 5.2%
	女性	972	549 56.5%	278 28.6%	366 37.7%	165 17.0%	37 3.8%	54 5.6%	6 0.6%	43 4.4%
年齢	65～69歳	438	344 78.5%	91 20.8%	123 28.1%	54 12.3%	6 1.4%	15 3.4%	2 0.5%	26 5.9%
	70～74歳	502	375 74.7%	119 23.7%	155 30.9%	65 12.9%	12 2.4%	21 4.2%	0 0.0%	20 4.0%
	75～79歳	468	333 71.2%	95 20.3%	154 32.9%	66 14.1%	16 3.4%	19 4.1%	4 0.9%	21 4.5%
	80～84歳	245	135 55.1%	58 23.7%	86 35.1%	36 14.7%	6 2.4%	9 3.7%	2 0.8%	12 4.9%
	85～89歳	126	48 38.1%	51 40.5%	44 34.9%	15 11.9%	7 5.6%	6 4.8%	0 0.0%	8 6.3%
	90歳以上	40	10 25.0%	19 47.5%	17 42.5%	2 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
認定状況	事業対象者	6	3 50.0%	2 33.3%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%
	要支援1	55	21 38.2%	16 29.1%	24 43.6%	5 9.1%	1 1.8%	1 1.8%	0 0.0%	6 10.9%
	要支援2	56	15 26.8%	20 35.7%	28 50.0%	7 12.5%	2 3.6%	1 1.8%	1 1.8%	4 7.1%
	認定は受けていない	1,702	1,206 70.9%	395 23.2%	525 30.8%	225 13.2%	43 2.5%	68 4.0%	7 0.4%	76 4.5%

(4) 反対に、看病や世話をしてくれる人。【複数回答】

全体では、「配偶者」が68.7%と最も高く、次いで、「別居の子ども」(24.2%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(21.4%)の順となっています。

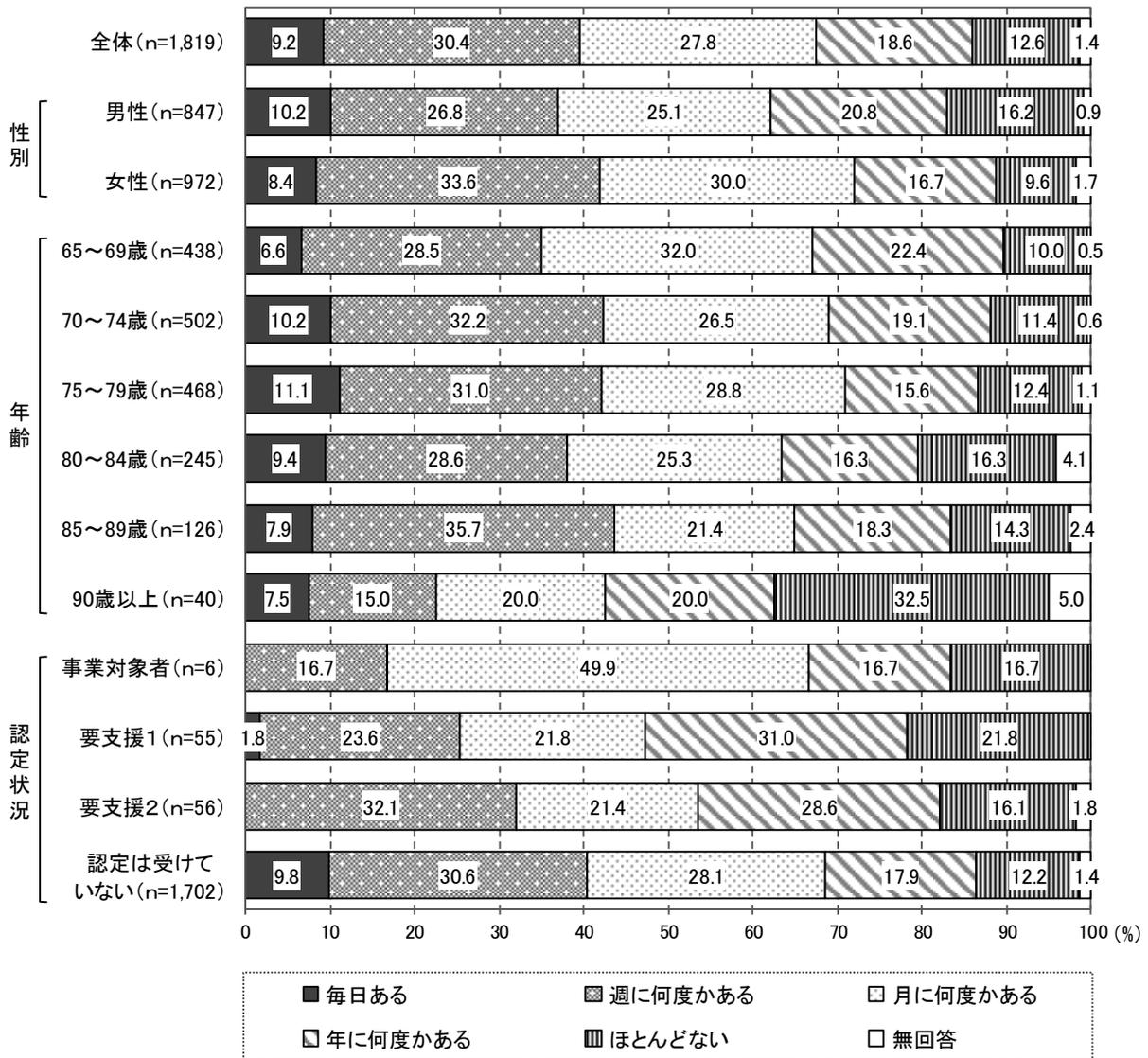


		(n=)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
全体		1,819	1,249 68.7%	338 18.6%	441 24.2%	389 21.4%	71 3.9%	109 6.0%	13 0.7%	207 11.4%
性別	男性	847	675 79.7%	123 14.5%	162 19.1%	126 14.9%	21 2.5%	26 3.1%	3 0.4%	90 10.6%
	女性	972	574 59.1%	215 22.1%	279 28.7%	263 27.1%	50 5.1%	83 8.5%	10 1.0%	117 12.0%
年齢	65～69歳	438	337 76.9%	87 19.9%	132 30.1%	123 28.1%	15 3.4%	20 4.6%	0 0.0%	36 8.2%
	70～74歳	502	378 75.3%	109 21.7%	137 27.3%	120 23.9%	26 5.2%	31 6.2%	2 0.4%	33 6.6%
	75～79歳	468	333 71.2%	77 16.5%	113 24.1%	96 20.5%	17 3.6%	35 7.5%	2 0.4%	49 10.5%
	80～84歳	245	138 56.3%	36 14.7%	42 17.1%	36 14.7%	6 2.4%	12 4.9%	4 1.6%	44 18.0%
	85～89歳	126	54 42.9%	22 17.5%	13 10.3%	11 8.7%	6 4.8%	9 7.1%	3 2.4%	33 26.2%
	90歳以上	40	9 22.5%	7 17.5%	4 10.0%	3 7.5%	1 2.5%	2 5.0%	2 5.0%	12 30.0%
認定状況	事業対象者	6	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%
	要支援1	55	23 41.8%	9 16.4%	6 10.9%	3 5.5%	2 3.6%	2 3.6%	1 1.8%	18 32.7%
	要支援2	56	15 26.8%	5 8.9%	4 7.1%	5 8.9%	0 0.0%	3 5.4%	3 5.4%	25 44.6%
	認定は受けていない	1,702	1,208 71.0%	324 19.0%	431 25.3%	380 22.3%	69 4.1%	104 6.1%	9 0.5%	161 9.5%

(5) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

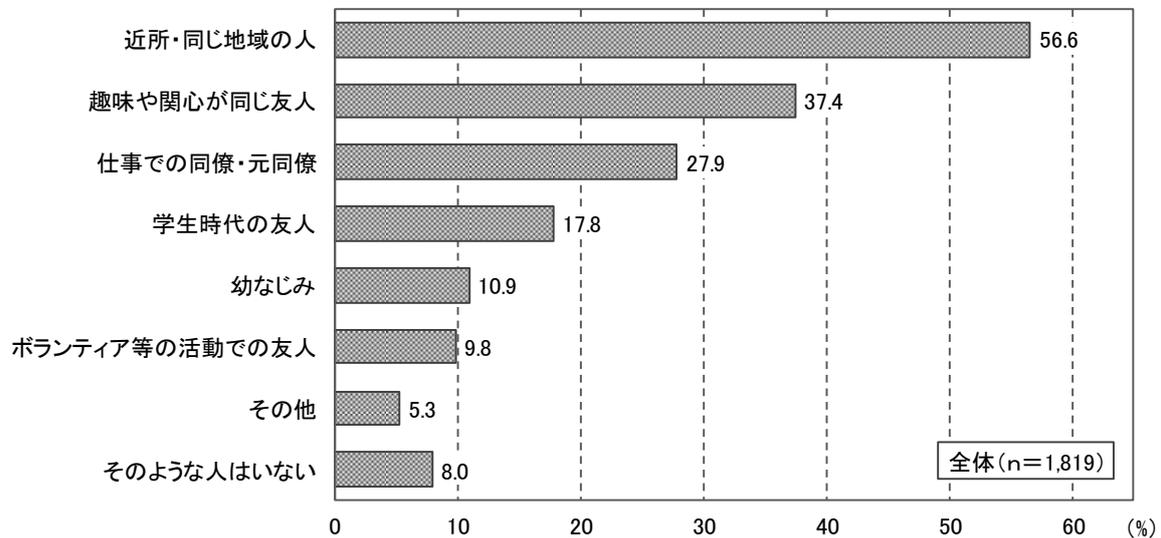
全体では、「週に何度かある」が30.4%と最も高く、次いで、「月に何度かある」(27.8%)、「年に何度かある」(18.6%)の順となっています。また、「年に何度かある」以上を合わせた“ある”は86.0%となっています。

年齢層でみると、加齢につれて「ほとんどない」の割合が高くなる傾向にあります。



(6) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。【複数回答】

全体では、「近所・同じ地域の人」が56.6%と最も高く、次いで、「趣味や関心が同じ友人」(37.4%)、「仕事での同僚・元同僚」(27.9%)の順となっています。



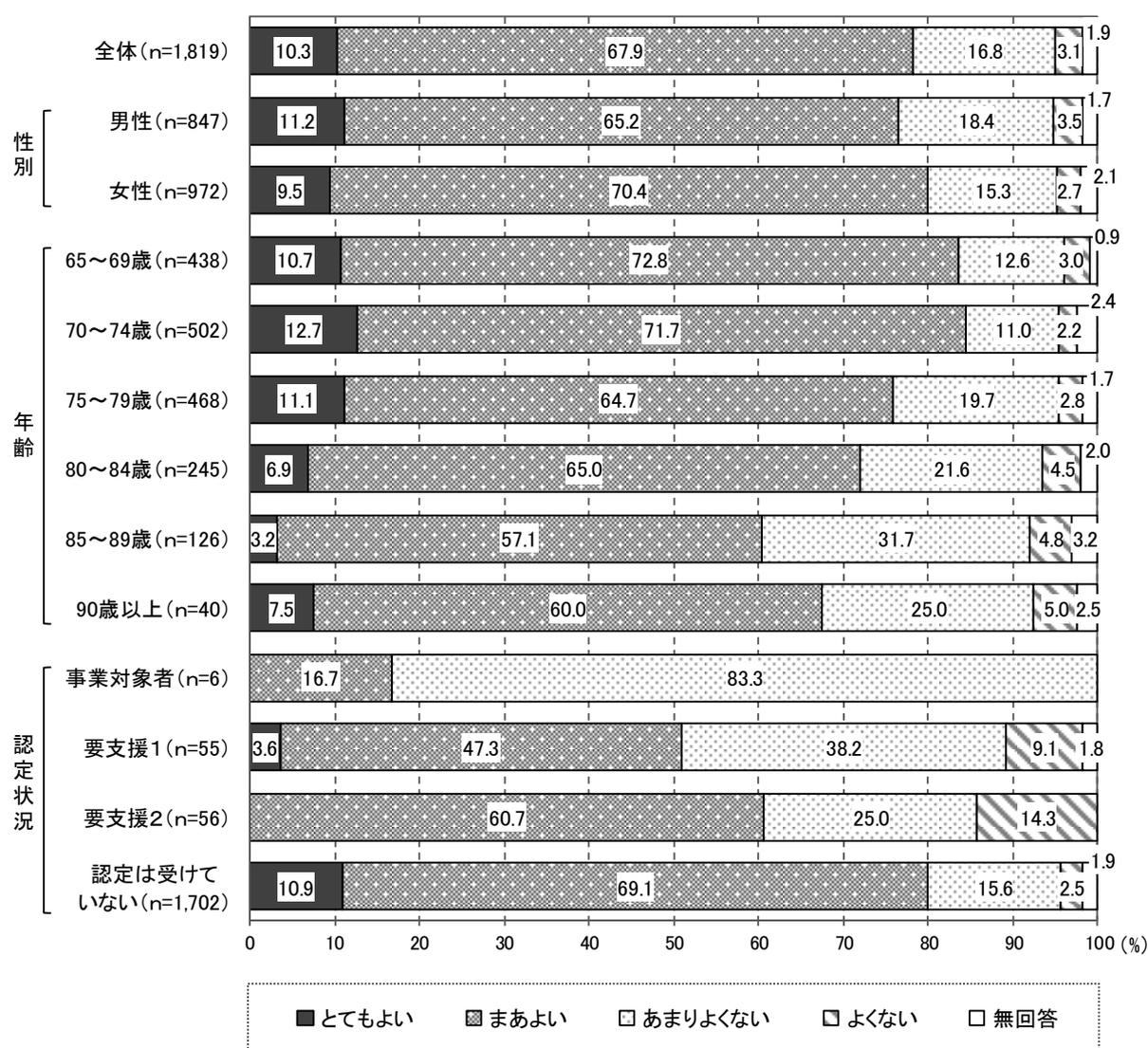
		(n=)	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない
全体		1,819	1,029 56.6%	199 10.9%	324 17.8%	507 27.9%	681 37.4%	179 9.8%	97 5.3%	145 8.0%
性別	男性	847	397 46.9%	108 12.8%	142 16.8%	305 36.0%	294 34.7%	79 9.3%	35 4.1%	93 11.0%
	女性	972	632 65.0%	91 9.4%	182 18.7%	202 20.8%	387 39.8%	100 10.3%	62 6.4%	52 5.3%
年齢	65～69歳	438	221 50.5%	50 11.4%	92 21.0%	181 41.3%	152 34.7%	48 11.0%	29 6.6%	17 3.9%
	70～74歳	502	274 54.6%	67 13.3%	104 20.7%	151 30.1%	211 42.0%	56 11.2%	29 5.8%	37 7.4%
	75～79歳	468	278 59.4%	41 8.8%	91 19.4%	117 25.0%	188 40.2%	50 10.7%	24 5.1%	38 8.1%
	80～84歳	245	150 61.2%	29 11.8%	27 11.0%	39 15.9%	84 34.3%	20 8.2%	3 1.2%	31 12.7%
	85～89歳	126	89 70.6%	10 7.9%	7 5.6%	12 9.5%	42 33.3%	5 4.0%	7 5.6%	14 11.1%
	90歳以上	40	17 42.5%	2 5.0%	3 7.5%	7 17.5%	4 10.0%	0 0.0%	5 12.5%	8 20.0%
認定状況	事業対象者	6	3 50.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%
	要支援1	55	35 63.6%	5 9.1%	5 9.1%	10 18.2%	11 20.0%	3 5.5%	2 3.6%	6 10.9%
	要支援2	56	26 46.4%	5 8.9%	5 8.9%	6 10.7%	14 25.0%	2 3.6%	10 17.9%	11 19.6%
	認定は受けていない	1,702	965 56.7%	189 11.1%	313 18.4%	490 28.8%	655 38.5%	174 10.2%	84 4.9%	127 7.5%

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

全体では、「まあよい」が67.9%で最も高く、次いで、「あまりよくない」(16.8%)、「とてもよい」(10.3%)の順となっています。「とてもよい」と「まあよい」を合わせた“よい”が78.2%、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた“よくない”が19.9%となっています。

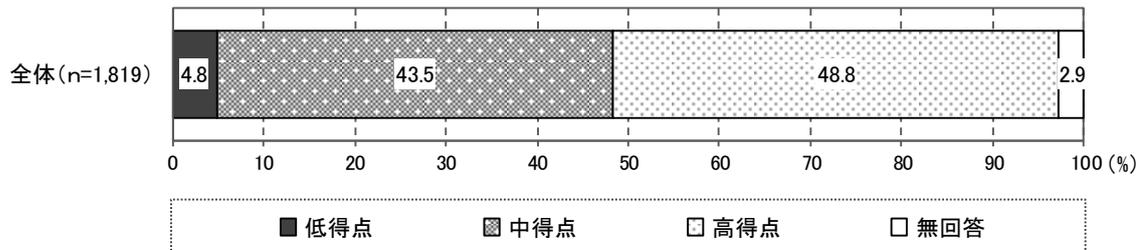
年齢層で見ると、加齢につれて“よい”の割合が低くなり、“よくない”の割合が高くなる傾向にあります。



(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

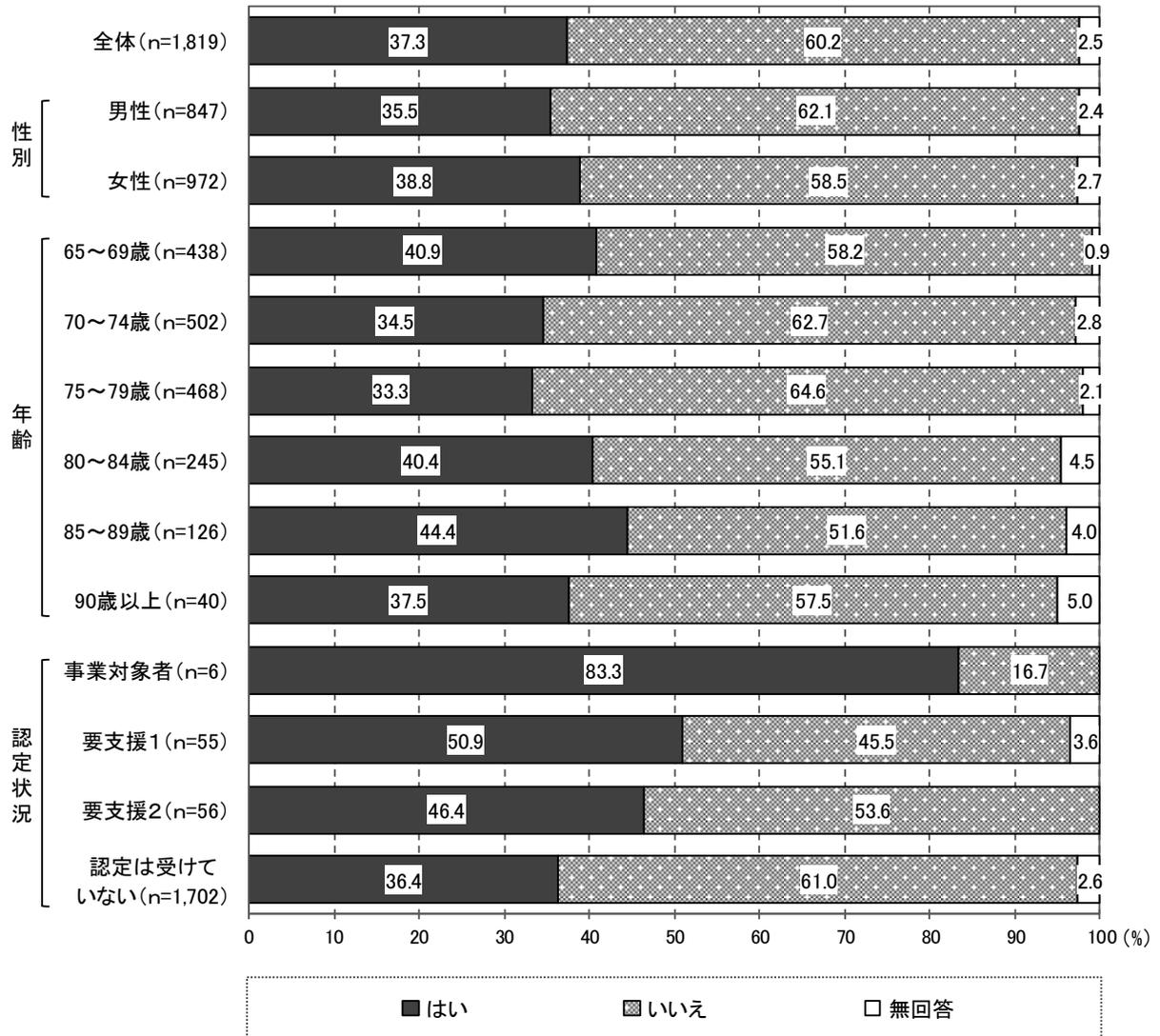
全体では、「8点」が23.2%と最も高く、次いで、「5点」(17.0%)、「10点」(15.4%)の順となっています。「0点」から「3点」を“低得点”(4.8%)、「4点」から「7点」を“中得点”(43.5%)、「8点」から「10点」を“高得点”(48.8%)とすると、“高得点”が最も高く、“中得点”が“高得点”をやや下回り、“低得点”はわずかとなっています。



		(n=)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体		1,819	18 1.0%	8 0.4%	20 1.1%	42 2.3%	50 2.7%	310 17.0%	149 8.2%	283 15.6%	422 23.2%	185 10.2%	280 15.4%	52 2.9%
性別	男性	847	11 1.3%	3 0.4%	13 1.5%	23 2.7%	28 3.3%	151 17.8%	81 9.6%	135 15.9%	201 23.7%	70 8.3%	110 13.0%	21 2.5%
	女性	972	7 0.7%	5 0.5%	7 0.7%	19 2.0%	22 2.3%	159 16.4%	68 7.0%	148 15.2%	221 22.7%	115 11.8%	170 17.5%	31 3.2%
年齢	65～69歳	438	3 0.7%	2 0.5%	9 2.1%	9 2.1%	13 3.0%	80 18.3%	39 8.9%	73 16.7%	114 26.0%	41 9.4%	48 11.0%	7 1.6%
	70～74歳	502	5 1.0%	2 0.4%	4 0.8%	11 2.2%	16 3.2%	75 14.9%	36 7.2%	89 17.7%	112 22.3%	55 11.0%	82 16.3%	15 3.0%
	75～79歳	468	7 1.5%	0 0.0%	4 0.9%	7 1.5%	17 3.6%	72 15.4%	42 9.0%	80 17.1%	100 21.4%	46 9.8%	83 17.7%	10 2.1%
	80～84歳	245	1 0.4%	2 0.8%	2 0.8%	13 5.3%	3 1.2%	53 21.6%	19 7.8%	26 10.6%	56 22.9%	26 10.6%	34 13.9%	10 4.1%
	85～89歳	126	2 1.6%	1 0.8%	1 0.8%	2 1.6%	1 0.8%	25 19.8%	10 7.9%	12 9.5%	29 23.0%	13 10.3%	22 17.5%	8 6.3%
	90歳以上	40	0 0.0%	1 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 12.5%	3 7.5%	3 7.5%	11 27.5%	4 10.0%	11 27.5%	2 5.0%
認定状況	事業対象者	6	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
	要支援1	55	1 1.8%	0 0.0%	1 1.8%	2 3.6%	2 3.6%	13 23.6%	4 7.3%	4 7.3%	12 21.8%	3 5.5%	11 20.0%	2 3.6%
	要支援2	56	0 0.0%	2 3.6%	3 5.4%	3 5.4%	0 0.0%	7 12.5%	5 8.9%	5 8.9%	8 14.3%	4 7.1%	13 23.2%	6 10.7%
	認定は受けていない	1,702	17 1.0%	5 0.3%	15 0.9%	36 2.1%	47 2.8%	290 17.0%	140 8.2%	274 16.1%	401 23.6%	177 10.4%	256 15.0%	44 2.6%

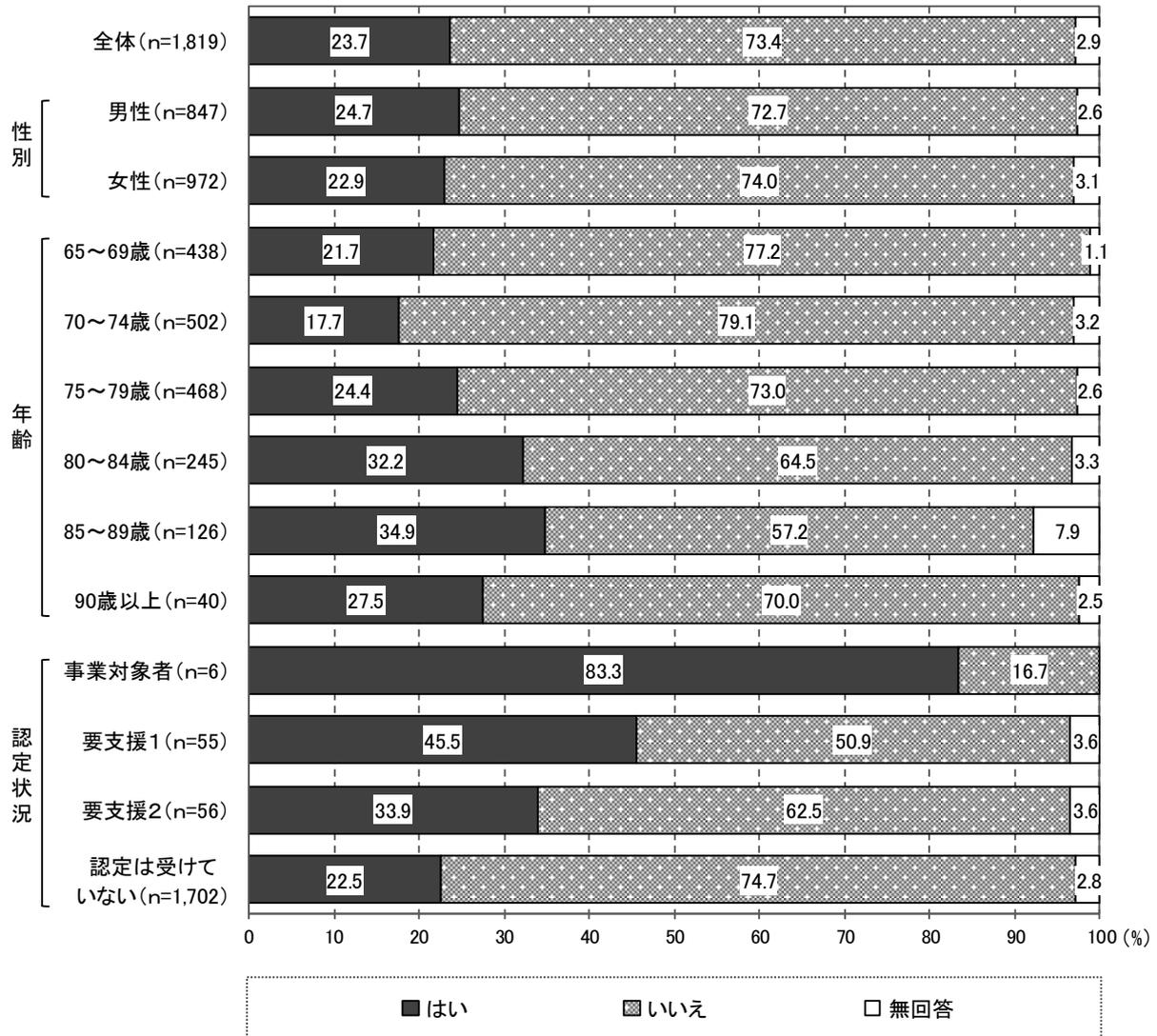
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

全体では、「いいえ」が60.2%、「はい」が37.3%となっています。



(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

全体では、「いいえ」が73.4%、「はい」が23.7%となっています。
年齢層別で見ると、加齢につれて「はい」の割合が高くなる傾向にあります。

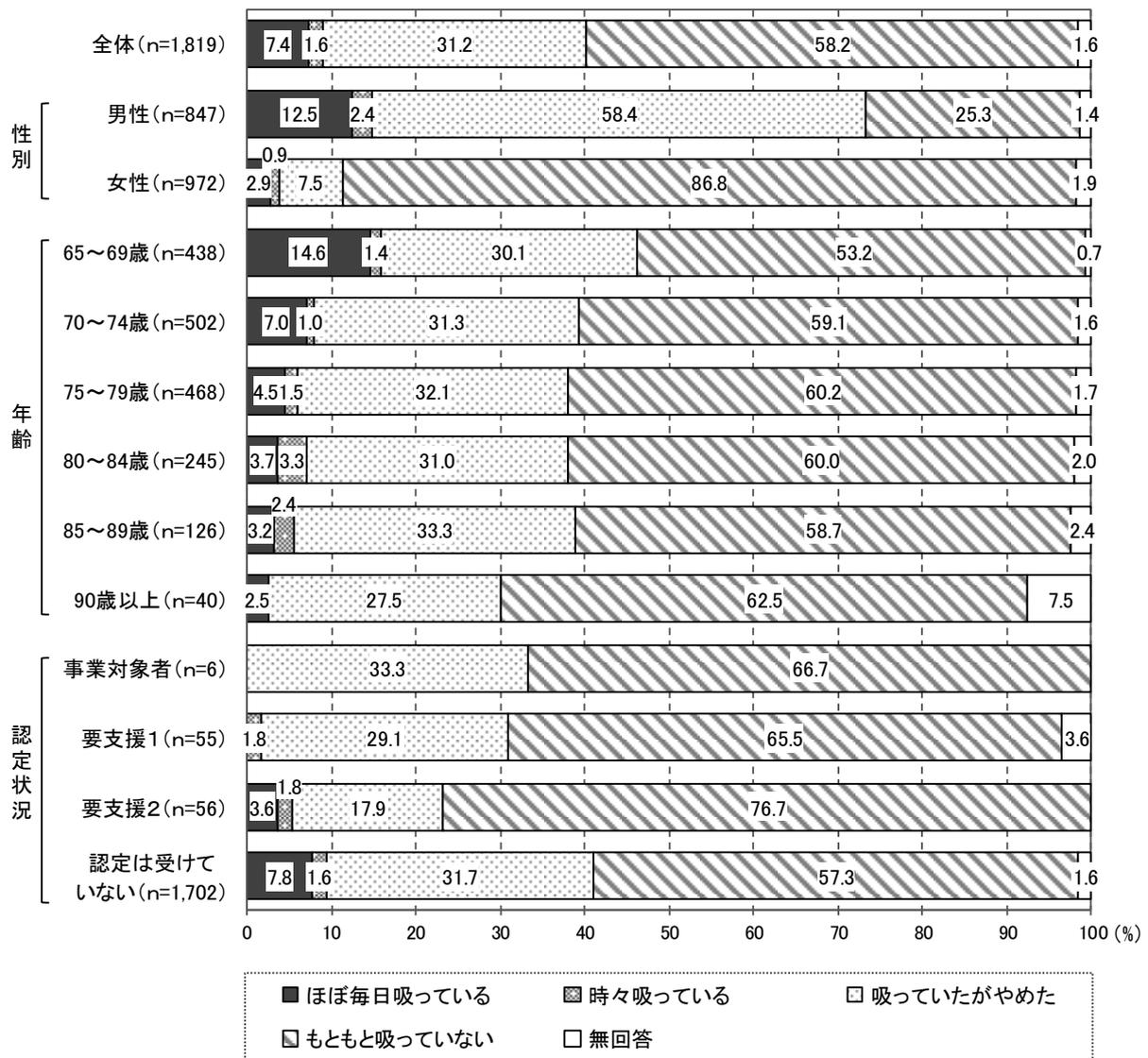


(5) タバコは吸っていますか。

全体では、「もともと吸っていない」が58.2%と最も高く、次いで、「吸っていたがやめた」(31.2%)、「ほぼ毎日吸っている」(7.4%)の順となっています。「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた“吸っている”が9.0%、「吸っていたがやめた」と「もともと吸っていない」を合わせた“吸っていない”が89.4%となっています。

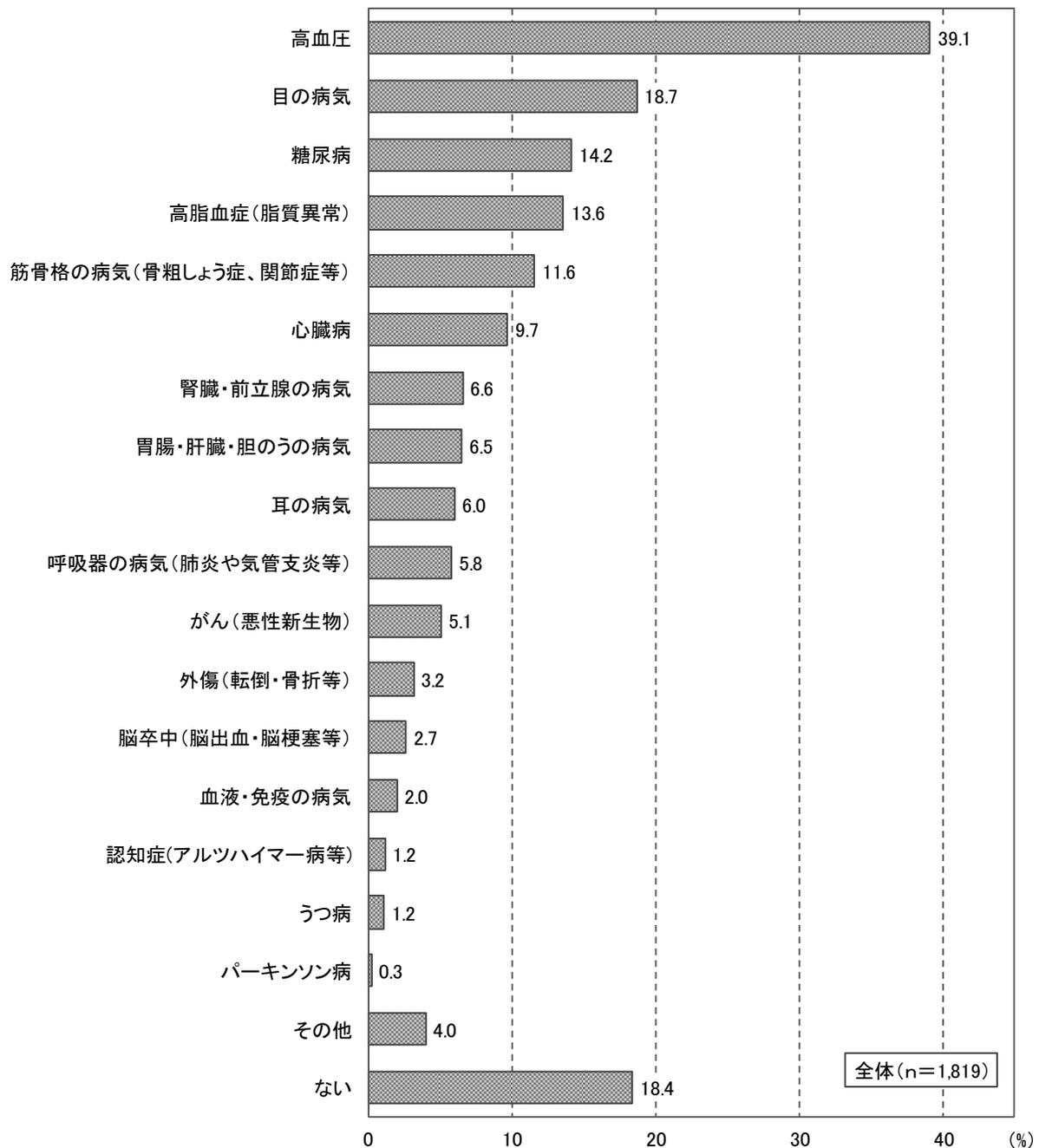
性別でみると、“吸っている”では、男性が14.9%と女性の3.8%よりかなり高くなっています。

年齢層別でみると、加齢につれて“吸っている”の割合が低くなっています。



(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。【複数回答】

全体では、「高血圧」が39.1%と最も高く、次いで、「目の病気」(18.7%)、「糖尿病」(14.2%)の順となっています。一方、「ない」と回答した人は、18.4%となっています。

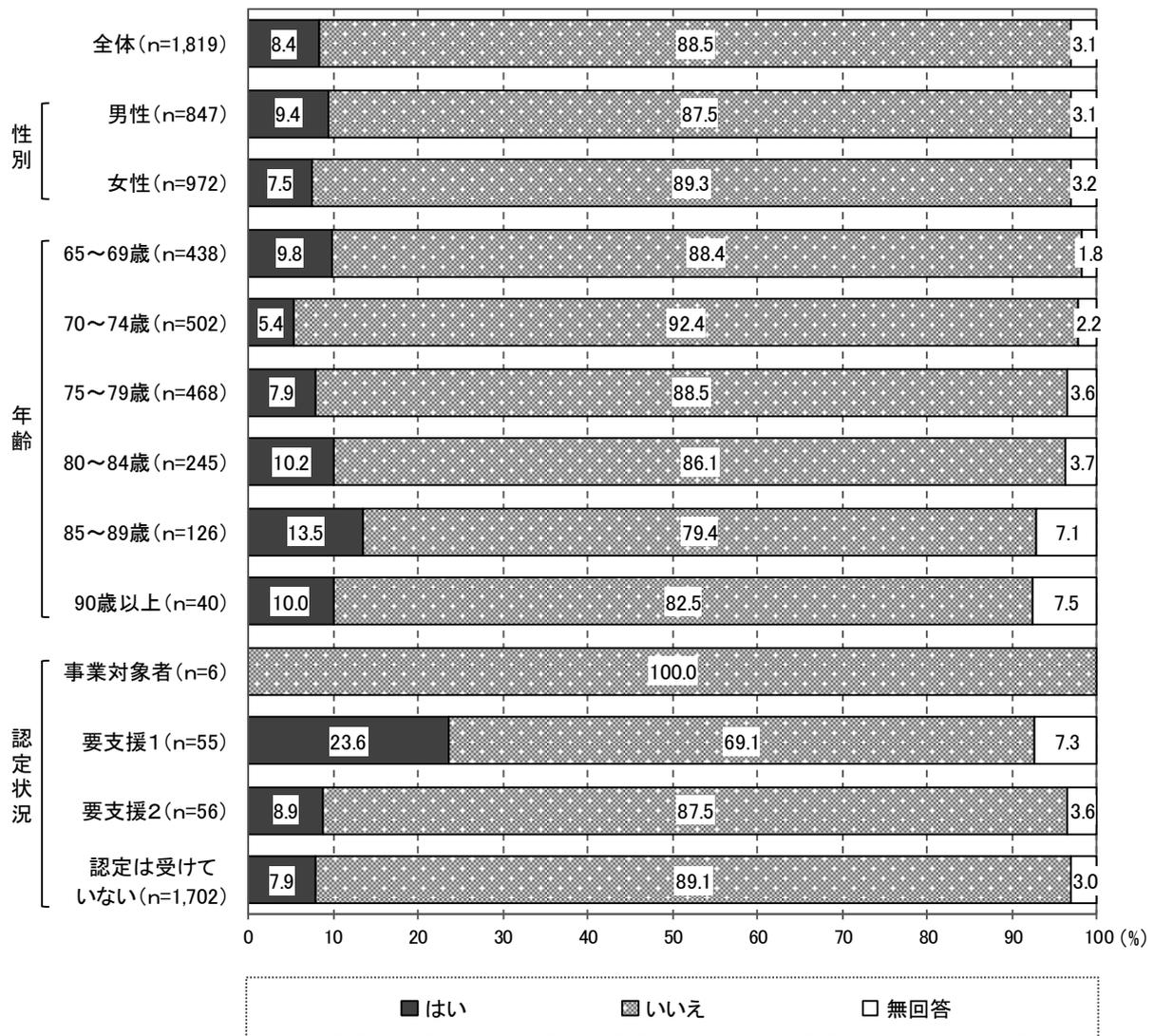


	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器 の病 (肺炎や 気管支 炎等)	胃腸・肝 臓・胆の うの病 気	腎臓・前 立腺の 病 気	筋骨格 の病 (骨粗 しょう 症、関 節症等)	外傷(転 倒・骨折 等)	がん(悪 性新生 物)	血液・免 疫の病 気	うつ病	認知症 (アルツ ハイ マー病 等)	パーキ ンソン病	目の病 気	耳の病 気	その他
全体 (n=)	1,819	711	49	177	258	248	106	119	120	211	58	93	37	21	22	5	340	110	73
男性	847	331	34	98	153	92	63	69	99	62	18	58	16	6	11	3	164	51	28
女性	972	380	15	79	105	156	43	50	21	149	40	35	21	15	11	2	176	59	45
65～69歳	438	148	8	27	52	73	12	34	22	37	9	17	9	4	2	0	65	11	23
70～74歳	502	208	12	38	62	81	24	26	24	48	9	22	11	5	1	1	71	24	25
75～79歳	468	178	14	52	76	62	39	29	28	65	16	25	9	9	7	2	95	27	16
80～84歳	245	102	6	30	38	20	20	20	26	38	11	17	5	1	8	1	73	27	6
85～89歳	126	58	6	22	24	8	9	6	14	18	8	9	3	2	3	1	26	17	2
90歳以上	40	17	3	8	6	4	2	4	6	5	5	3	0	0	1	0	10	4	1
事業対象者	6	3	0	2	0	0	0	1	0	3	3	0	0	0	0	1	3	2	1
要支援1	55	18	2	16	14	2	10	4	7	13	6	3	1	0	4	0	10	6	2
要支援2	56	30	4	10	18	7	2	4	8	13	7	6	0	2	5	1	14	8	2
認定は受けて いない	1,702	660	43	149	226	239	94	110	105	182	42	84	36	19	13	3	313	94	68
	19.6%	38.8%	2.5%	8.8%	13.3%	14.0%	5.5%	6.5%	6.2%	10.7%	2.5%	4.9%	2.1%	1.1%	0.8%	0.2%	18.4%	5.5%	4.0%

問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

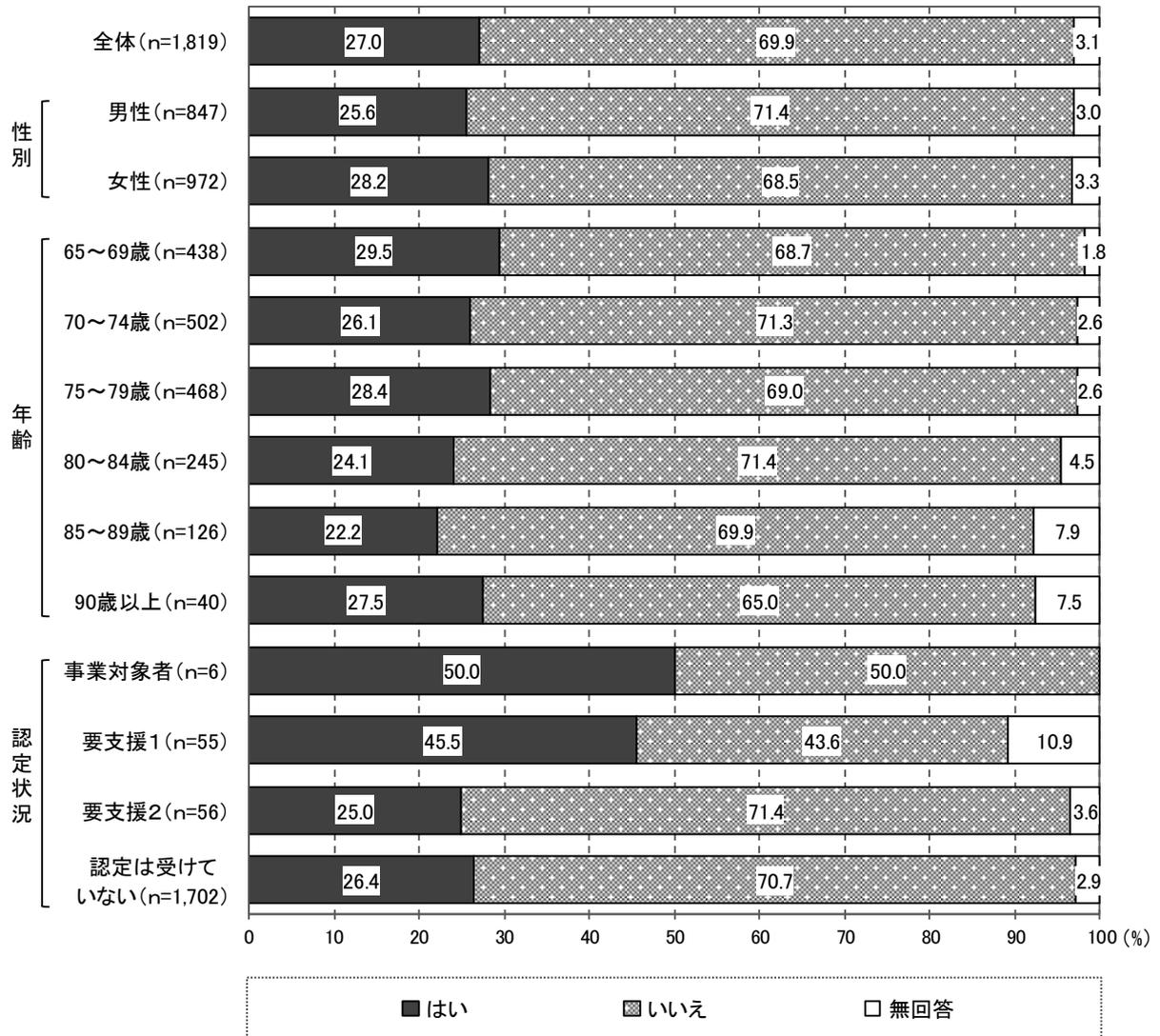
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

全体では、「いいえ」が88.5%、「はい」が8.4%となっています。



(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

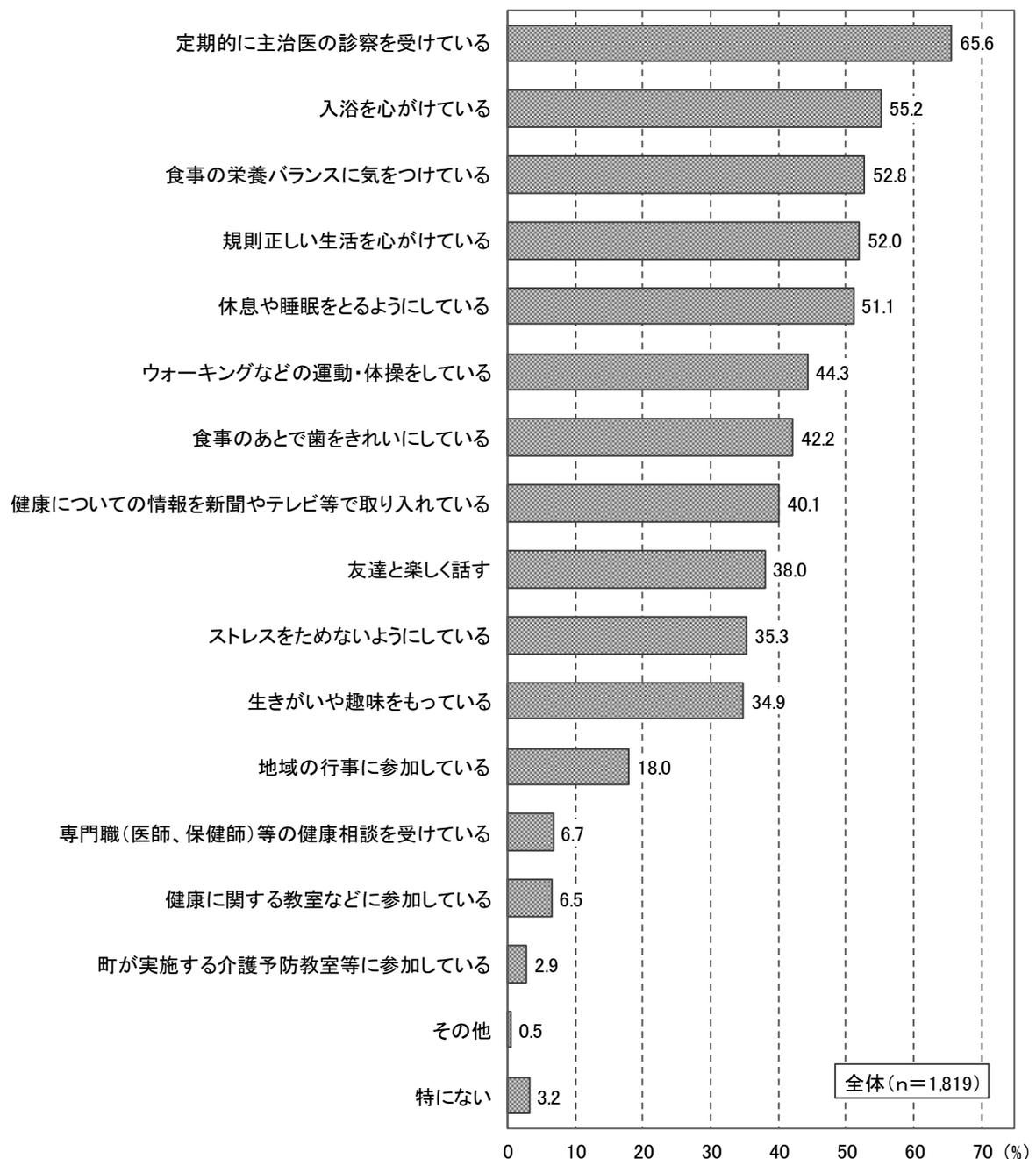
全体では、「いいえ」が69.9%、「はい」が27.0%となっています。



問9 健康づくり・介護予防について

(1) あなたは、健康を維持するためにしていることや、心がけていることがありますか。【複数回答】

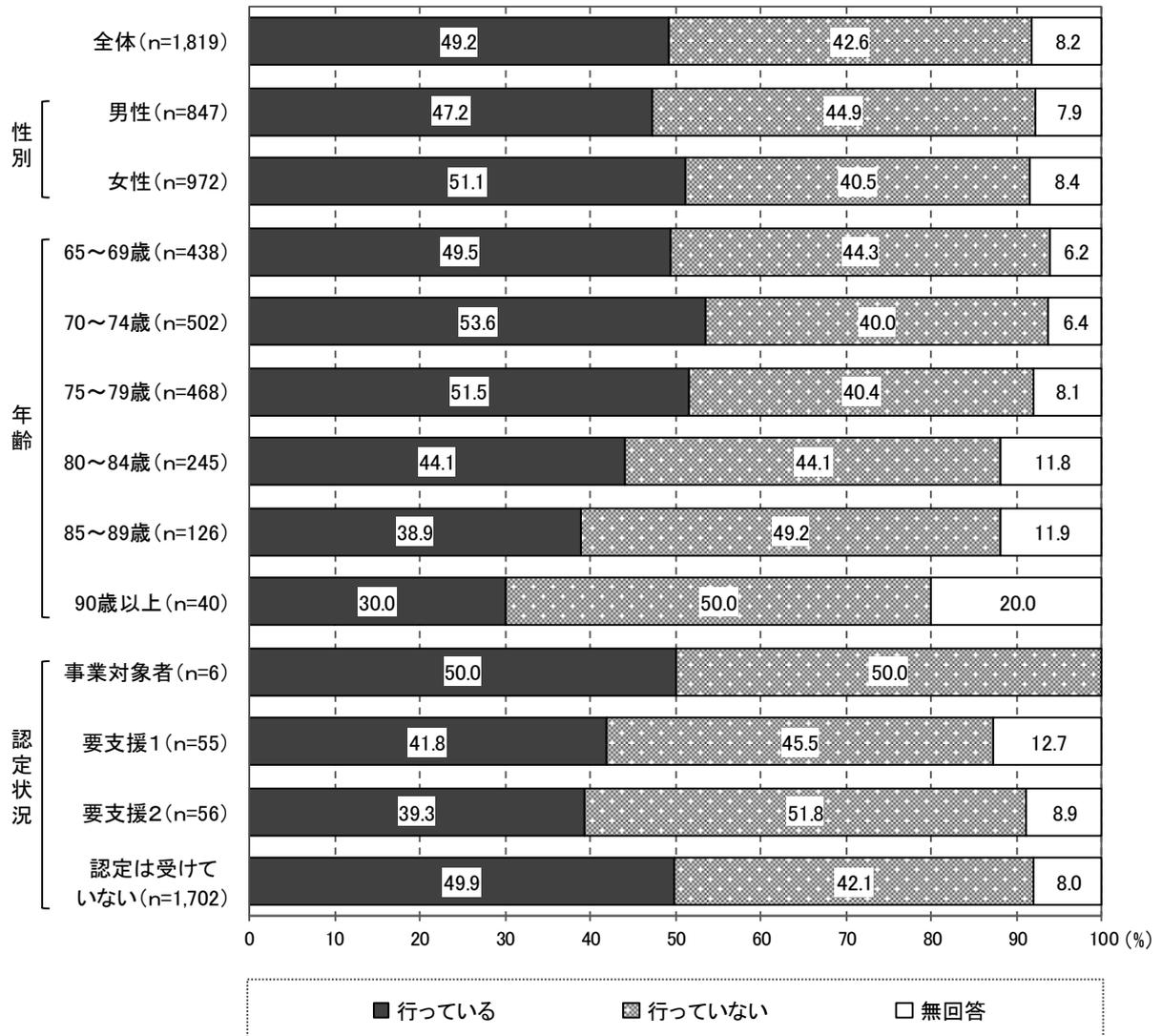
全体では、「定期的に主治医の診察を受けている」が65.6%と最も高く、次いで、「入浴を心がけている」(55.2%)、「食事の栄養バランスに気をつけている」(52.8%)の順となっています。



	定期的に主治医の診察を受けている	健康に関する教室に参加している	町が実施する介護予防教室等に参加している	専門職(医師、保健師)等の健康相談を受けている	ウォーキングなどの運動・体操をしている	生きがいや趣味をもっている	友達と楽しく話している	地域の行事に参加している	食事の栄養バランスを気にしている	休息や睡眠をとるようにしている	ストレスをためないようにしている	食事のあとで歯をきれいにして	入浴を心がけている	規則正しい生活がけている	健康について情報を新レディ等で取り入れている	その他	特にな
全体	1,819 65.6%	118 6.5%	52 2.9%	122 6.7%	806 44.3%	634 34.9%	691 38.0%	327 18.0%	960 52.8%	929 51.1%	643 35.3%	767 42.2%	1,004 55.2%	946 52.0%	730 40.1%	10 0.5%	58 3.2%
性別																	
男性	847 66.0%	21 2.5%	6 0.7%	64 7.6%	371 43.8%	311 36.7%	199 23.5%	127 15.0%	373 44.0%	396 46.8%	302 35.7%	285 33.6%	417 49.2%	413 48.8%	248 29.3%	4 0.5%	33 3.9%
女性	972 65.3%	97 10.0%	46 4.7%	58 6.0%	435 44.8%	323 33.2%	492 50.6%	200 20.6%	587 60.4%	533 54.8%	341 35.1%	482 49.6%	587 60.4%	533 54.8%	482 49.6%	6 0.6%	25 2.6%
年齢																	
65～69歳	438 57.5%	21 4.8%	9 2.1%	19 4.3%	195 44.5%	150 34.2%	162 37.0%	78 17.8%	215 49.1%	212 48.4%	163 37.2%	161 36.8%	215 49.1%	218 49.8%	160 36.5%	4 0.9%	13 3.0%
70～74歳	502 64.5%	38 7.6%	17 3.4%	30 6.0%	258 51.4%	193 38.4%	211 42.0%	101 20.1%	283 56.4%	262 52.2%	178 35.5%	236 47.0%	299 59.6%	279 55.6%	218 43.4%	3 0.6%	13 2.6%
75～79歳	468 68.2%	27 5.8%	10 2.1%	35 7.5%	218 46.6%	173 37.0%	179 38.2%	92 19.7%	264 56.4%	258 55.1%	181 38.7%	206 44.0%	270 57.7%	251 53.6%	192 41.0%	2 0.4%	13 2.8%
80～84歳	245 73.1%	24 9.8%	8 3.3%	21 8.6%	93 38.0%	70 28.6%	81 33.1%	36 14.7%	123 50.2%	122 49.8%	76 31.0%	102 41.6%	130 53.1%	115 46.9%	95 38.8%	1 0.4%	13 5.3%
85～89歳	126 73.8%	7 5.6%	5 4.0%	14 11.1%	35 27.8%	41 32.5%	49 38.9%	18 14.3%	55 43.7%	54 42.9%	33 26.2%	48 38.1%	69 54.8%	58 46.0%	53 42.1%	0 0.0%	6 4.8%
90歳以上	40 67.5%	1 2.5%	3 7.5%	3 7.5%	7 17.5%	7 17.5%	9 22.5%	2 5.0%	20 50.0%	21 52.5%	12 30.0%	14 35.0%	21 52.5%	25 62.5%	12 30.0%	0 0.0%	0 0.0%
事業対象者	6 66.7%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	2 33.3%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	3 50.0%	4 66.7%	2 33.3%	1 16.7%	4 66.7%	3 50.0%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
要支援1	55 87.3%	7 12.7%	5 9.1%	7 12.7%	17 30.9%	9 16.4%	17 30.9%	10 18.2%	32 58.2%	29 52.7%	17 30.9%	22 40.0%	34 61.8%	32 58.2%	29 52.7%	0 0.0%	0 0.0%
要支援2	56 78.6%	2 3.6%	4 7.1%	5 8.9%	9 16.1%	14 25.0%	20 35.7%	5 8.9%	27 48.2%	26 46.4%	15 26.8%	26 46.4%	26 46.4%	27 48.2%	21 37.5%	0 0.0%	3 5.4%
認定は受けていない	1,702 64.5%	108 6.3%	42 2.5%	109 6.4%	778 45.7%	609 35.8%	654 38.4%	311 18.3%	898 52.8%	870 51.1%	609 35.8%	718 42.2%	940 55.2%	884 51.9%	677 39.8%	10 0.6%	55 3.2%

(2) あなたは、運動を週1回以上習慣的に行っていますか。

全体では、「行っている」が49.2%、「行っていない」が42.6%となっています。

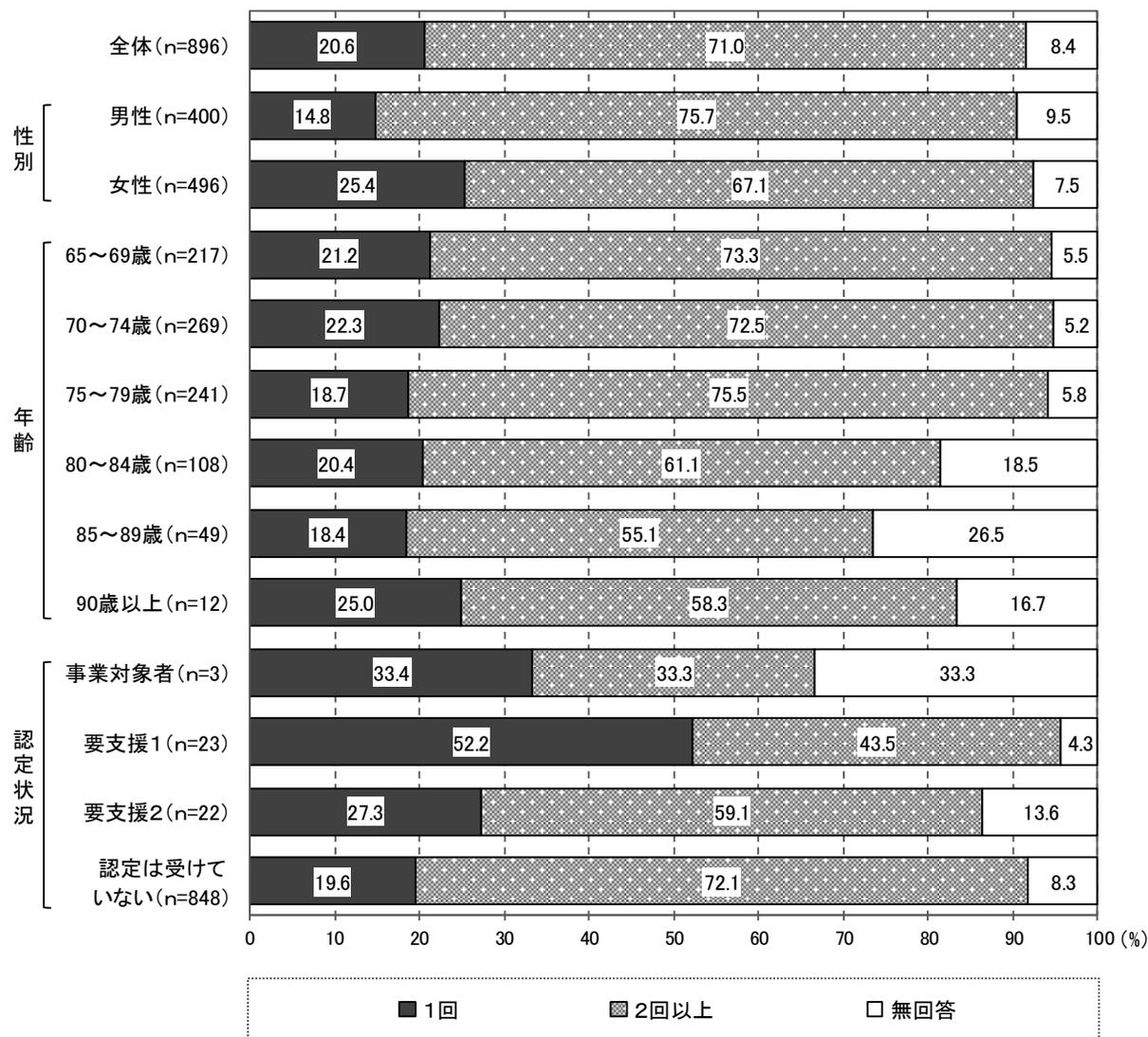


【(2)において「1. 行っている」に○をつけた方のみ】

(2) ① あなたの運動の実践状況についてお答えください。

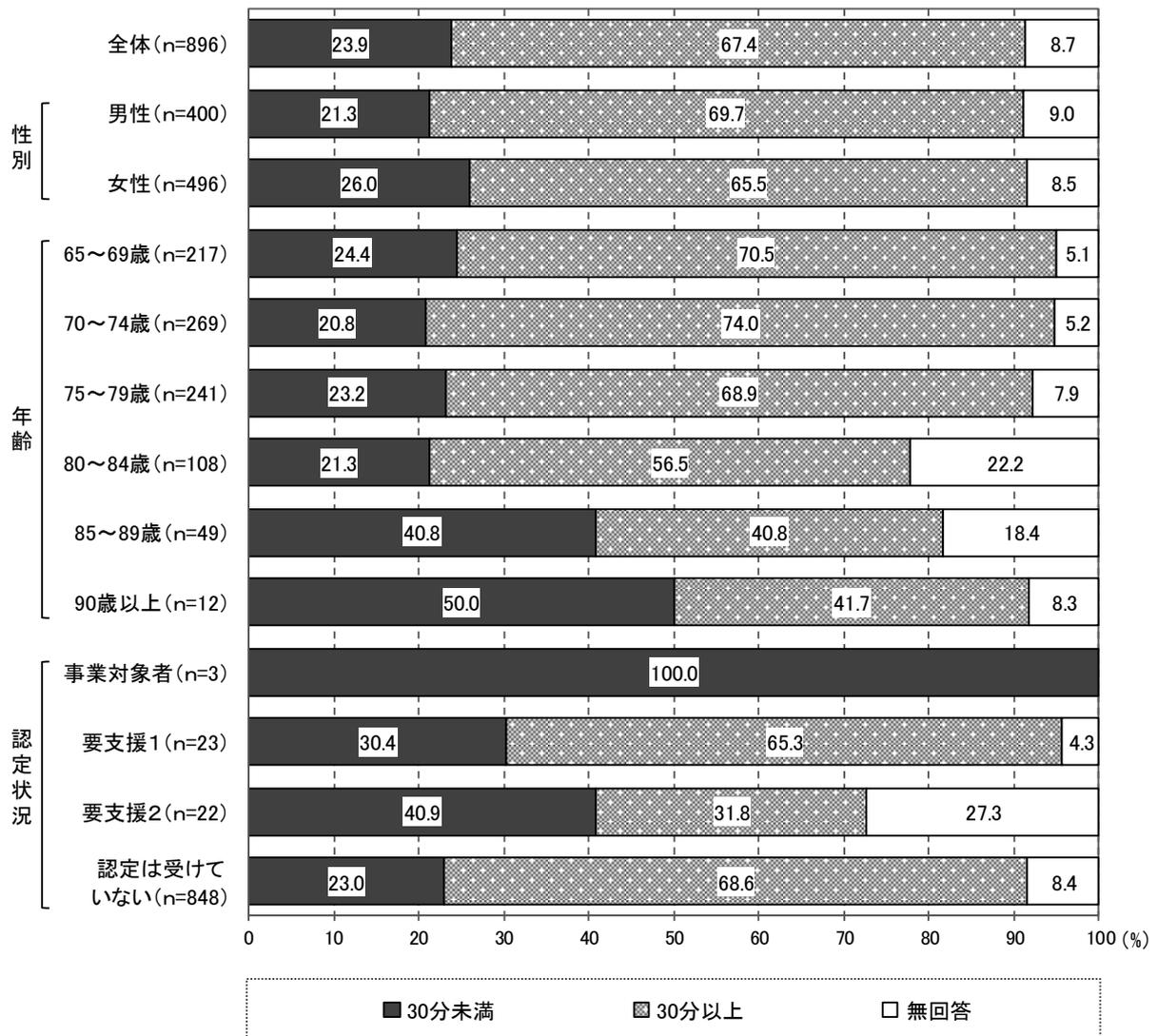
A 1週間の運動回数

全体では、「2回以上」が71.0%、「1回」が20.6%となっています。



【(2)において「1. 行っている」に○をつけた方のみ】
 (2) ① あなたの運動の実践状況についてお答えください。
 B 1回の運動時間

全体では、「30分以上」が67.4%、「30分未満」が23.9%となっています。

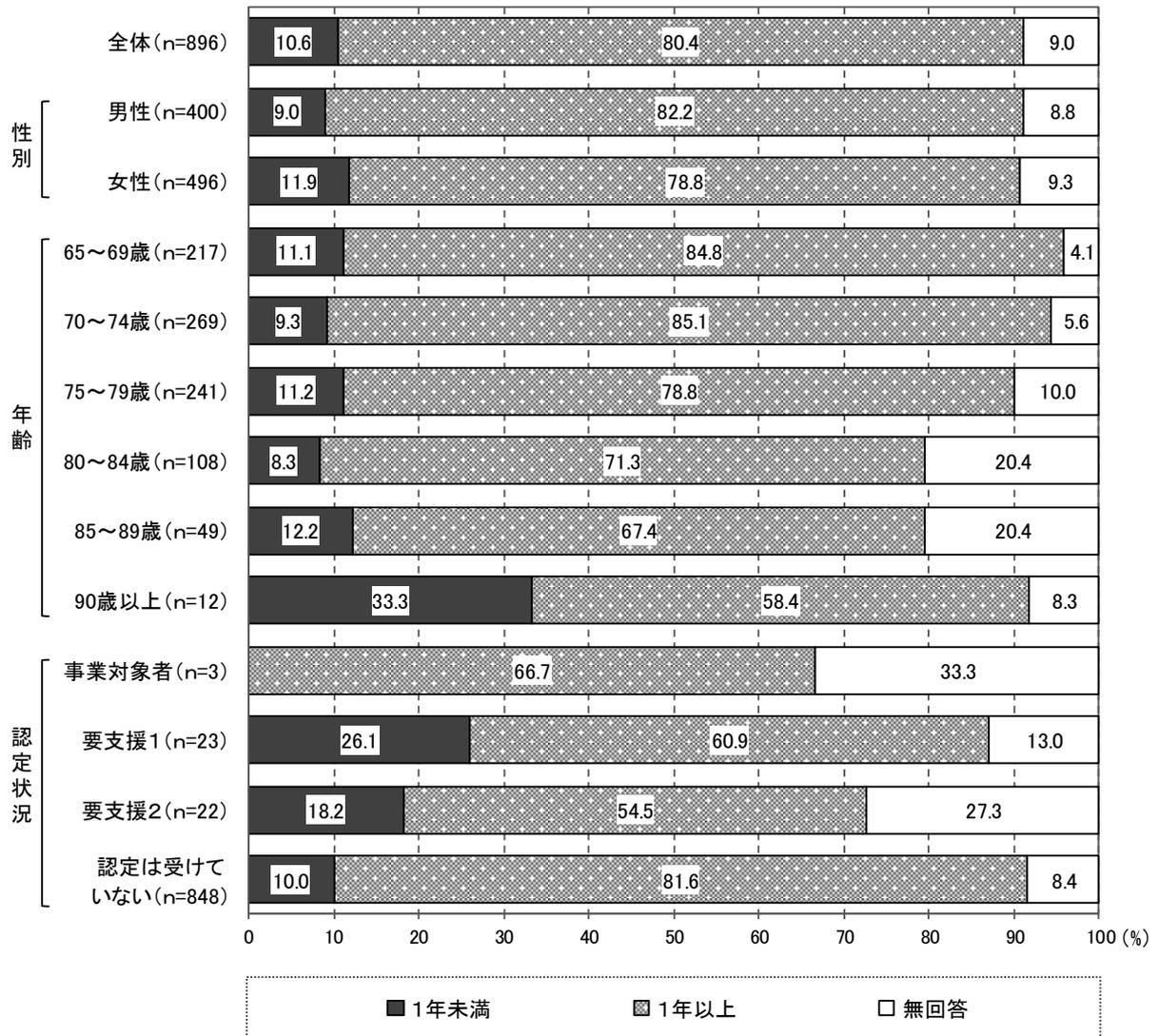


【(2)において「1. 行っている」に○をつけた方のみ】

(2) ① あなたの運動の実践状況についてお答えください。

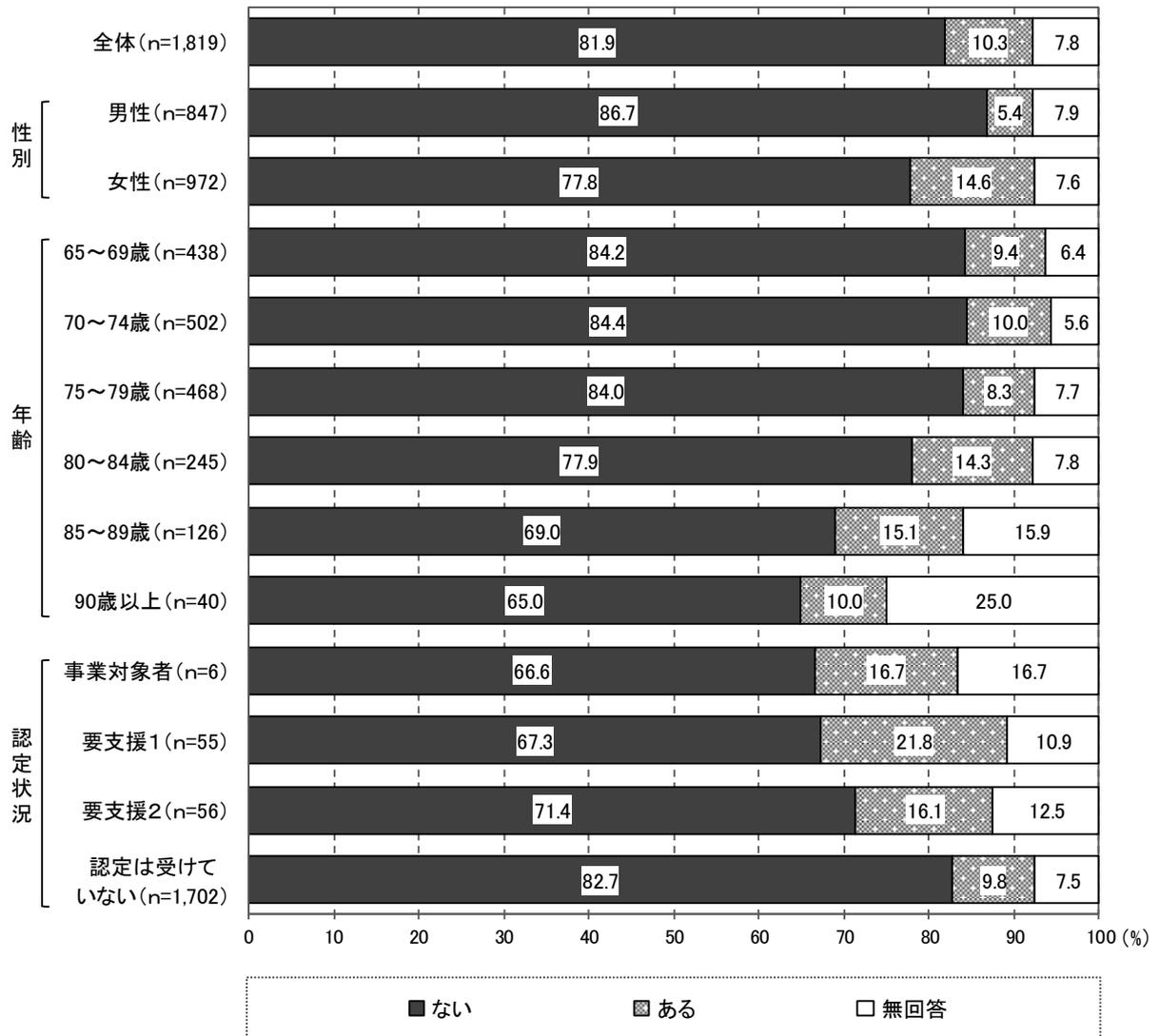
C 継続期間

全体では、「1年以上」が80.4%、「1年未満」が10.6%となっています。



(3) これまで、町が実施している介護予防の教室や講座に参加したことがありますか。

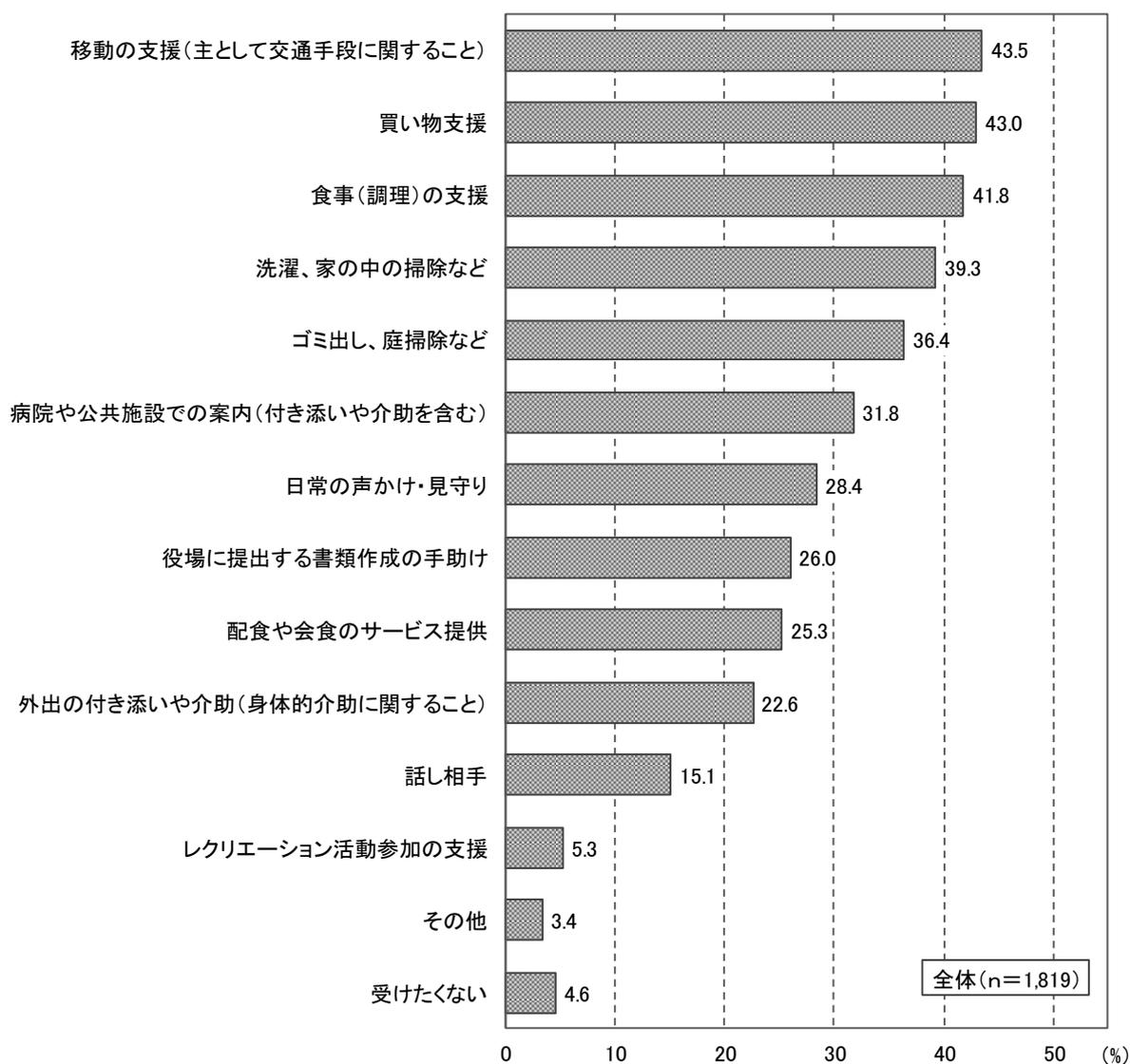
全体では、「ない」が81.9%、「ある」が10.3%となっています。
 年齢層で見ると、加齢につれて「ない」の割合が低くなる傾向にあります。



問 10 日常生活への支援について

(1) あなたご自身に介護が必要になった場合、日常的に受けたいと思う支援は何ですか。【複数回答】

全体では、「移動の支援(主として交通手段に関する事)」が43.5%と最も高く、次いで、「買い物支援」(43.0%)、「食事(調理)の支援」(41.8%)の順となっています。

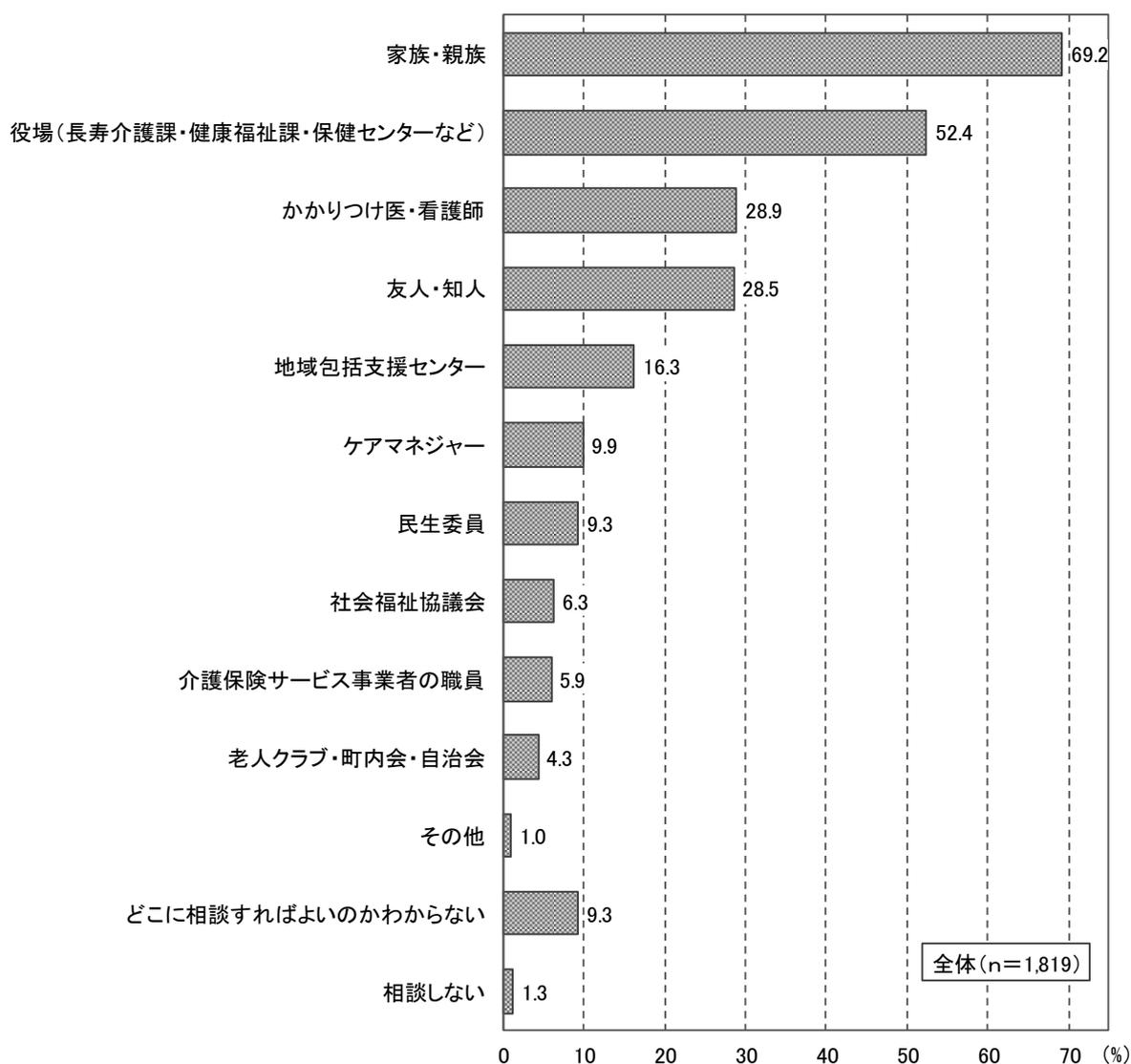


	日常の 声かけ・ 見守り	洗濯、 家の中 の掃除 など	ゴミ出 し、庭掃 除など	食事(調 理)の支 援	買い物 支援	話し相 手	移動の 支援(主 として交 通手段 に関する こと)	外出の 付き添 いや介 助(身体 的介助 に関する こと)	病院や 公共施 設での 案内(付 き添い や介助 を含む)	役場に 提出す る書類 作成の 手助け	配食や 会食の サービ ス提供	レクリ エーショ ン活動 参加の 支援	その他	受けたく ない
全体 (n=)	1,819	714	662	761	782	275	792	411	578	473	460	96	62	84
男性	232	347	297	393	334	127	357	169	243	192	229	46	31	50
女性	27.4%	41.0%	35.1%	46.4%	39.4%	15.0%	42.1%	20.0%	28.7%	22.7%	27.0%	5.4%	3.7%	5.9%
28.4%	29.3%	37.8%	37.9%	46.1%	44.8%	15.2%	44.8%	24.9%	34.5%	28.9%	23.8%	5.1%	3.2%	3.5%
28.4%	31.1%	41.8%	44.3%	44.7%	14.6%	14.6%	51.6%	24.7%	33.3%	26.9%	24.9%	5.7%	4.1%	2.3%
31.7%	41.6%	37.8%	47.2%	50.4%	16.7%	16.7%	46.0%	24.9%	31.5%	24.9%	24.9%	3.8%	2.0%	5.0%
26.1%	40.0%	35.5%	41.0%	39.1%	13.7%	13.7%	41.2%	20.3%	31.8%	26.9%	27.4%	6.8%	5.1%	4.3%
26.9%	37.1%	38.0%	36.7%	41.2%	12.7%	12.7%	37.6%	19.6%	31.0%	26.1%	24.5%	4.9%	2.9%	7.8%
23.0%	27.0%	29.4%	27.8%	31.0%	22.2%	22.2%	30.2%	21.4%	31.0%	27.8%	21.4%	6.3%	0.8%	5.6%
12.5%	25.0%	17.5%	32.5%	25.0%	10.0%	10.0%	30.0%	20.0%	25.0%	12.5%	27.5%	0.0%	5.0%	7.5%
16.7%	50.0%	66.7%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%	66.7%	50.0%	50.0%	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%
23.6%	36.4%	36.4%	32.7%	38.2%	12.7%	12.7%	34.5%	21.8%	32.7%	21.8%	23.6%	10.9%	7.3%	0.0%
21.4%	37.5%	35.7%	42.9%	37.5%	21.4%	21.4%	32.1%	19.6%	32.1%	16.1%	25.0%	3.6%	3.6%	1.8%
28.8%	39.4%	36.3%	42.2%	43.3%	15.0%	15.0%	44.1%	22.6%	31.7%	26.3%	25.4%	5.1%	3.3%	4.9%
28.8%	39.4%	36.3%	42.2%	43.3%	15.0%	15.0%	44.1%	22.6%	31.7%	26.3%	25.4%	5.1%	3.3%	4.9%
事業対象者	6	3	4	1	3	0	4	3	3	4	1	1	0	0
要支援1	55	20	20	18	21	7	19	12	18	12	13	6	4	0
要支援2	56	21	20	24	21	12	18	11	18	9	14	2	2	1
認定は受けて いない	1,702	670	618	718	737	256	751	385	539	448	432	87	56	83
28.8%	39.4%	36.3%	42.2%	43.3%	15.0%	15.0%	44.1%	22.6%	31.7%	26.3%	25.4%	5.1%	3.3%	4.9%

問 11 相談先や町の取組について

(1) あなたや家族が、困ったことやわからないことがあったとき、誰に相談しますか。【複数回答】

全体では、「家族・親族」が69.2%と最も高く、次いで、「役場（長寿介護課・健康福祉課・保健センターなど）」（52.4%）、「かかりつけ医・看護師」（28.9%）の順となっています。

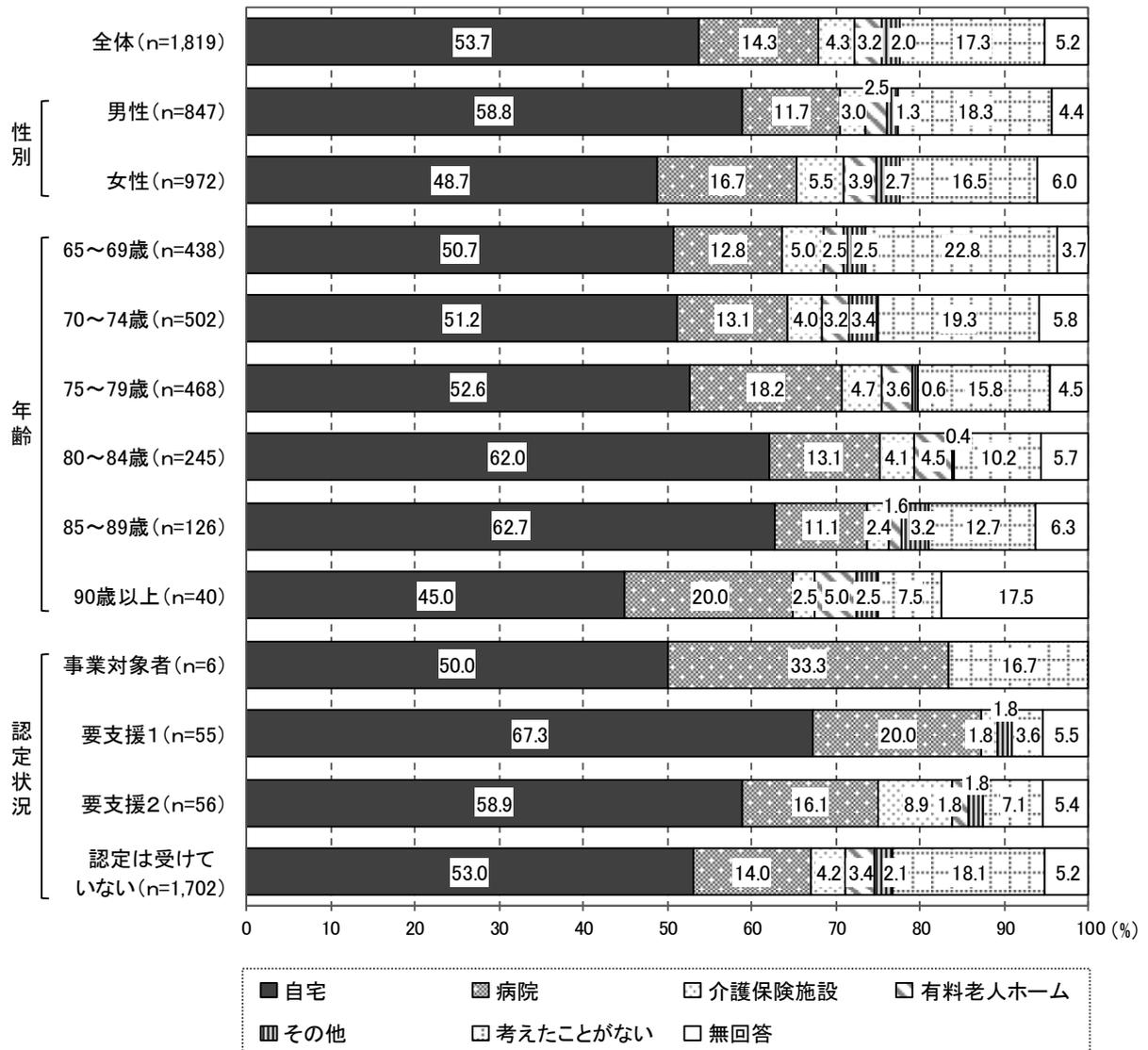


	(n=)	役場(長 寿介護 課・健康 福祉課・ 保健セ ンターな ど)	地域包 括支援 センター	かかり つけ医・ 看護師	民生委 員	家族・親 族	友人・知 人	ケアマ ネジャー	介護保 険サー ビス事 業者の 職員	老人クラ ブ・町内 会・自治 会	社会福 祉協議 会	その他	どこに相 談すれ ばよい のかわ らな い	相談し ない
全体	1,819	954 52.4%	296 16.3%	526 28.9%	170 9.3%	1,259 69.2%	519 28.5%	180 9.9%	108 5.9%	79 4.3%	115 6.3%	19 1.0%	169 9.3%	23 1.3%
性別														
男性	847	447 52.8%	100 11.8%	235 27.7%	83 9.8%	579 68.4%	216 25.5%	71 8.4%	48 5.7%	47 5.5%	54 6.4%	14 1.7%	75 8.9%	16 1.9%
女性	972	507 52.2%	196 20.2%	291 29.9%	87 9.0%	680 70.0%	303 31.2%	109 11.2%	60 6.2%	32 3.3%	61 6.3%	5 0.5%	94 9.7%	7 0.7%
年齢														
65～69歳	438	255 58.2%	77 17.6%	134 30.6%	25 5.7%	292 66.7%	162 37.0%	45 10.3%	24 5.5%	15 3.4%	28 6.4%	9 2.1%	34 7.8%	2 0.5%
70～74歳	502	260 51.8%	72 14.3%	138 27.5%	48 9.6%	359 71.5%	165 32.9%	32 6.4%	16 3.2%	21 4.2%	30 6.0%	2 0.4%	62 12.4%	11 2.2%
75～79歳	468	241 51.5%	74 15.8%	126 26.9%	50 10.7%	323 69.0%	117 25.0%	43 9.2%	32 6.8%	18 3.8%	35 7.5%	5 1.1%	37 7.9%	9 1.9%
80～84歳	245	127 51.8%	48 19.6%	72 29.4%	31 12.7%	172 70.2%	53 21.6%	25 10.2%	16 6.5%	18 7.3%	14 5.7%	2 0.8%	25 10.2%	1 0.4%
85～89歳	126	58 46.0%	20 15.9%	44 34.9%	14 11.1%	85 67.5%	21 16.7%	25 19.8%	14 11.1%	7 5.6%	7 5.6%	0 0.0%	8 6.3%	0 0.0%
90歳以上	40	13 32.5%	5 12.5%	12 30.0%	2 5.0%	28 70.0%	1 2.5%	10 25.0%	6 15.0%	0 0.0%	1 2.5%	1 2.5%	3 7.5%	0 0.0%
事業対象者	6	2 33.3%	2 33.3%	3 50.0%	2 33.3%	5 83.3%	2 33.3%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%
要支援1	55	31 56.4%	13 23.6%	20 36.4%	3 5.5%	31 56.4%	8 14.5%	24 43.6%	10 18.2%	2 3.6%	4 7.3%	1 1.8%	3 5.5%	0 0.0%
要支援2	56	22 39.3%	14 25.0%	14 25.0%	3 5.4%	34 60.7%	8 14.3%	24 42.9%	8 14.3%	1 1.8%	5 8.9%	0 0.0%	6 10.7%	0 0.0%
認定は受けて いない	1,702	899 52.8%	267 15.7%	489 28.7%	162 9.5%	1,189 69.9%	501 29.4%	130 7.6%	89 5.2%	75 4.4%	105 6.2%	18 1.1%	159 9.3%	23 1.4%

(2) 人生の最期を、あなたはどこで迎えたいですか。

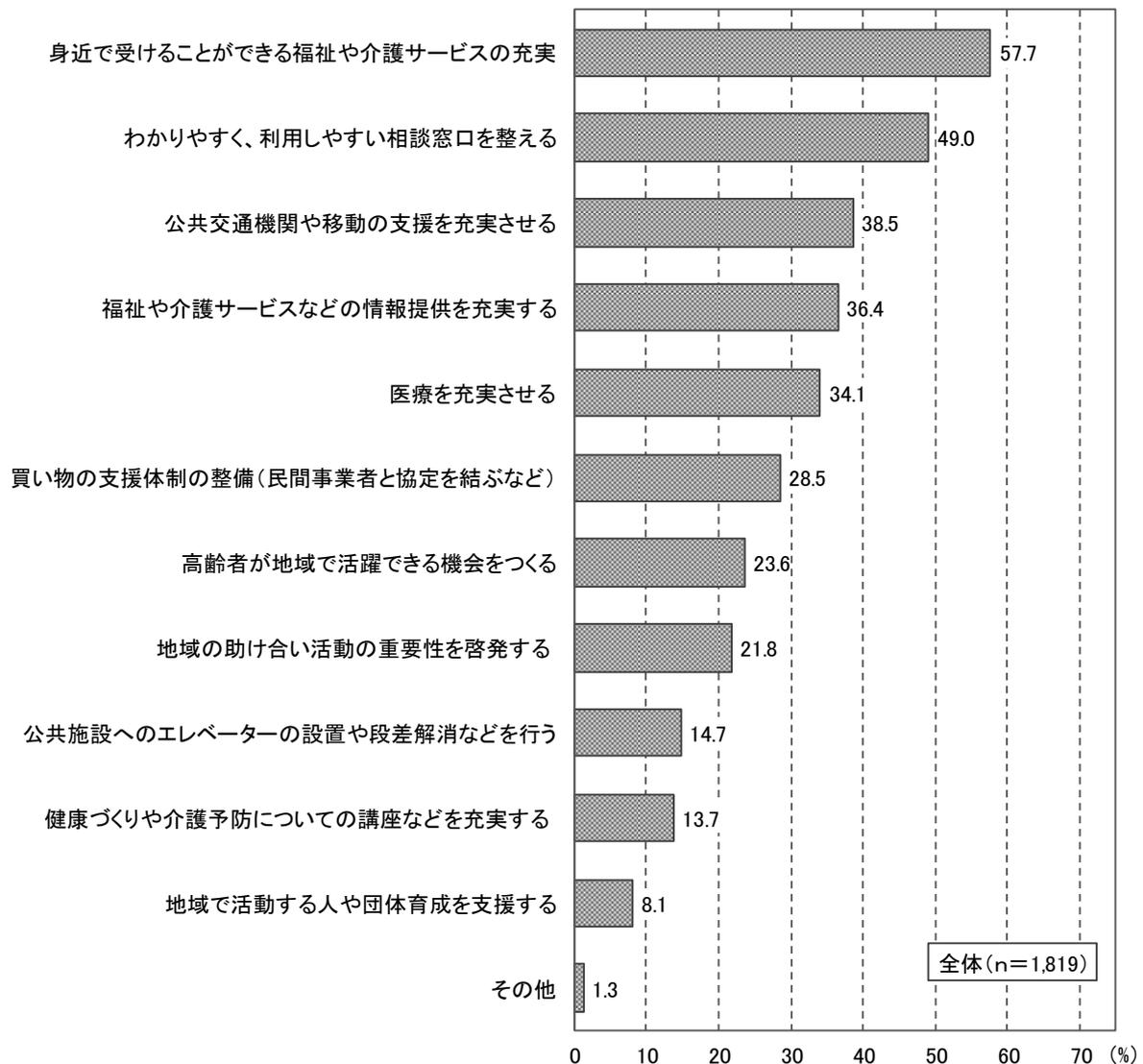
全体では、「自宅」が53.7%と最も高く、次いで、「考えたことがない」(17.3%)、「病院」(14.3%)の順となっています。

性別で見ると、「自宅」では、男性が58.8%と女性の48.7%より高くなっています。



(3) 高齢者にとって暮らしやすいまちになるために、町が重点的に進めるべきことは何だと考えますか。【複数回答】

全体では、「身近で受けることができる福祉や介護サービスの充実」が57.7%と最も高く、次いで、「わかりやすく、利用しやすい相談窓口を整える」(49.0%)、「公共交通機関や移動の支援を充実させる」(38.5%)の順となっています。



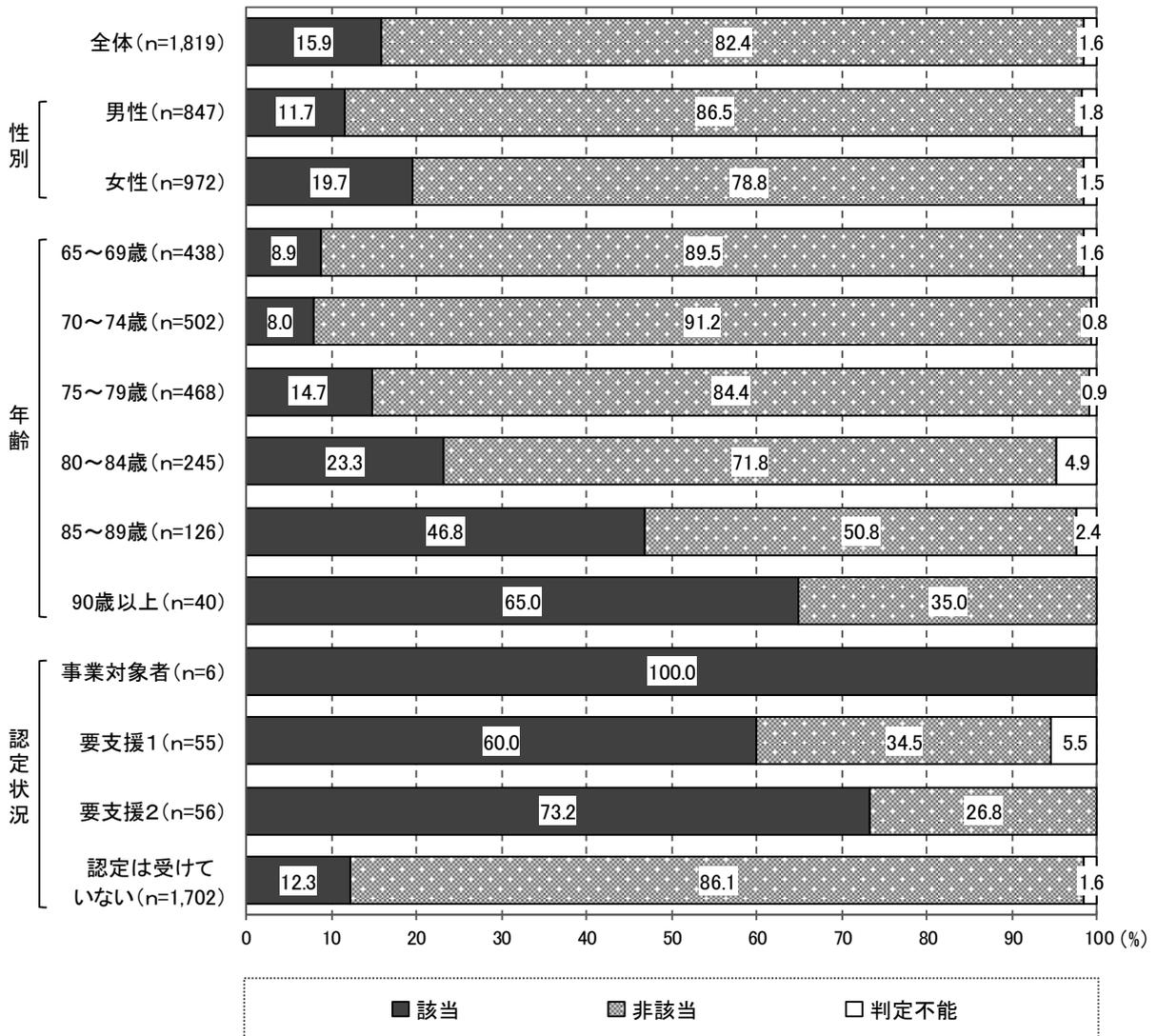
	高齢者が地域で活躍できる機会をつくる	地域の助け合い活動の重要性を啓発する	健康づくりや介護予防についての講座などを実施する	福祉や介護サービスなどの情報の提供を充実する	身近で受けることができる福祉や介護サービスの充実の実	わかりやすく、利用しやすい相談窓口を整える	公共施設へのエレベーターの設置や段差解消などを行う	公共交通機関や移動の支援を充実させる	買い物支援の体制の整備(民間事業者と協定を結ぶなど)	地域で活動する人や団体育成を支援する	医療を充実させる	その他
全体	1,819 23.6%	396 21.8%	250 13.7%	663 36.4%	1,049 57.7%	892 49.0%	268 14.7%	701 38.5%	518 28.5%	148 8.1%	620 34.1%	23 1.3%
男性	847 25.1%	191 22.6%	122 14.4%	310 36.6%	465 54.9%	388 45.8%	100 11.8%	286 33.8%	214 25.3%	76 9.0%	299 35.3%	13 1.5%
女性	972 22.2%	205 21.1%	128 13.2%	353 36.3%	584 60.1%	504 51.9%	168 17.3%	415 42.7%	304 31.3%	72 7.4%	321 33.0%	10 1.0%
65～69歳	438 24.9%	98 22.4%	42 9.6%	174 39.7%	267 61.0%	227 51.8%	66 15.1%	192 43.8%	128 29.2%	46 10.5%	175 40.0%	6 1.4%
70～74歳	502 25.3%	117 23.3%	71 14.1%	196 39.0%	299 59.6%	277 55.2%	74 14.7%	221 44.0%	156 31.1%	36 7.2%	179 35.7%	4 0.8%
75～79歳	468 18.6%	98 20.9%	56 12.0%	154 32.9%	263 56.2%	196 41.9%	68 14.5%	170 36.3%	126 26.9%	38 8.1%	153 32.7%	9 1.9%
80～84歳	245 27.3%	55 22.4%	56 22.9%	85 34.7%	133 54.3%	125 51.0%	34 13.9%	69 28.2%	71 29.0%	16 6.5%	73 29.8%	2 0.8%
85～89歳	126 24.6%	20 15.9%	17 13.5%	44 34.9%	65 51.6%	54 42.9%	17 13.5%	35 27.8%	27 21.4%	5 4.0%	33 26.2%	2 1.6%
90歳以上	40 20.0%	8 20.0%	8 20.0%	10 25.0%	22 55.0%	13 32.5%	9 22.5%	14 35.0%	10 25.0%	7 17.5%	7 17.5%	0 0.0%
事業対象者	6 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	4 66.7%	3 50.0%	3 50.0%	2 33.3%	5 83.3%	3 50.0%	1 16.7%	4 66.7%	0 0.0%
要支援1	55 18.2%	9 16.4%	10 18.2%	16 29.1%	28 50.9%	19 34.5%	12 21.8%	24 43.6%	15 27.3%	4 7.3%	16 29.1%	2 3.6%
要支援2	56 21.4%	7 12.5%	4 7.1%	19 33.9%	30 53.6%	19 33.9%	15 26.8%	14 25.0%	17 30.4%	3 5.4%	17 30.4%	1 1.8%
認定は受けていない	1,702 23.9%	406 22.3%	379 13.8%	624 36.7%	988 58.0%	851 50.0%	239 14.0%	658 38.7%	483 28.4%	140 8.2%	583 34.3%	20 1.2%

Ⅲ 調査結果によるリスク判定 (参考)

国（厚生労働省）が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」（令和元年10月23日）に沿って、調査結果をもとにリスク判定を行いました。

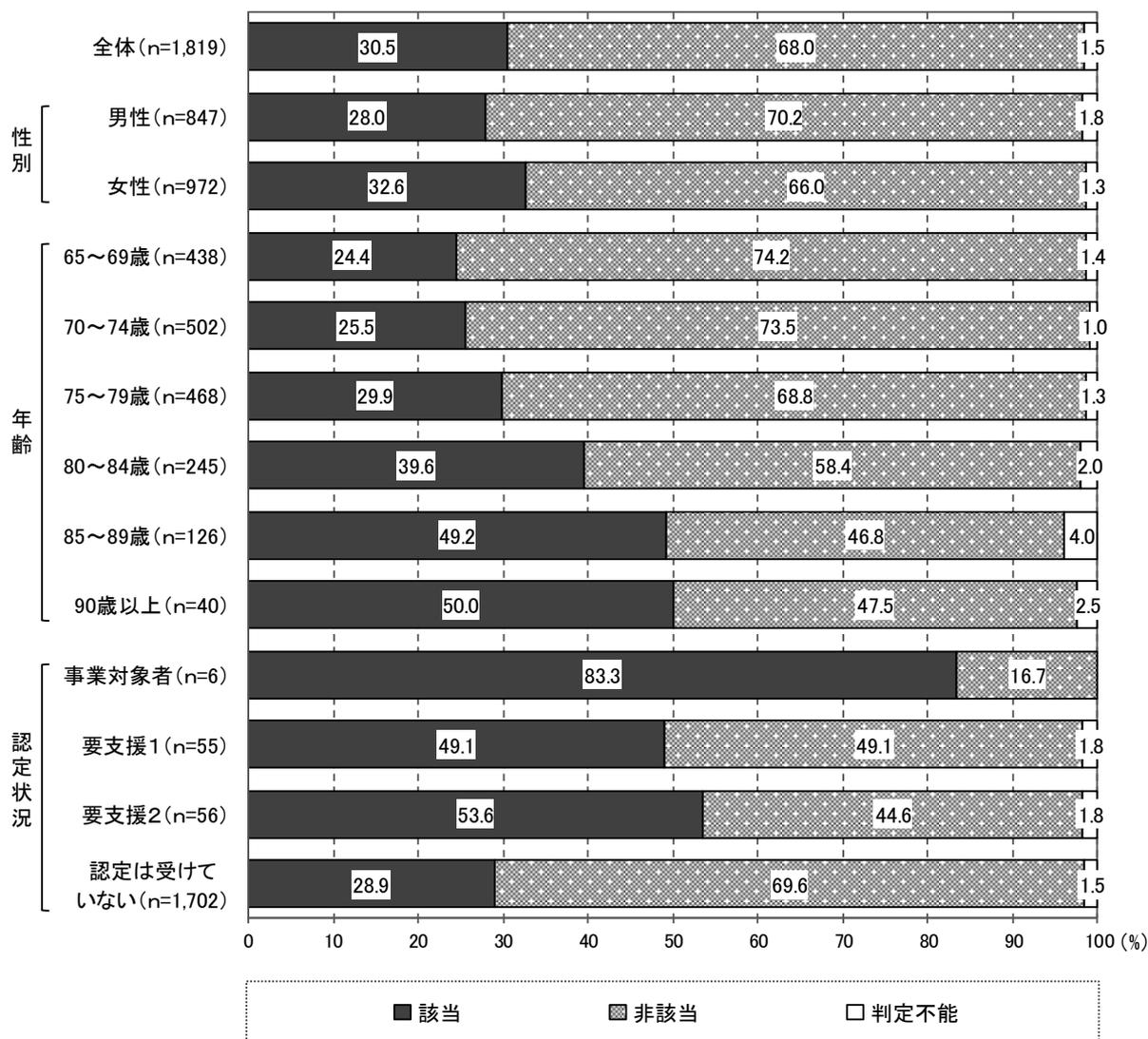
1. 運動器機能低下について

運動器機能評価については、加齢とともにリスク該当者の割合が高くなっています。性別でみると、男性に比べて、女性のリスク該当者の割合が高くなっています。



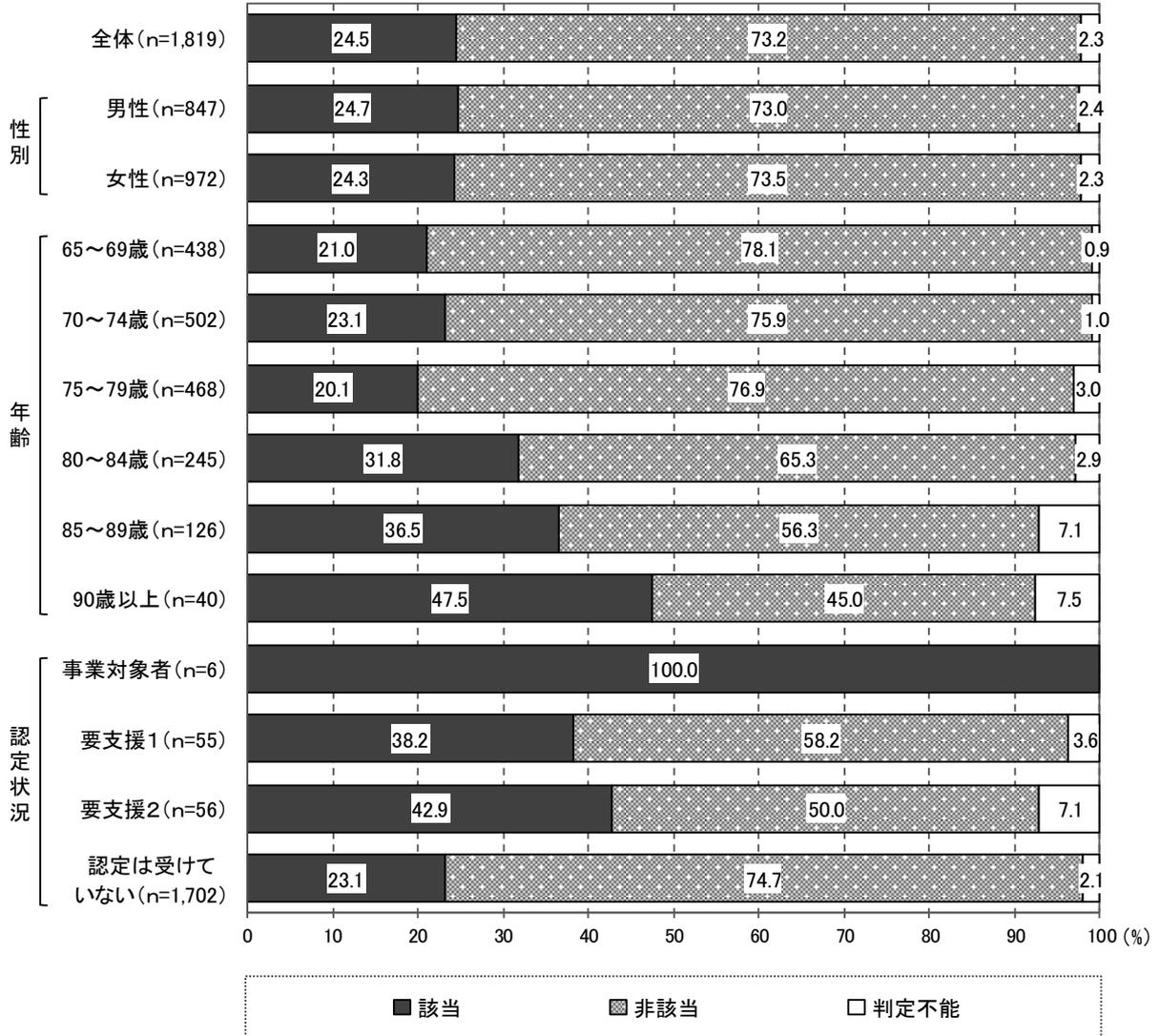
2. 転倒リスクについて

転倒リスクについては、加齢とともにリスク該当者の割合が高くなっています。
性別で見ると、男性と比べて、女性のリスク該当者の割合がやや高くなっています。



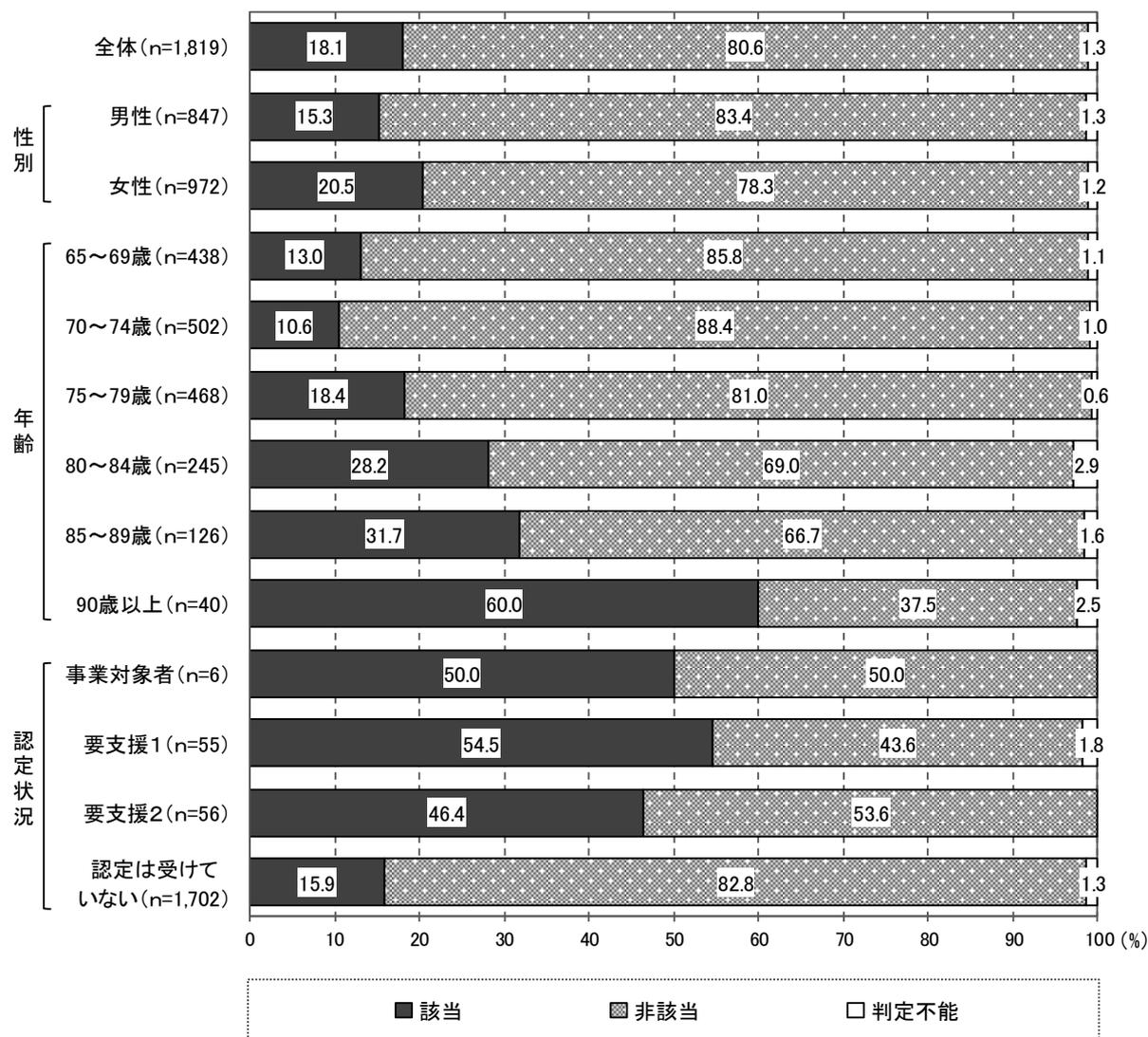
3. 口腔機能低下について

口腔機能低下については、加齢とともにリスク該当者の割合が高くなる傾向にあります。



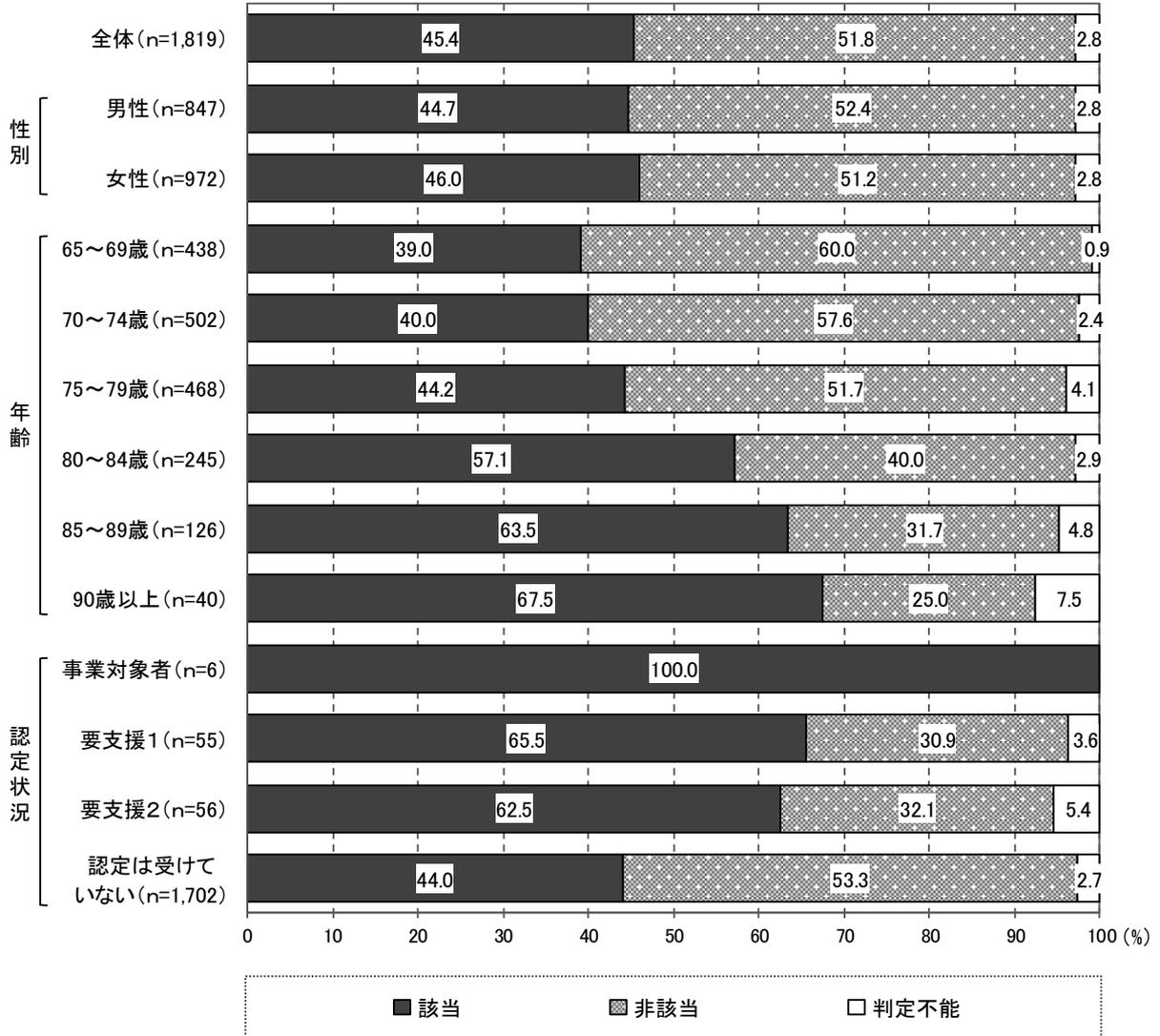
4. 閉じこもり傾向について

閉じこもり傾向については、加齢とともにリスク該当者の割合が高くなる傾向にあります。



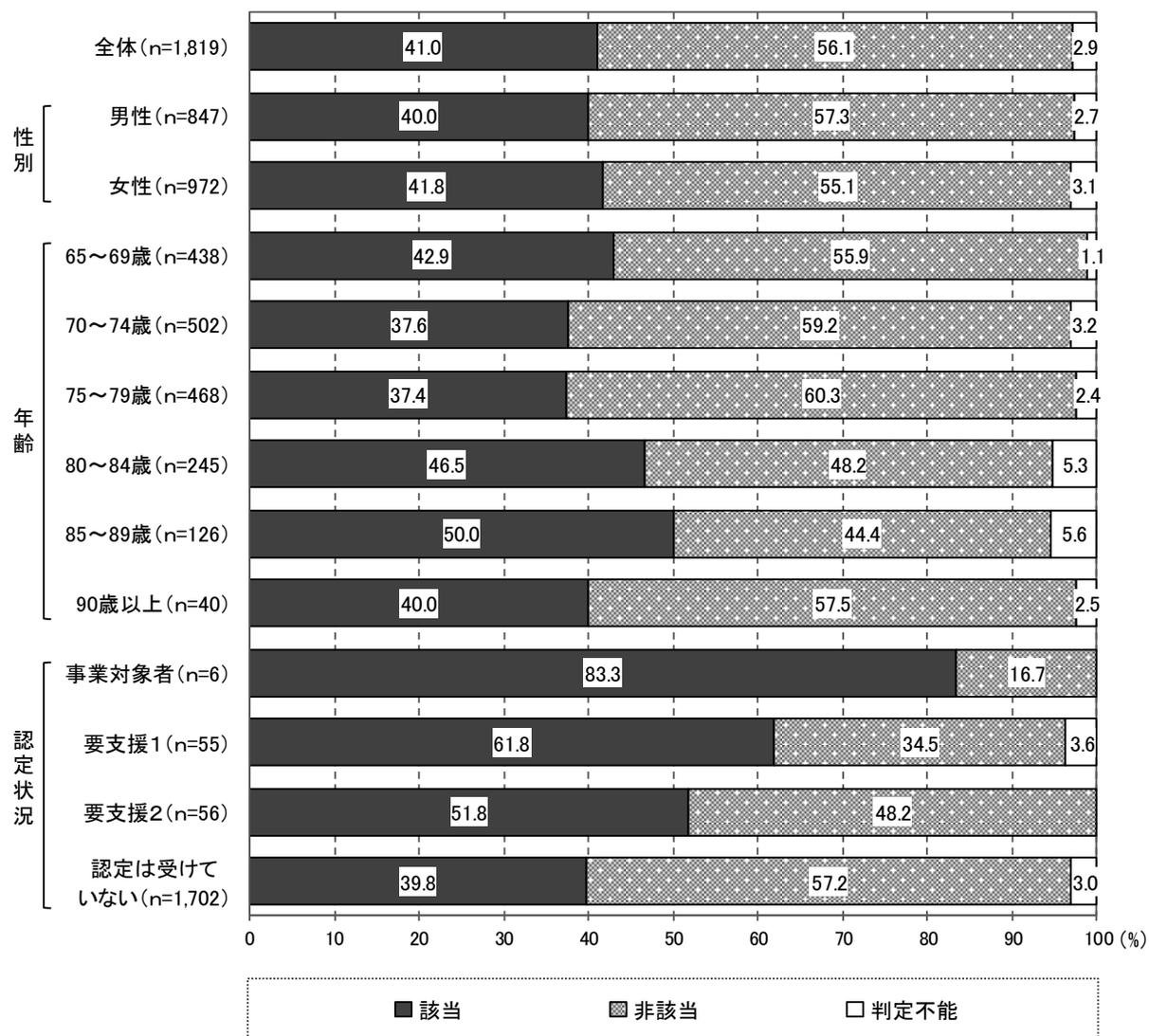
5. 認知機能低下について

認知機能低下については、加齢とともにリスク該当者の割合が高くなる傾向にあります。



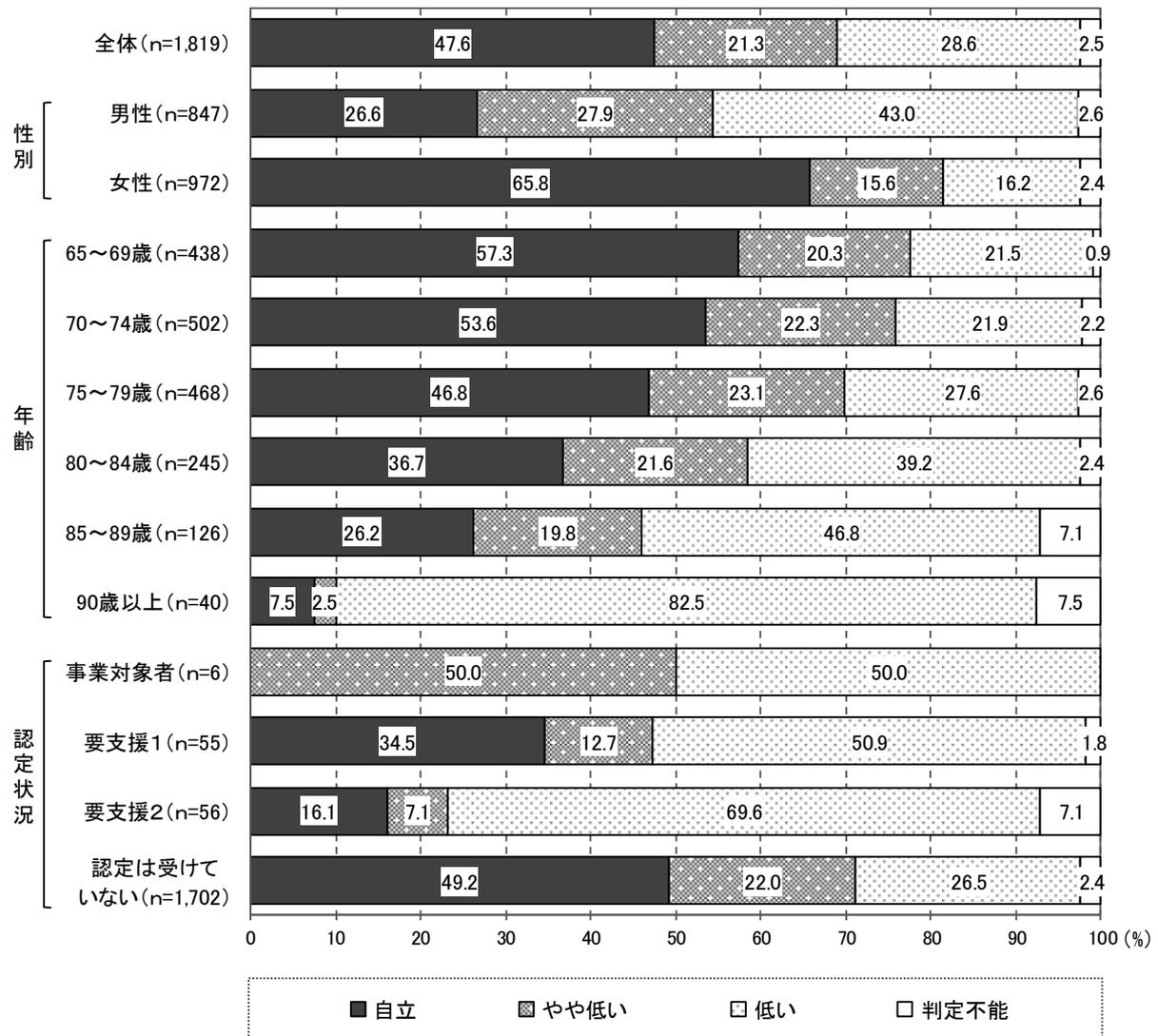
6. うつ傾向について

うつ傾向については、80歳代でリスク該当者の割合が高くなっています。



7. 手段的自立度(IADL)について

手段的自立度 (IADL) については、加齢とともに「自立」の割合が低くなっています。性別でみると、男性と比べて、女性の「自立」の割合がかなり高くなっています。



ADLは「日常生活動作」と訳され、起床から着替え、移動、食事、トイレ、入浴等、日常的に発生する動作を指します。

それに対し、IADLは、日常的な動作の中でも、より頭を使って判断することが求められる動作になります。例えば、買い物や服薬管理、金銭管理等が該当します。

8. 判定方法

(1) 運動器機能低下・(2) 転倒リスク

問番号	項目	評価
問2 (1)	階段の昇り	1. できるし、している…1点 2. できるけど、していない…1点 3. できない…0点
問2 (2)	椅子からの立ち上がり	1. できるし、している…1点 2. できるけど、していない…1点 3. できない…0点
問2 (3)	15分位の継続歩行	1. できるし、している…1点 2. できるけど、していない…1点 3. できない…0点
問2 (4)	過去1年間の転倒経験	1. 何度もある…0点 2. 1度ある…0点 3. ない…1点
問2 (5)	転倒に対する不安	1. とても不安である…0点 2. やや不安である…0点 3. あまり不安でない…1点 4. 不安でない…1点

※(1) 5項目中3項目以上に該当(2点以下)…該当者

※(2) 問2(4)に該当(0点)…該当者

(3) 口腔機能低下

問番号	項目	評価
問3 (2)	固いものが食べにくい	1. はい…0点 2. いいえ…1点
問3 (3)	お茶や汁物等でむせる	1. はい…0点 2. いいえ…1点
問3 (4)	口の渇き	1. はい…0点 2. いいえ…1点

※3項目中2項目以上に該当(1点以下)…該当者

(4) 閉じこもり傾向

問番号	項目	評価
問2 (6)	週に1回以上の外出	1. ほとんど外出しない…0点 2. 週1回…0点 3. 週2～4回…1点 4. 週5回以上…1点

※問2(6)に該当(0点)…該当者

(5) 認知機能低下

問番号	項目	評価
問4 (1)	物忘れが多いと感じる	1. はい…0点 2. いいえ…1点

※問4(1)に該当(0点)…該当者

（6）うつ傾向

問番号	項目	評価
問7（3）	気分が沈む、ゆううつな気持ちになる	1. はい…0点 2. いいえ…1点
問7（4）	物事に対して興味がわかない、楽しめない	1. はい…0点 2. いいえ…1点

※2項目中いずれかに該当（1点以下）…該当者

（7）手段的自立度（IADL）（老研式活動能力指標）

問番号	項目	評価
問4（2）	バスや電車での外出	1. できるし、している…1点 2. できるけど、していない…0点 3. できない…0点
問4（3）	食品・日用品の買物	1. できるし、している…1点 2. できるけど、していない…0点 3. できない…0点
問4（4）	食事の用意	1. できるし、している…1点 2. できるけど、していない…0点 3. できない…0点
問4（5）	請求書の支払い	1. できるし、している…1点 2. できるけど、していない…0点 3. できない…0点
問4（6）	預貯金の出し入れ	1. できるし、している…1点 2. できるけど、していない…0点 3. できない…0点

※4点…やや低い 3～0点…低い

IV 自由記述（カテゴリー別）

調査票の最後に自由記述の欄を設けて、住民の方からのご意見等をお伺いしました。

カテゴリー	件数
1. 移動手段、交通の便	76
2. 地域活動、居場所、交流、ボランティア	63
3. 医療、福祉、介護サービス	59
4. 生活支援、生活の便	24
5. 道路・歩道の整備	23
6. 経済的負担、経済的支援	18
7. 将来への心配、不安	7
8. その他	68
合計	338

1. 移動手段、交通の便

コスモス号の回数を増やしてほしい。
コスモス号の停留所を増やしてほしい。
コスモス号も時間帯をもう 40 分か一時間早ければ幸せ。病院は、村中は通りにくいから無理だろう。
コスモス号をもっと利用しやすい時間も考えてほしい。
川西コスモス号の回数をもっと増やしてほしい。
川西コスモス号の本数を増やしてほしい。
バス（川西コスモス号）の回数をもう少し増やしてほしい。
コミュニティバスの本数を増やしてほしい。
町のバスは現在 2 時間に 1 回なので、1 時間に 1 回にしてほしい。
川西町は住みにくい。交通の便が悪い。コミュニティバスの本数を増やしてほしい。
買い物に不便している。コスモス号より大きいバスで、1 時間 1 本運行してほしい。
買い物をする喜びをなくさないためにも、コミュニティバスの本数を増やしてほしい。
免許返納後、コミュニティバスを利用するので本数を増やしてほしい。

免許返納後の交通手段、コミュニティバスの増発を望む。
運転免許証を返納するときがいつかくるので、コミュニティバスの本数がもう少し多くなるとありがたい。
現在はまだ自分で移動できているができなくなれば移動（通院、買い物）するのが不便なため、コミュニティバスの時間の回数をもう少し増やしてほしいと思う。
コミュニティバスの本数を増やして乗降場所を近くにしてほしい。
免許返納といわれるが、交通手段が不十分だ。コスモス号の増便・土日運行も考えてほしい。
現在バイクや徒歩で行動できているが、バイクが乗れなくなるのも近いと思う。コミュニティバスの本数が少ない。バス停まで重い荷物を持っての移動となる。バスの路線であれば手をあげ、停まっていたいただければ助かる。途中乗車、下車ができれば便利。
コスモス号をもっと土日に走らせてほしい。
コミュニティバスの運行でとても助かっている。土曜日も運行してほしい。
コミュニティバスの利用を土日に希望したい。
コスモス号をバス停以外の場所で乗り降りできるようにしてほしい。
コミュニティバスの停留所が遠い。
コミュニティバスを町内だけでなく、法隆寺駅などにも走らせてほしい。
コスモス号の停留所の増設。
コミュニティバスについて近隣市町村との路線図が欲しい。主要鉄道駅へのコミュニティバス。
コスモス号が使いにくいので、タクシーチケットだと助かる。
町のコミュニティバスは利用者が限られている。タクシー利用券が良いと思う。
タクシーチケットの発行。
自動車免許及び公共交通機関やタクシーなどの利用についての支援。
コミュニティバスなど、交通手段の充実を願う。
自動車免許返納のためにも、コミュニティバスの路線拡大を。
交通が不便。
交通チケットを配布してほしい。
交通機関の充実。
交通機関の充実をはかってほしい。
公共交通機関の充実。
公共交通機関を増やしてほしい。
国保病院への無料シャトルバス。
国保病院への無料シャトルバスを運行してほしい。
最寄りの駅や生活必需品の買い物に便利なバスの回数を増やしてほしいと思う。

最近自動車を降り、不便に感じ適当にコスモス、イチョウなどを利用させていただいている。
三宅タクシーによる無料チケットの配布（三宅町と同じ）。
巡回バスのバス停を増設してほしい。町役場・図書館にも設置してほしい。
乗り合いタクシーなど考えてほしい。
バスよりもタクシー代を補助してほしい。
タクシーチケットの配布。
年齢に応じて、タクシー割引券を交付してほしい。
病院へはすべてタクシーを利用している。タクシー割引があればと思う。
他町村のようなタクシー利用券がほしい。
足が不自由でバス乗り場までの歩行が困難なため今のバスを廃止してタクシー券がほしい。
ふれあいカラオケ当日に社会福祉課より送迎バスを出していただいている。感謝。
もっと近くで買い物ができるようになればよい。交通の便が悪い。
一人暮らしの高齢者は移動が不自由で一人ではどこにも行けない。どうしたらよいか分からない。
運動など行きたいと思っても公共の交通機関が少なく行けない。
駅のターミナルにタクシーを3台常駐してほしい。非常時に電話一本で来てくれる交通網の整備。
遠くへ出掛けるときの交通費を安くしてほしい。買い物やアート鑑賞などに参加したい。
介護タクシーのような病院や買い物に電話をして自由に行ける手段を安価で、回数券か何かで利用できる手段があればいいと思う。
外出するときの交通機関の支援を充実させる。
結崎駅の整備の充実。大和小泉駅への定期バスなどアクセス整備。
送迎バスの回数をもっと多くしてほしい。病院に行くとしても帰りが、時間が空きすぎ。
通院の手段の充実。
天理のよろづ病院に結崎から直接行けるバスが欲しい。
天理よろづ病院へのバスの運行。国保病院の診療科を増やし、町内より送迎バスの運行。歩道の整備。
唐院に住んでいるが、買い物の交通手段がなく困っている。
買い物及び駅までの交通手段の充実。
病院への通院手段。
病院や買い物の移動手段の充実。
無料にて利用できる交通手段の充実。
免許返納を考えているが、不便でできない。

免許証返納した場合、他町ではタクシー券が出ている。外出先でも使用できるタクシー券があるとよい。
いつまで車の運転ができるか心配。免許を返却したらごみ置き場まで迎えにきてもらえるようにしたい。タクシーなど自由な時刻に利用できるようにすると便利だと思う。
車の免許証の返納者に対しての交通機関のサービス。
高齢者になったら自動車や自転車が利用できなくなるので、買い物などがしやすいようにしてほしい。
高齢者運転支援システムの支援を検討してほしい。

2. 地域活動、居場所、交流、ボランティア

いずれ何かの形で年を重ねると、人様にお世話になることだろう。地域の方々と仲良くして生活して行かなければならないと感じている。
ココロカフェのような皆で楽しめる場所作り。
みんなが年を取ってきているのであまり近所が気をつかわないような暮らしをしていきたい。町が進めているものを取り入れたいと思う。
みんな仲良く。
意見交換の場がほしい。
駅の周りに楽しく集まる休憩室が欲しい。
介護サービスを受けていない高齢者（80歳以上）の人が集まって楽しく過ごせる場所を作ってほしい。
介護予防教室について知りたい。
各自治会への健康にかかわる出張講座を定期的で開催してほしい。認知症防止講座も含む。
各地域の老人会にもっと皆が積極的に参加できるような体制を整えてほしいと思う。
楽しく過ごす場所を作ってほしい。
気軽に遊べる公共施設がほしい。
近所付き合いが悪い。
近隣の方との人間関係・声掛けなど心の支えが必要。
健康な方に呼び掛けて自治会で、介護が必要な人々に寄り添えたらよいと思う。
現在、地域の老人会や自治会で（和）づくりをさせていただいているが、お世話をする方の年が若くなり、物の考え方が随分と変わってきた。温かみが無いと言うか。また、お年寄りの方は、家に帰っても話をしてくれる人がいないからもう少しここにいさせてほしいと、帰ってくれない。（若いときからの教育が大事だと思う）そのため老人をお世話する方との温度差が大きくなってきた。

公園をもっと充実、憩いの場がほしい。
公共施設として、軽食・休憩できるものがほしい。
公民館等への出張講座を定期的に要望。
高齢で免許も返納し、不自由な手足で社会性も低下している。そんな人達で共同生活できる場がほしい。
高齢になると健康づくりや介護予防の講座をいただき、一日でも長生きしたいと気力をいただきたいと思う。ありがとうございます。
高齢の方向けの場所づくり。元気な活動支援高齢者の有償ボランティア活動や多様な自立的活動、企画支援プロジェクト運営支援等。
高齢社会になりつつある当地で地域がお互いに助け合う仕組みづくりを行政が率先して指導すべきだと思う。
高齢者がいくつになっても参加できるような活動をするための内容や企画の情報がほしい。
高齢者が介護の支援を受けることなく自立できる健康を長い期間維持できる「仕掛け」と「仕組み作り」の実践。例、運動の機会やくつろぎの場所の提供。NPO 法人川西スポーツクラブ会員者には週1回の利用を、希望するクラブ（卓球など）には追加費用なしで2回以上利用できるなど、検討してほしい。
高齢者が気軽に参加でき、それが生きがいとなる催しをしてほしい。
高齢者が気軽に参加できる活動を多様化する。
高齢者が気軽に利用できる飲食店がほしい。町の補助があり、格安のランチ&おやつ・おしゃべりができる店が町内に何か所もほしい。
高齢者でも出かけるきっかけとなるものを企画してほしい。
高齢者の場合低度のボランティアしかできないかもしれないが、必要性のある人と結びつける組織のようなものがあれば参加しやすいと考える。
高齢者の食に対する取り扱いとして、個人事業者が食事を作り、ボランティアで1日1回配達する取り組みに町が補助金を出すのはどうか。
高齢者向けのイベントや場所がほしい。
施設整備、健康介護講座などの充実は言うまでもなく、高齢者がいきいき暮らすにはやはり社会貢献ができる環境を整えることが最も大切なことだと思う。
自分の事として一生懸命に傾聴する場を希望。
週1～2で図書館を利用しているが移動図書やボランティアがあれば良いと思う。
集まりやすい場所を常設する。（昔は、唐院湯がそのような雰囲気があった気がする。）。
笑いヨガ教室を開催してほしい。男性も参加しやすいスポーツ教室がもっとあればと思う。
心身共に健康でいられるように、負担なく気軽に参加できる健康体操・認知症予防等支援していただきたい。
身近な地域で協力、助け合いを当たり前と考える機運づくり、住民自助共助の醸成。
人によっては知られたくないと思いきょと見守ってあげたいが、互いに助け合い、希望を与えられるように接したい。

生き甲斐が持てるような仕事、趣味、サークルを充実させてほしい。
川西町には元気で活躍の高齢者が多くおられボランティア活動等に多くの方が参加されている。自分も何かできるのではと思いつつ一歩踏み出せない方も多くいる。わざわざ出かけるのではなく地域で取り組めるボランティアがあればもっと人の役に立ちたい方の助けになるのではと思う。
単身高齢者への声掛けをもっと活発化させるべきだ。
男子は関わりの場が少ない。身近で活動しやすい場があればよいと思う。
地域コミュニティの場所づくり。
地域での健康維持の活動に対して、公共（町）からの補助金の支援や活動についてのサポート支援をもっと積極的に行ってほしい。
地域で活動する方々の支援もお願いしたい。
地域の助け合い活動相談を充実。
地域の老人会に入る人が少ない。同じ自治会の人でも顔の知らない人が多く、若い人も歳の人とも親睦、レクリエーションも不参加の人が多。集いに参加できるようなイベントやボランティア活動できるように呼びかけてほしいと思う。
地域活動などに長期的な助成。
町内会、老人会など参加が負担となることがある。思いやりと融通があればと思う。
町民揃って減塩活動を進めるとか、健康体操などの推進をはかる。
年に何回か集まれる場所があれば交流ができると思う。
年齢を問わず会えば必ず笑顔で挨拶をする。若者、子どもから積極的に高齢者に笑顔で挨拶をする。
買い物先のスーパーおくやまの一階空きスペースに町が経営管理する談話室をつくり気楽に立ち寄れるようにしてほしい。
文化会館の能の所に屋根を設けて、高齢者なども含めて憩いのスペース（例えばVTPでの健康体操、放映、体操ができるスペース）、お茶をしたり無料ピアノを弾けるなど、また業者によりちょっとした食べ物販売など住民が集まれる方法を考えてほしい。
文化教室で、定員オーバーで募集なしが何年も続いている教科があるが、1年1年抽選してほしい。
友人や近隣の人たちでシェアハウスの様なものを考えてほしい。
来年度から町内ラジオ体操をやってほしい。夏期（4月～9月）は6時30分から、冬期（10月～3月）は7時30分からスタートにする。現在やっている町内があれば、一時発展的解消にして回覧板にて再募集してほしい。（途中から入会しにくいから）。
緑の多い場所で、くつろげる環境がほしい。楽しく過ごせる憩いの場がほしい。
隣近所の交流がない。
老介護者のケアについて、情報交換できる場所がほしい。
老人会に男性が少ないのが課題。夫婦が集いやすくするのが課題。総合的に男性が一番の問題。

3. 医療、福祉、介護サービス

医療の充実。
医療の充実。眼科、耳鼻科、皮膚科、整形外科の病院の誘致。
医療機関の不足（眼科、耳鼻科など）。
地域医療の充実。
往診を依頼しても〇〇医院はしていただけないと聞いている。自宅で最期を迎えたい人はそういう往診できるお医者さんをぜひ町の方からもお願いしてほしい。
眼科、耳鼻科、皮膚科のこれらは電車で通院している。特に眼科は長期通院が必要になるため、町内に開院を希望している。
眼科・耳鼻咽喉科を早急に設置してほしい。健康づくり教室を更に充実してほしい。
眼科・脳外科の病院がない。
高齢が進むに伴い体調を崩す事が多くなる。町内に4か所の医院はあるが特定の専門委員、眼科、耳鼻咽喉科、整形外科などは町外に行かないとだめなので町内に専門医院があれば助かる。膝が悪い為、町外での受診が苦痛。
高齢者医療の充実を願う。
最期を自宅で迎えたくても、現実かかりつけ医の往診や最期の看取りなど、それらの状況が整っていないと聞く。
歯科はたくさんあるのに耳鼻科や皮膚科がない。
耳鼻科、眼科、皮膚科など内科以外の病院を誘致してほしい。
大和小泉駅前に各科の医院が入ったビルを建ててほしい。
町の中心に、日中に体調が悪くなった時はすぐに対応してくれる施設・看護の人を常設してほしい。
訪問看護の充実。往診してもらえない現状に不安がある。
毎日でなくてもいいが眼科、皮膚科、耳鼻科などがおくやまさんの所にでもできるととてもよいと思う。
町立の老人ホームがほしい。
介護保険施設を増やしてほしい。
一人暮らし老人の「老人シェアハウス」のようなものがあればよい。
介護施設が必要。
介護施設を増やしてほしい。
介護施設を多く作ってほしい。
有料老人ホームなどの介護施設がほしい。
差別のない暮らし。誰もが安価で介護保険施設に入れる。安心して終活ができるよう。

妻しか面倒を見てくれる人がいないので介護保険施設で面倒をみてもらいたい。
施設があれば利用したい。
介護保険施設の案内。
一人一人の声に耳を傾け、優しく柔軟な対応を願う。介護サービスについて、他の自治体より厳しく、無料サービスが受けられず困っている。
介護サービスなどの情報提供を願う。
介護など必要なときの充実。
介護保険を掛けているのだからもっと手続きを簡単にして、誰でも使えるようにしてほしい。
気軽に出向ける介護の相談窓口がほしい。
狭窄症になったときに、地域包括支援センターや川西サポートを初めて知った。皆さんにも知ってもらいたい。
高齢の両親を持つが、川西町の判断により介護サービスが受けられない。介護保険料をムダに払っているだけだ。他の市町村では同じ事例でもサービスが受けられている。
高齢者が増えていく将来、福祉や介護サービスのレベルを下げない行政をお願いする。
制度の適正運用、介護の過剰回避は最重要にして最難問だが、根気良い対処をお願いする。まずは、分かりやすく利用しやすい相談窓口だと思う。
一人暮らしの高齢者に役場から見回りをしてほしい。
家に来て声掛け支援してほしい。
各自治体の民生委員児童委員などの担当エリアの現状などを把握する仕組みの向上をさせてほしい。
自治会ごとに高齢者福祉・介護関係の相談員を配置してほしい。
自宅で一人暮らしになった際の安心できる定期的な見守りサービスがあれば、一人でも暮らしていけると思う。
職員の方に、年に何回か相談に回ってほしい。
民生委員が一人暮らしの年寄りや高齢者夫婦をしっかりと見てあげてほしい。夫婦2人とも認知な場合が多い。ゴミ出しなどが出来ていない。
民生委員の情報を基に町の長寿介護課の職員が出向いて相談等の支援を行ってほしい。具体的には机上の仕事だけでなく半数以上は訪問して家族の支援に努めてほしい。
何か困ったときなど、利用しやすい相談窓口を作ってほしい。高齢者に優しいまちづくりをしてほしい。
高齢者それぞれの掲げている問題が異なるのでどんなことでも相談できる窓口が必要であり、その窓口を通して問題解決まで進めることができるシステムまちづくりが必要であると思う。
高齢者にとってわかりやすく相談しやすい窓口を充実させてほしい。
身近な相談窓口の充実。
相談したら的確なアドバイスや協力体制を整えてほしい。相談しても具体策がなければ相談の意味がない。
役場が主導して相談にのってくれることにつきる。

地域支援の必要性が大事。高齢者が、問題が生じたときにどのように行動すれば援助が受けることができるかを明確に、支援の窓口を知らせてほしい。
高齢者には、地域の介護援助を充実してほしい。
実際にスーパーなどへの買い物がコミュニティバスを使っても行けない人への介助。年金に沿えるような介護や生活。老人が暮らしにくいのはだめ。
障害のある人に対しても支援体制を充実させてほしい。
人生の最後を自宅で迎えられる支援。
体が不自由になったとき、何でも相談できる家があればよいと思う。
町は高齢者支援を充実させてほしい。経済的負担のない介護を提供してほしい。
シルバー人材センターがほしい。

4. 生活支援、生活の便

買い物と宅配をセットにして体制を考える。
もっといろいろな種類の店があるとよい。少なくて困ることがある。
スーパーおくやまを閉店させず、継続してもらおう。
おくやまスーパー以外にコンビニを設立してほしい。飲食店がない。
週に1～2度、おくやまが御用聞きに来てほしい。
40年前は毎日生活するのに（生鮮食品）店が、もう少しあった。今は一軒だけ。
家庭用品を売る店もあると助かる。
近くで食料品などの小さなお店があったらよいと思う。今は車などで買い物しているが近い将来買い物の不便さを感じる。
結崎団地では高齢化が進み、移動手段を考慮して、移動販売などのサービスを検討してほしい。
車が無くても、買い物など困らない体制。
買い物支援。
買い物支援の充実。
買い物支援をしてほしい。
買い物弱者にならないために、色々な面から支援体制を整えてほしい。
買い物難民にならないように町内唯一の宅配ができるように指導してほしい。
スーパー、ゴミ捨て場が遠くて行けない。
近所の高齢者の方々を見ていると買い物が大変な様子で、ゴミ収集所に持って行くのも大変だ。

ゴミ出しについて町内ごとに制度作りを進める。
ゴミ出しのときに手伝いをしてほしい。
家のゴミの個別収集（家の前に出しておく）。
散髪の実施体制。
ポストまで投函に行けない。一人暮らし。タクシーも少なく家の前から医療院添人なしで行けない、何とかしてほしい。あれば教えてほしい。
一人暮らしの人が食事のできるなど歩いていける場所にしてほしい。
図書館で本を借りているが、返却ポストを結崎会館・結崎駅前につくってほしい。

5. 道路・歩道の整備

おくやまの道路を補修してほしい。
踏切からスーパーおくやまへの歩道を補修してほしい。
結崎駅北側踏切からスーパーおくやまへの歩道を補修してほしい。押し車が進みにくい。
駅までの歩道の整備。
駅前の交差点を渡るのに難儀している。安心して渡れるように考えてほしい。
結崎駅北の踏切が危なく、転倒する人多発。
健康寿命を延ばすためできるだけ多く歩くようにしたいが、現在の川西町の道路は歩道と車道の分離ができていない。緑が多くある歩道を計画的に作ってほしい。
県道の歩道が歩きにくい。車椅子も危険。
住宅内、車の通り抜けをできないようにしてほしい。住宅内の車の速度を 10km未満にしてほしい。
成和保育園から三宅町に至る川添の大型車両通行不可を周知させてほしい。
唐院の道路の補修をしてほしい。
踏切を渡るとき、杖や押し車が通行しやすいように改善してほしい。
道路が最悪である。自転車に乗っていると危ない。
道路の整備。
道路の整備。小川のフェンスが劣化している。
道路の整理（自転車が車道を走っているとき、すごく危険）。
道路の補修。
道路を補修してほしい。

歩道・自転車道の整備。
歩道に休憩できるテーブルとイスを設置してほしい。
歩道の整備、バリアフリー化、充実。
歩道の整備を早急をお願いしたい。
唐院北口からセブンイレブンまで東側に歩道をつけていただくと助かる。

6. 経済的負担、経済的支援

介護を受けたいが、保険料が高すぎる。
介護保険・住民税を安くしてほしい。
介護保険が高いので、私が介護にかかる時には自分の年金では介護にかかれない。不安だ。
介護保険が高額。今私たちが支払っている介護保険料でいつかはしっかりと介護の手助けをしてもらえるのか。
外出を奨励するなら交通費の支援をしてほしい。
経済的な不安など分かりやすく相談できるようにしてほしい。
経済的支援など町として安心できる支えがほしい。
健康体操を継続しているが、年7万円の支援がほしい。
高齢者がお金の心配をしないで暮らせるよう、法整備。
高齢者の活動に補助金を増やしてほしい。
高齢者の活動に補助金を増やしてほしい。コスモスホールの有料イベントの参加者は無料にしてほしい。
若い世帯の固定資産税を下げたり、同居手当支給をするなど、若年層を取り込む対策を。
電動カートの補助金をお願いしたい。
これ以上年金を下げないでほしい。
年金生活だが、生活が苦しい。支援がほしい。
年金生活者が暮らしやすいまちづくり。年金の減額、増税が厳しい。金銭的に余裕があると楽しい毎日が過ごせる。
年金生活者が暮らしやすいまちづくり。年金の減額、増税は非常に厳しい。
安心して老後の生活ができるように、全て無料化することだ。

7. 将来への心配、不安

現在は夫婦とも不自由なく暮らしているが介護が必要になればと考えると不安。
国民年金だけでは生活できない。不安で町のことなど考えられない。
自宅で人生の最期を迎えたとき、行きつけの病院が無い人は、救急車や警察が来て周囲の方々の迷惑を考えてしまう。他に方法があればと考えることが増えた。
将来介護してくれる人が夫しかいない。夫が何もしない人であれば自分にかかってくるし、私が寝込むことがあれば夫はしてくれないと思う。介護保険施設に行かなければだめだと思う。
人生の最期は自宅でと思ったがそれも叶わず、立ち退きと言われ、これからの何年どっちに向いたらよいか。慣れたところに住みたい。
夫婦二人暮らしのため先が不安。
老後1人になったときは、毎日が安心して生活していけるように。

8. その他

役場保健所などで体を動かす補助具をそろえるよう、健康で生活するために。人生百年時代。
80歳以上対象に、身体ご機嫌伺い制度をつくってみては。
どんなサービスを受けられるのかの情報を得たい。
ふれあいセンターの風呂を開放してほしい。
安心して夜間も歩けるよう、要所要所に防犯カメラを設置してほしい。広報紙に健康相談(専門医師による)ページや有料老人ホームの評判などの情報の誌面がほしい。
介護も大事だが、楽しみや生きがいを町の施策に入れてほしい。
介護や災害対策は広域行政で対応すべきだと思う。磯城郡や近隣地区を含めたもう少し大きな単位で。部分最適が全体最適にならない案件。1万人前後の行政の単位では最適に限界がある。特養がポツンと田の中にできたが老健や総合医療施設はない。有料老人ホームもなく寂しい。町の人材育成も不安だ。介護の拠点は国から地域へと政策方向は明らか。一方で当町は介護の拠点である「地域包括センター」は田原本町の業者に委託していると聞いている。これでは川西町職員の介護の人材育成に不安を感じる。町村合併を考える時期だと思う。
休耕田・休耕地の雑草の処理対策をお願いしたい。
高齢者65歳以上になって介護保険料を月9,000円払っている。仕事も辞めないで働いている。高齢者雇用についてもっと働ける場所を知りたい。
高齢者施策は十分だが、子どもから壮年までに対する施策が不十分。この点も検討してもらいたい。
災害時の避難場所の確保。シェルターが必要。

自然・歴史遺産を活用した、人が集まる元気な町に。
自宅から近い終活施設を整えてほしい。助け合い活動の充実・介護ポイント制などを考える。
住宅周辺の雑草刈り指導をしてほしい。
書類等の簡素化を願う。
人口を増やして活気のある町にしてほしい。
青色パトカーの啓発のため、呼びかけ用のスピーカー搭載車を確保し、貸し出ししてはどうか。
川西町はもっと若い人を動力させてほしい。高齢者ばかりが動いているように思う。
川西町は町内が全体に汚い。もっと明るく見た目にも楽しく感じるポイントを考えてはどうか。予算の執行が貧しい。
川西町長寿介護課の活動はもっとも重要な活動であり高齢化社会の今日の大きな課題である。今後ますます発展するよう、町の先頭にたち活動願う。
町からの情報を知らない住民が多い。より充実な情報を聞きたい。
美しい・暮らしやすい環境のよいまちづくり。
保健センターの窓口だけに用がある場合、スリッパの履き替えなしで対応できるようにしてほしい。社協、包括は役場のそばに設置すべき。
地域包括支援センターを徒歩で行ける役場内に設置してはどうか。現在は車でしか行けない場所であり不自由。
包括支援センターが遠い。
防犯カメラの設置。事故防止、迷子、防犯のため。
役割別部署単位を町民に知らせる。情報提供・告知が少ない。
役場等に提出する書類を簡単に見やすくしてほしい。
老人関係に金を使わない町政。
川西町長竹村さんは、自分の名前を売るのに精を出しているように思うが、もっと町の各部門に出して、自信をもってサービスできるようにしてほしい。
いつ体調が悪くなるかもしれないので救急活動を。
パトカーで巡回中、もう少し言葉がわかるようお願いしたい。
困ったときに支援が受けられる地域であってほしい。
地域の方々のことに関心を持ち、助け合える環境がある。
71歳だが、まだ高齢者だと思っていない。
まだ実感として分かりにくい。
まだ真剣に考えていない。
もっと人の事を考えて言うこと。
感謝の気持ちを日々思うようにしていると良いと思う。

甘えない。
急に倒れたり動けなくなったときに、すぐそばに来て対応してくれる人がいてほしい。
健康な毎日を過ごしているので、先の老苦が想像できない。
健康に留意している、万一のことがあれば、配慮願いたい。
高齢者・権力者が率先してルールを守り、青少年に示すこと。
高齢者が少しでも安心して住める町になってほしい。
高齢者が地域で活躍できる機会をどんなに作っても出て行かないのが問題だ。これはその人がどう生きてきたかが繋がるもの。したがってこれは長い目で見れば高齢者だけの問題ではないので、小学校からあるいはそれ以前からの人づくりが必要だ。いろいろな面において人材バンクが必要だ。
高齢者でも健康な人には、介護事業、保育事業などの助手として活動してもらい、安くて短時間にして時給を支給していくとよい。日本の人口は少なくなり働く人も減り、介護などは外国人を期待しているが、80歳くらいまでは充分できる仕事はあると思う。何とかしてこの時期を乗り越え、日本の将来に光を見出すようがんばってほしいと思っている。
高齢者の働ける場所がほしい。
高齢者は各々考え方の違いがあるので、好みがはっきりする。交流が苦手プライドもある自分は迷惑をかけ、気を遣う。
高齢者一人一人が得意分野を活かし、自給自足できるまちづくり。
時々、昼、夕方、夜、懐かしい音楽を鳴らして見回ってくれる音が聞こえてくるだけで、遠くの方でだが安心する。
車の運転が出来なくなったとき買い物する場所が近所にないため、楽しみがなくなると思う。わが町の人口が増えれば高齢者の暮らしも楽しくなると思う。憩いの場を作って子犬とのふれあいもよいと思う。
若い層の住民を増やす。
若い方々に良くして頂いたおかげで、元気に過ごせている。
若者を定着させ、活気のある町にしてほしい。
書類の提出など、人に頼まないといけない。
寝たきりの人がでないように考えてほしい。
人の迷惑に、無神経な人がたまにいる。
川西町は大変良い町だと思う。
川西町は大変良い町です。
知識や経験を活かせるやりがいある役割を提供する。
夫は身体障害者で現在介護をしている。食事すら準備をするのが大変で自分のことを考えている時間などない。私みたいに頑張っている人は他にもたくさんいると思う。
川西町では高齢者対策事業が少ないように思う。このアンケート実施を機会に事業を充実させてほしい。

アンケートの回答でほとんどカバーしている。
アンケートの通し番号は住所番号と同じで、本人が特定できるので不要。
アンケートを本気で活かす気があるか。何をアンケートしても真剣さが感じられない。まともな行政、やる気のある行政を望む。
このアンケートをもう少し早く（11月末～12月上旬）か年明けにしていただければよかったかと思う。年末の掃除、おせち作りの準備買い物などですごく忙しい時期のため。
できることは全部してほしい。12月にアンケートは辞めてほしい。

V 調査票

川西町第9次高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画 策定のための
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
 ご協力のお願い

日頃から川西町介護保険事業にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

川西町では、高齢者福祉の向上と介護保険サービスの適正な運営を目的に、3年を1期として「高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」を策定しています。

このたび、令和3年度から始まる「川西町第9次高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画」を策定するにあたり、皆さまの暮らしや健康の状況をお伺いして計画の基礎資料とさせていただきますために、川西町にお住まいの65歳以上の方に対して、この調査をお願いすることとなりました。

この調査は、介護や福祉、生活支援などの施策検討の参考にするために行うものです。

そのため、本調査で得られた情報につきましては、計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、町で適切に管理いたします。ただし、計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する町外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがありますので、ご了承ください。

この調査票を受け取った皆様には、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和元年12月

川西町長 竹村 匡正

はじめにお読みください

- ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号に○をつけるものや、数字・その他の記入欄へのご記入をお願いします。
- あて名のご本人についてご回答いただきますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、一緒に回答されてもかまいません。
- ご回答いただいたアンケートは同封の返信用封筒に入れて、
12月27日（金）まで にポストにご投函ください。（切手は不要です）
- この調査に関するご質問やお問合せ等は、下記までお願いいたします。

<お問合せ先> 川西町 長寿介護課
 電話：0745-44-2635
 ※お問合せ時間：平日の8：30～17：00

< 各項目であてはまる数字に○をつけてください >

記入日	令和元年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. あて名のご本人が記入	
2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄:)	
3. その他	

基本属性	あなたご自身のことについて		
(1) あなたの性別をお教えてください。(○は1つ)			
1. 男性		2. 女性	
(2) あなたの年齢をお教えてください。(○は1つ)			
1. 65～69歳	2. 70～74歳	3. 75～79歳	
4. 80～84歳	5. 85～89歳	6. 90歳以上	
(3) あなたのお住まいの自治会をお教えてください。(○は1つ)			
1. 中村	2. 市場	3. 辻	4. 井戸
5. 出屋敷	6. 美ノ城	7. 結崎団地	8. ハッピータウン
9. 結崎南団地	10. 美幸	11. 東城	12. スカイトウン
13. 西城	14. 東方	15. 上吐田	16. 北吐田
17. 南吐田	18. 梅戸	19. 唐院	20. 保田
21. その他 ()	22. わからない		
(4) あなたの現在の認定状況を教えてください。(○は1つ)			
1. 事業対象者		2. 要支援1	
3. 要支援2		4. 認定は受けていない	

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

- | | |
|--|------------------------|
| 1. 1人暮らし | 2. 夫婦2人暮らし (配偶者 65歳以上) |
| 3. 夫婦2人暮らし (配偶者 64歳以下) | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 5. その他 ※孫を含む3世代の場合は、「5. その他」に○をしてください。 | |

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている ※介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む。

【(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」に○をつけた方のみ】
① 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|------------|
| 1. 配偶者 (夫・妻) | 2. 息子 |
| 3. 娘 | 4. 子の配偶者 |
| 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他 () |

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみて、どう感じていますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない

(3) 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

1. とても不安である 2. やや不安である
3. あまり不安でない 4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

1. ほとんど外出しない 2. 週1回
3. 週2～4回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

1. とても減っている 2. 減っている
3. あまり減っていない 4. 減っていない

(8) 外出を控えていますか。(○は1つ)

1. はい

1. いいえ

【(8) において「1. はい」(外出を控えている) に○をつけた方のみ】

①外出を控えている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

1. 病気

2. 障害(脳卒中^{しょうがい のうそつちゅう こういしやう}の後遺症など)

3. 足腰などの痛み

4. トイレの心配(失禁など)

5. 耳の障害(聞こえの問題など)

6. 目の障害

7. 外での楽しみがない

8. 経済的に出られない

9. 交通手段がない

10. その他 ()

(9) 外出する際の移動手段は何ですか。(○はいくつでも)

1. 徒歩

2. 自転車

3. バイク

4. 自動車(自分で運転)

5. 自動車(人に乗せてもらう)

6. 電車

7. バス(コミュニティバス「川西こすもす号」含む)

8. 病院や施設のバス

9. 車いす

10. 電動車いす(カート)

11. 歩行器・シルバーカー

12. タクシー

13. その他 ()

問3 食べることについて

(1) 身長と体重をご記入ください。(数字で記入)。

身長 cm

体重 kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

1. はい

2. いいえ

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)		
1. はい	2. いいえ	
(4) 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)		
1. はい	2. いいえ	
(5) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(○は1つ) (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)		
1. 自分の歯は20本以上(入れ歯を利用)	2. 自分の歯は20本以上 (入れ歯を利用していない)	
3. 自分の歯は19本以下(入れ歯を利用)	4. 自分の歯は19本以下 (入れ歯を利用していない)	
※総入れ歯は「3.」に○をしてください		
(6) どなたかと食事をとにもする機会はありますか。(○は1つ)		
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない	

問4	毎日の生活について	
(1) 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)		
1. はい	2. いいえ	
(2) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(○は1つ)		
1. できるし、している	2. できるけど、していない	3. できない
(3) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(○は1つ)		
1. できるし、している	2. できるけど、していない	3. できない
(4) 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)		
1. できるし、している	2. できるけど、していない	3. できない
(5) 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)		
1. できるし、している	2. できるけど、していない	3. できない
(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)		
1. できるし、している	2. できるけど、していない	3. できない

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑧それぞれに回答してください。

① ボランティアのグループ (〇は1つ)

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 週4回以上 | 2. 週2～3回 | 3. 週1回 |
| 4. 月1～3回 | 5. 年に数回 | 6. 参加していない |

② スポーツ関係のグループやクラブ (〇は1つ)

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 週4回以上 | 2. 週2～3回 | 3. 週1回 |
| 4. 月1～3回 | 5. 年に数回 | 6. 参加していない |

③ 趣味関係のグループ (〇は1つ)

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 週4回以上 | 2. 週2～3回 | 3. 週1回 |
| 4. 月1～3回 | 5. 年に数回 | 6. 参加していない |

④ 学習・教養サークル (〇は1つ)

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 週4回以上 | 2. 週2～3回 | 3. 週1回 |
| 4. 月1～3回 | 5. 年に数回 | 6. 参加していない |

⑤ (いきいき百歳体操・地域のサロンなど) 介護予防のための通いの場 (〇は1つ)

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 週4回以上 | 2. 週2～3回 | 3. 週1回 |
| 4. 月1～3回 | 5. 年に数回 | 6. 参加していない |

⑥ 老人クラブ (〇は1つ)

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 週4回以上 | 2. 週2～3回 | 3. 週1回 |
| 4. 月1～3回 | 5. 年に数回 | 6. 参加していない |

⑦ 町内会・自治会 (〇は1つ)

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 週4回以上 | 2. 週2～3回 | 3. 週1回 |
| 4. 月1～3回 | 5. 年に数回 | 6. 参加していない |

⑧ 収入のある仕事 (〇は1つ)

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 週4回以上 | 2. 週2～3回 | 3. 週1回 |
| 4. 月1～3回 | 5. 年に数回 | 6. 参加していない |

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問6 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人。(○はいくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他() 8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人。(○はいくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他() 8. そのような人はいない

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。(○はいくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他() 8. そのような人はいない

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人。(○はいくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他() 8. そのような人はいない

(5) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない

(6) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 近所・同じ地域の人 | 2. 幼なじみ |
| 3. 学生時代の友人 | 4. 仕事での同僚・元同僚 |
| 5. 趣味や関心が同じ友人 | 6. ボランティア等の活動での友人 |
| 7. その他 | 8. いない |

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(〇は1つ)

- | | |
|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい |
| 3. あまりよくない | 4. よくない |

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(〇は1つ)

※「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数に〇をつけてください

とても 不幸											とても 幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

(〇は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(〇は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(5) タバコは吸っていますか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 2. 時々吸っている |
| 3. 吸っていたがやめた | 4. もともと吸っていない |

(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--|---|
| 1. ない | 2. 高血圧 |
| 3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
<small>のうそっちゅう のうしゅっけつ のうこうそく</small> | 4. 心臓病 |
| 5. 糖尿病
<small>とうによびょう</small> | 6. 高脂血症 (脂質異常)
<small>こうしけっしょう ししつじょう</small> |
| 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) | 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 |
| 9. 腎臓・前立腺の病気
<small>じんぞう ぜんりつせん</small> | 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
<small>きんこっかく こつそ しょう</small> |
| 11. 外傷 (転倒・骨折等)
<small>がいしょう てんとう こっせつ</small> | 12. がん (悪性新生物) |
| 13. 血液・免疫の病気
<small>けつえき めんえき</small> | 14. うつ病 |
| 15. 認知症 (アルツハイマー病等)
<small>にんちしょう</small> | 16. パーキンソン病 |
| 17. 目の病気 | 18. 耳の病気 |
| 19. その他 () | |

問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(3) これまで、町が実施している介護予防の教室や講座に参加したことがありますか。(○は1つ)

1. ない

2. ある

問 10 日常生活への支援について

(1) あなたご自身に介護が必要になった場合、日常的に受けたいと思う支援は何ですか。(○はいくつでも)

1. 日常の声かけ・見守り

2. 洗濯、家の中の掃除など

3. ゴミ出し、庭掃除など

4. 食事(調理)の支援

5. 買い物支援

6. 話し相手

7. 移動の支援(主として交通手段に関する事)

8. 外出の付き添いや介助(主として外出先での身体的介助に関する事)

9. 病院や公共施設での案内(病院や公共施設での付き添いや介助を含む)

10. 役場に提出する書類作成の手助け

11. 配食や会食のサービス提供

12. レクリエーション活動参加の支援

13. その他()

14. 受けたくない

問 11 相談先や町の取組について

(1) あなたや家族が、困ったことやわからないことがあったとき、誰に相談しますか。(○はいくつでも)

1. 役場(長寿介護課・健康福祉課・保健センターなど)

2. 地域包括支援センター

3. かかりつけ医・看護師

4. 民生委員

5. 家族・親族

6. 友人・知人

7. ケアマネジャー

8. 介護保険サービス事業者の職員

9. 老人クラブ・町内会・自治会

10. 社会福祉協議会

11. その他()

12. どこに相談すればよいのかわからない

13. 相談しない

(2) 人生の最期を、あなたはどこで迎えたいですか。(○は1つ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 自宅 | 2. 病院 |
| 3. 介護保険施設 | 4. 有料老人ホーム |
| 5. その他 () | 6. 考えたことがない |

(3) 高齢者にとって暮らしやすいまちになるために、町が重点的に進めるべきことは何だと考えますか。(○はいくつでも)

1. 高齢者が地域で活躍できる機会をつくる
2. 地域の助け合い活動の重要性を啓発する
3. 健康づくりや介護予防についての講座などを充実する
4. 福祉や介護サービスなどの情報提供を充実する
5. 身近で受けることができる福祉や介護サービスを充実する
6. わかりやすく、利用しやすい相談窓口を整える
7. 公共施設へのエレベーターの設置や、まちなかの段差解消などを行う
8. 公共交通機関や移動の支援を充実させる
9. 買い物の支援体制を整える(民間事業者と協定を結ぶなど)
10. 地域で活動する人や団体育成を支援する
11. 医療を充実させる
12. その他 ()

高齢者が暮らしやすいまちづくりのために、ご意見・ご提案がありましたらお書きください。

● 以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。 ●

ご記入済のアンケートは、同封の返信用封筒に入れて

12月27日(金)までに ポストにご投函ください。

川西町第9次高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画策定のための
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

《報告書》

令和2年3月

企画・編集 川西町 長寿介護課